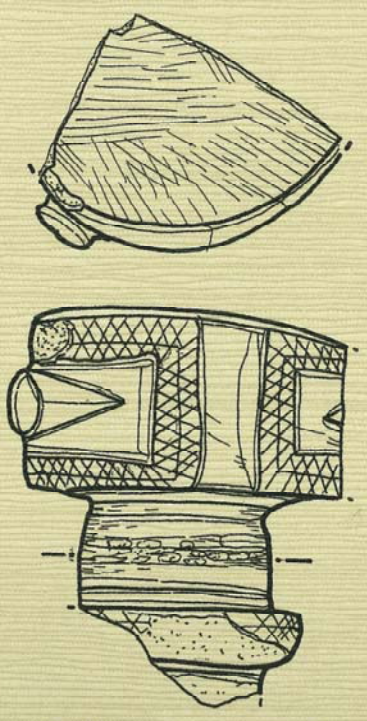
K－581

米沢市埋蔵文化財調査報告書　第90集

野際遺跡

発掘調査報告書



HY2出土　石棒頭部

2006

米沢市教育委員会

米沢市埋蔵文化財調査報告書　第 90 集

野際遺跡

発掘調査報告書

２００６

米沢市教育委員会

序　　文

本報告書は、宅地造成に係わる受託事業として、米沢市教育委員会が実施した「野際遺跡」の調査報告書です。

野際遺跡は、上郷地区の大字川井にある山形県立米沢工業高等学校の東方に位置する、縄文時代後期末葉から縄文時代晩期を中心とする遺跡として、登録されている遺跡です。近くには丸木弓が出土した上谷地遺跡があります。

この度の調査では、竪穴住居跡４棟をはじめ埋設土器や石棒の一部が発見されました。これらの住居跡から出土した土器はコブ付土器が多数含まれており、本市においては、空白を埋める時期の住居跡とのことです。

「野際遺跡」の特徴を一口で言えば、「川辺の縄文集落」と聞いております。

今回の調査で得られた成果は、縄文時代を研究する上で貴重な資料を提供したものといえます。本書が文化財保護の啓発や教育活動の一環として役立てば幸いに存じます。

最後になりましたが、今回の調査にあたり、格段のご指導を賜りました(財)山形県埋蔵文化財センター調査研究部長の佐藤庄一氏、文化庁、山形県教育庁社会教育課文化財保護室、ご協力いただきました(株)網代建設並びに地元関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

２００６年３月

米沢市教育委員会

教育長　舛　田　忠　雄

例　　言

1　本報告書は、宅地造成工事に伴う緊急発掘調査として、米沢市教育委員会が実施した野際遺跡発掘調査報告書である。

2　調査は、米沢市教育委員会が主体となって、網代建設株式会社との受託事業として実施したものであり、期間は平成17年6月6日～同年7月15日である。

3　調査体制は下記の通りである。

調査主体	米沢市教育委員会
調査総括	村野隆男(文化課長)
調査担当	手塚　孝(文化課文化財主査)
調査主任	菊地政信(文化課文化財担当主任)
調査作業員	
	安藤正昭　江袋吉男　籠倉康之
	小出久三　佐藤晴美　佐藤秀子
	佐藤守男　清水弘文　新藤伊勢夫
	永井ゆり子　中山正秋　那須野　清
	丸山忠俊　水野とも子　渡辺　　惇
事務局	山口弘子(文化課長補佐)
	深瀬順子(文化課文化財担当主査)
調査指導	山形県教育庁社会教育課文化財保護室
調査協力	網代建設株式会社

4　挿図の縮尺は、スケールで各図に示した。

5　出土遺物は、米沢市埋蔵文化財資料室(米沢市花沢一丁目4-21)に一括保管している。

6　本報告書で使用した略号は、ＨＹ－竪穴住居跡、ＤＹ－土壙、ＭＹ－埋設土器、ＫＹ－溝状遺構、ＡＺ－土器、ＢＺ－石器、CZ－礫器、ＥＺ－石製品、ＦＺ－土製品を表示している。

7　本書の作成は、菊地が中心となり近野慶子、小形晴美が補佐し、全体的には手塚が総括した。

本 文 目 次

序　文
例　言
Ⅰ　遺跡の概要 …… 1
Ⅱ　調査の経過 …… 1
Ⅲ　検出遺構 …… 4
　1．竪穴住居跡 …… 4
　2．土　壙 …… 6
Ⅳ　出土遺物 …… 21
　1．出土土器 …… 21
　2．石 器 …… 23
　3．土製品 …… 24
　4．石製品 …… 25
　5．礫　器 …… 25
Ⅴ　まとめ …… 78
　参考文献 …… 80
　報告書抄録 …… 81

挿　図　目　次

第１図　野際遺跡位置図 ・・・

第35図　野際遺跡出土土器拓影図（16）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
第36図　野際遺跡出土土器拓影図（17）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
第37図　野際遺跡出土土器拓影図（18）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
第38図　野際遺跡出土土器拓影図（19）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・59
第39図　野際遺跡出土土器拓影図（20）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
第40図　野際遺跡出土土器拓影図（21）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
第41図　野際遺跡出土石器実測図（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
第42図　野際遺跡出土石器実測図（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・67
第43図　野際遺跡出土石器実測図（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・68
第44図　野際遺跡出土石器・土製品・石製品実測図（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
第45図　野際遺跡出土石製品実測図（５）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70
第46図　野際遺跡出土礫器実測図（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
第47図　野際遺跡出土礫器実測図（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
第48図　野際遺跡出土礫器実測図（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
第49図　野際遺跡出土礫器実測図（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
第50図　野際遺跡出土礫器実測図（５）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76
第51図　野際遺跡出土礫器実測図（６）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77

付　表　目　次

第１表　野際遺跡土壙計測表・・11
第２表　野際遺跡出土復元土器一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
第３表　野際遺跡出土土器観察表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
第４表　野際遺跡出土石器計測表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
第５表　野際遺跡出土土製品計測表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
第６表　野際遺跡出土石製品計測表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
第７表　野際遺跡出土礫器計測表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
第８表　米沢市の縄文土器編年表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・79

図　版　目　次

第１図版　野際遺跡の発掘
第２図版　野際遺跡の発掘

第３図版　野際遺跡の発掘
第４図版　野際遺跡の発掘
第５図版　野際遺跡の発掘
第６図版　野際遺跡の発掘
第７図版　野際遺跡の発掘
第８図版　野際遺跡の発掘
第９図版　野際遺跡の発掘
第 10 図版　野際遺跡の発掘
第 11 図版　野際遺跡の発掘
第 12 図版　野際遺跡の発掘
第 13 図版　野際遺跡出土土製品・石製品
第 14 図版　野際遺跡出土復元土器（１）
第 15 図版　野際遺跡出土復元土器（２）
第 16 図版　野際遺跡出土復元土器（３）
第 17 図版　野際遺跡出土土器（１）
第 18 図版　野際遺跡出土土器（２）
第 19 図版　野際遺跡出土土器（３）
第 20 図版　野際遺跡出土土器（４）
第 21 図版　野際遺跡出土土器（５）
第 22 図版　野際遺跡出土土器（６）
第 23 図版　野際遺跡出土土器（７）
第 24 図版　野際遺跡出土土器（８）
第 25 図版　野際遺跡出土土器（９）
第 26 図版　野際遺跡出土土器（10）
第 27 図版　野際遺跡出土土器（11）
第 28 図版　野際遺跡出土土器（12）
第 29 図版　野際遺跡出土土器（13）
第 30 図版　野際遺跡出土土器（14）
第 31 図版　野際遺跡出土土器（15）
第 32 図版　野際遺跡出土土器（16）
第 33 図版　野際遺跡出土土器（17）
第 34 図版　野際遺跡出土石器（１）
第 35 図版　野際遺跡出土石器（２）
第 36 図版　野際遺跡出土石器（３）

Ⅰ　遺跡の概要

第１図で示すように、本遺跡は米沢市街東部を流れる天王川（梓川）及び羽黒川の流域にあたり、八幡原遺跡群の南西隅に位置している。遺跡は、旧羽黒川と東側の河川（旧梓川）とが合流する縁辺に立地するもので、羽黒川河岸段丘河川を横断する河川跡を境として南側に上谷地Ｂ遺跡、北側に野際遺跡が分布している。

梓川流域の遺跡群は、梓川扇状地の扇頂部に分布する杢代・法将寺遺跡群（25 箇所）、扇状地の扇央部から末端にかけて分布する八幡原遺跡群（70 箇所）、さらに羽黒川や天王川が最上川と合流する間の戸塚山周辺の遺跡群（65 箇所）と上流・中流・下流とほぼ三箇所にわたって約 160 箇所の遺跡が集中する米沢市最大の遺跡群である。

特に、遺跡が密集するのは梓川扇状地の扇央部から末端部分にかけての標高 255 ～ 260 m前後に集中する傾向があり、米沢市最大の縄文後期集落となる竹井境Ａ遺跡を始め、弥生時代の墓地として注目された清水北Ｃ遺跡、県内初の方形周溝墓を確認した比丘尼平遺跡等が分布している。

こうした遺跡に共通するのが扇状地特有の湧水であり、第２図で示すように遺跡の南側の水田からは、丸木弓が出土している。

Ⅱ　調査の経過

今回の調査は、地元の建設会社が野際遺跡の範囲内に宅地造成を計画したことを受けて試掘調査を実施したところ、縄文時代後期から晩期にかけての集落跡が存在することが判明したことから、米沢市教育委員会は調査が必要であると判断した。このため、関係者と協議を重ねた結果、記録保存を前提に緊急発掘調査を実施する方向で合意した。

調査は、開発側が発掘調査費の一部を負担する受託事業として契約を締結し、平成 17 年６月６日から開始し、同年７月 15 日の期間で実施した。初日は発掘期間の安全祈願を行いその後、面整理を中心に調査を実施した。２日目からは、土砂を置く場所が東西にあるため効率を考慮し、２組を編成して調査を進行した。

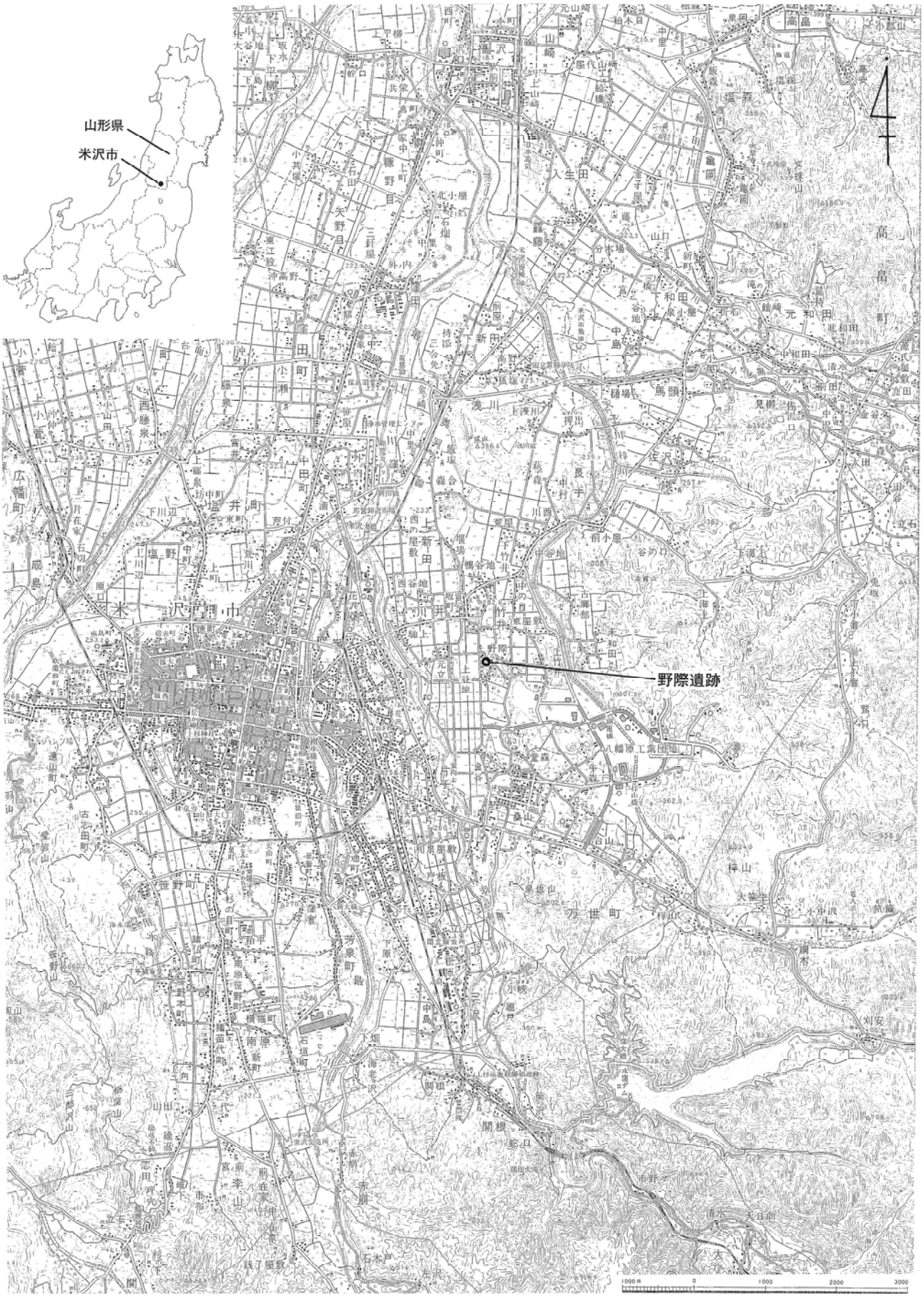
その結果、調査区の中央付近に南北に延びる溝状遺構を確認した。この溝状遺構は北方で西方に直角に曲がることがその後の調査で明らかになった。この溝状遺構は覆土が軟弱で縄文時代ではないことが判明している。

調査が進行するに従い竪穴住居跡の存在が判明してきた。当初は５棟あるものと判断したが最終的には４棟であった。他に土壙群や柱穴、埋設土器が確認された。

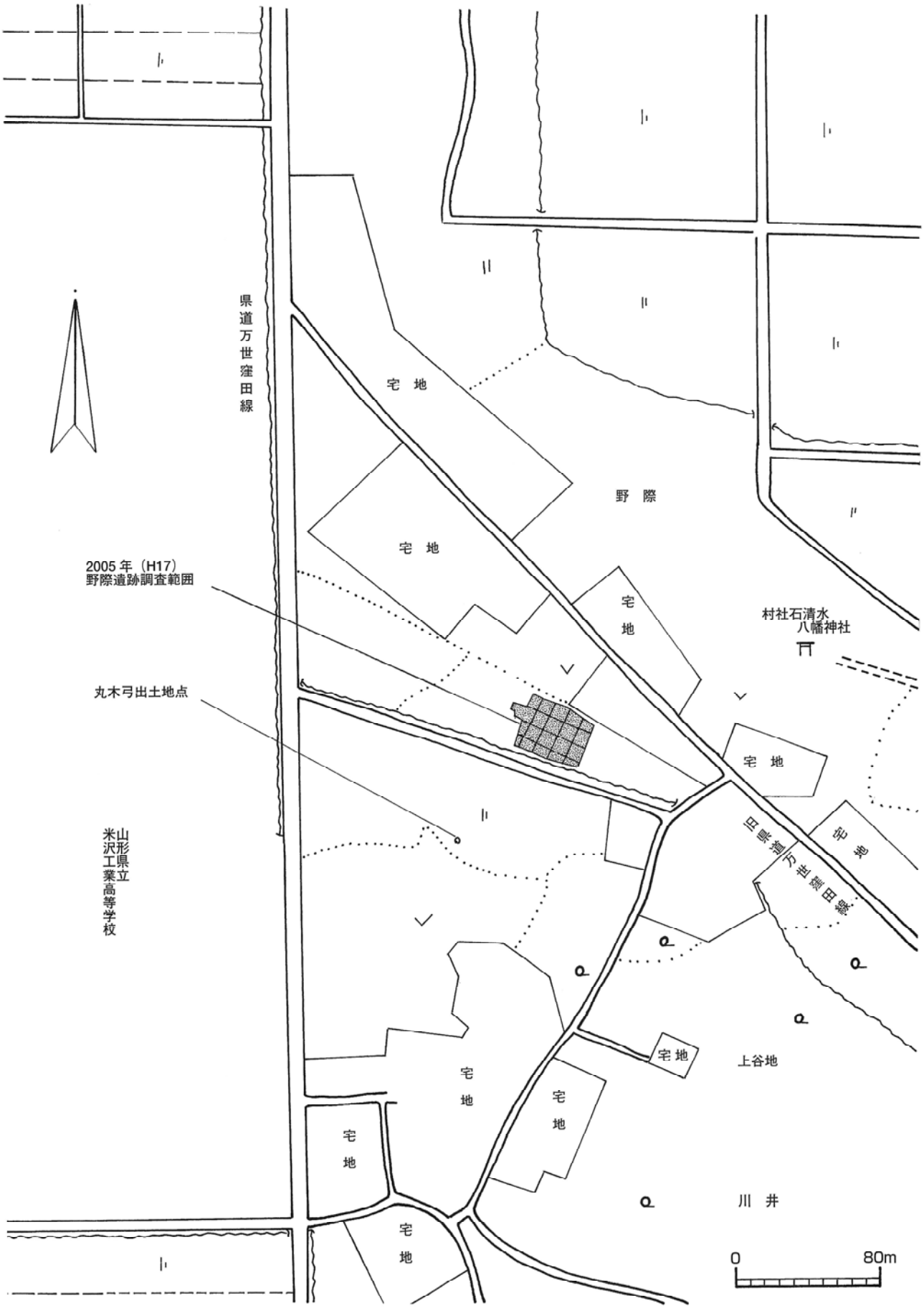
遺物は、調査区の全体に認められたが、遺構が集中する南西部に多く、縄文早期から前期中期、後期、晩期と縄文時代全般にわたって出土した。これらの中でも縄文後期末葉から縄文晩期前葉の土器群が最も多く認められた。

掘り下げは、中世に構築されたと想定される溝状遺構から開始した。次いで、土壙群、竪穴住居跡、柱穴群の順で進めた。調査対象面積は 1,600 ㎡、調査面積は 1,470 ㎡であった。

平成 17 年７月 12 日に現地説明会を実施し、その後に残務整理を終了した。



第１図　野際遺跡位置図



第２図　野際遺跡調査範囲図

Ⅲ　検出遺構

今回の調査区からは、縄文時代後期末葉～縄文時代晩期前葉に併行する遺構群と中世に構築されたと考えられる遺構群に大別される。縄文時代の遺構としては、竪穴住居跡４棟、掘立柱建物跡１基、土壙69基、溝状遺構２基、ピット群126基、埋設土器12基、不明遺構４基の総計218基であった。

中世の遺構としては、ＫＹ１とした溝状遺構１基とピット数基がある。これらの遺構群について、列挙した順に述べる。土壙群については、第１表、遺構群出土の遺物については、文様の判別できたものについて拓影図及び観察表を作成したので参照願いたい。

（１）竪穴住居跡（ＨＹ１～４）

調査区の南西部に集中して認められた。最も東方に位置するのがＨＹ３、重複してＨＹ１と４があり、さらに、西方部に隣接して、ＨＹ２がある。これらの竪穴住居跡群について番号順に下記に説明を加える。

○ＨＹ１（第３・21図）

全体の約半分を確認した。平面形状は楕円形を有し、推定であるが長径4.4ｍ、短径4.0ｍ、深さ12㎝を測る。床面の中央部に拳大の川原石を用いた方形の石囲い炉を持つ竪穴住居跡であり、炉の東側は空間となっていた。ＨＹ４を掘り込んで構築されている。

柱穴は壁の周辺を中心に８本確認している。西方の壁には、ＭＹ１とした埋設土器がある。ＭＹ１は縄文を施文しただけの粗製土器で、胎土から縄文後期末葉と考えられる。

出土遺物は、覆土及び床面と炉、柱穴からであり、大半は土器片で、841点、他に礫器３点であった。土器片は、磨滅片196点、無紋501点、縄文32点、底部片16点で、文様があるのは、96点であった。これらのなかで27点については、拓本図で示した。礫器は敲石２点、(第49図３、６）と台石１点が出土している。他には第15図３の復元土器がある。

住居跡の年代としては、出土土器の吟味から縄文時代後期末葉が構築時期、晩期が廃絶時期と考えられる。

○ＨＹ２（第４・22・23図）

住居跡の西南部がやや後世の削平を受けて、壁が明確でなかったが、ほぼ全容が把握されたものと考えられる。遺構が集中する場所であり土壙群や柱穴群と重複している。

円形状の平面形状を有し、長径5.6ｍ、短径5.4ｍ、深さは最深で22㎝を測る。柱穴は14本認められた。床面の中央やや東方よりに円形の石囲い炉がある。炉は1.2ｍで焼土の深さは10㎝であった。この焼土からは、土器片及び有茎石鏃１点が出土している。他に出土遺物としては、覆土、床面、柱穴を中心に総数で2881点出土している。

大半は土器片でしめられ、2856点であった。それらは、磨滅片や縄文、無紋が多く文様が判別できたのは、111点であった。一括土器としては６点出土しているが、復元できたのは

２点であった。第15図８と第18図１である。他は磨滅が著しく復元することができなかった。

土器片以外では、石器13点、石製品１点、礫器４点がある。石器は無茎石鏃２点、有茎石鏃３点、石鏃未完成１点、石錐４点、縦形石匙１点、定角式磨製石斧２点、磨石３点、敲石１点がある。

石製品としては、西方壁面から出土したＥＺ７（第44図７）である。石棒の柄であり、意図的に壊された形状と推測される。復元土器としては、北方の壁面直下から出土した、ＭＹ16がある。口縁部が内湾する甕形土器で縄文だけを施文した粗製土器である。縄文晩期大洞ＢＣ式併行と考えられる。

住居跡の年代は、出土した土器から吟味して、縄文後期末葉～縄文晩期前葉で中心は晩期前葉と推測したい。

○ＨＹ３（第５・23図）

竪穴住居跡としては、最も東に位置する。平面形状は隅丸方形状を有し、床面を掘り込んで中央部のやや南東よりに、方形の石囲い炉を構築している。

長径は5.18ｍ、短径4.62メートル、深さは４～10㎝と現況では浅いが、高台にあるため後世に削平されたものと判断される。柱穴は壁直下周辺を中心として11本認められた。

遺物としては、土器片28点、石器４点、敲石２点が出土している。土器片はコブ付土器の第Ⅳ段階の特徴を持つ土器群が多く認められた。石器は縦型石匙１点、未完成石鏃１点、削器２点が出土している。

竪穴住居跡の年代としては、縄文時代後期末葉が中心と想定され、縄文晩期前葉に廃絶したものと考えられる。

○ＨＹ４（第３・23・24図）

先に述べたＨＹ１と重複するもので、ＨＹ１に先行する竪穴住居跡と考えられる。全体のほぼ半分を調査したと想定され、推定であるが長径は6.3ｍ、短径は6.0ｍで平面形状はＨＹ３と同様な隅丸方形状を呈するものと推測した。柱穴は17本あり、重複しているのが多く認められた。

出土遺物としては、土器片338点、土製品３点、石製品１点、台石１点であった。土器片は、他と同様に磨滅や無紋が多く拓影図を作成したのは、１６点であった。ＭＹ２・17は磨滅が著しく復元できなかった。胎土から判断して、縄文晩期前葉の大洞Ｂ式併行と判断される。竪穴住居跡の年代としては、ＨＹ３と同様な年代が妥当であろう。

○ＢＹ１（第６図）

今回の調査区からは、柱穴の痕跡を示す遺構群が検出されているが、明確に掘立建物跡とされる柱穴群は、第６図に示したＰ４、６～８、26、64だけであった。実線で示す様に菱形に配した形状が想定される。配置から見て炉は共用したものと考えたい。

（２）土壙（第７～14図）

調査区のほぼ全域に亘って分布するが、竪穴住居跡周辺に多く認められた。詳細は第１表に示した。これらの土壙は出土遺物や形状によって、３形態に分類される。年代は出土遺物から竪穴住居跡と同様に縄文時代後期末葉～縄文時代晩期前葉が中心である。

Ａ類（ＤＹ１、10、17、21、22、24、36、57、60、62、66、67）

楕円形状や円形状を示すもので、多くの遺物が内部から出土するといった特徴が認められる。いずれも、意図的に土器を埋納したと想定され、墓壙の可能性が高いと考えられる。

Ｂ類（ＤＹ２、４、５、６、９、11～14、16、19、20、23、26～29、31～35、37、38、40～42、44、45、47～49、51、54、55、55、59、63～65、69）

これらの土壙群は、浅いものと深いものがあり、明確には言えないが前者はゴミ捨て穴であると考えられる。後者は遺物の出土量は少ないが、Ａ類の可能性もある。

Ｃ類（ＤＹ３、７、８、15、18、25、30、39、43、46、50、52、56、61、68）

半裁した土層から判断して、明確に柱穴として構築された状況を示していた。特にＤＹ８やＤＹ15は顕著であった。これらによって構成されると推測される掘立柱建物跡は、ＨＹ２の東方中心に認められ、長軸を南北に有する全長12ｍの大形の掘立柱建物跡であった可能性が高いが、明確には出来なかった。

（３）溝状遺構（第13・14図）

調査区の中央部に位置し、東西に延びるＫＹ３で、幅は30㎝前後で平均しており、深さは最深で40㎝あり、西方は削平を受け一部消滅している箇所もある。覆土は自然堆積であり、断面形態は「Ｕ」字型を示している。集落に関連する排水路と推測される。遺物の出土量は少なく、土器片数点だけであった。時期的には、竪穴住居跡と同様な年代である。

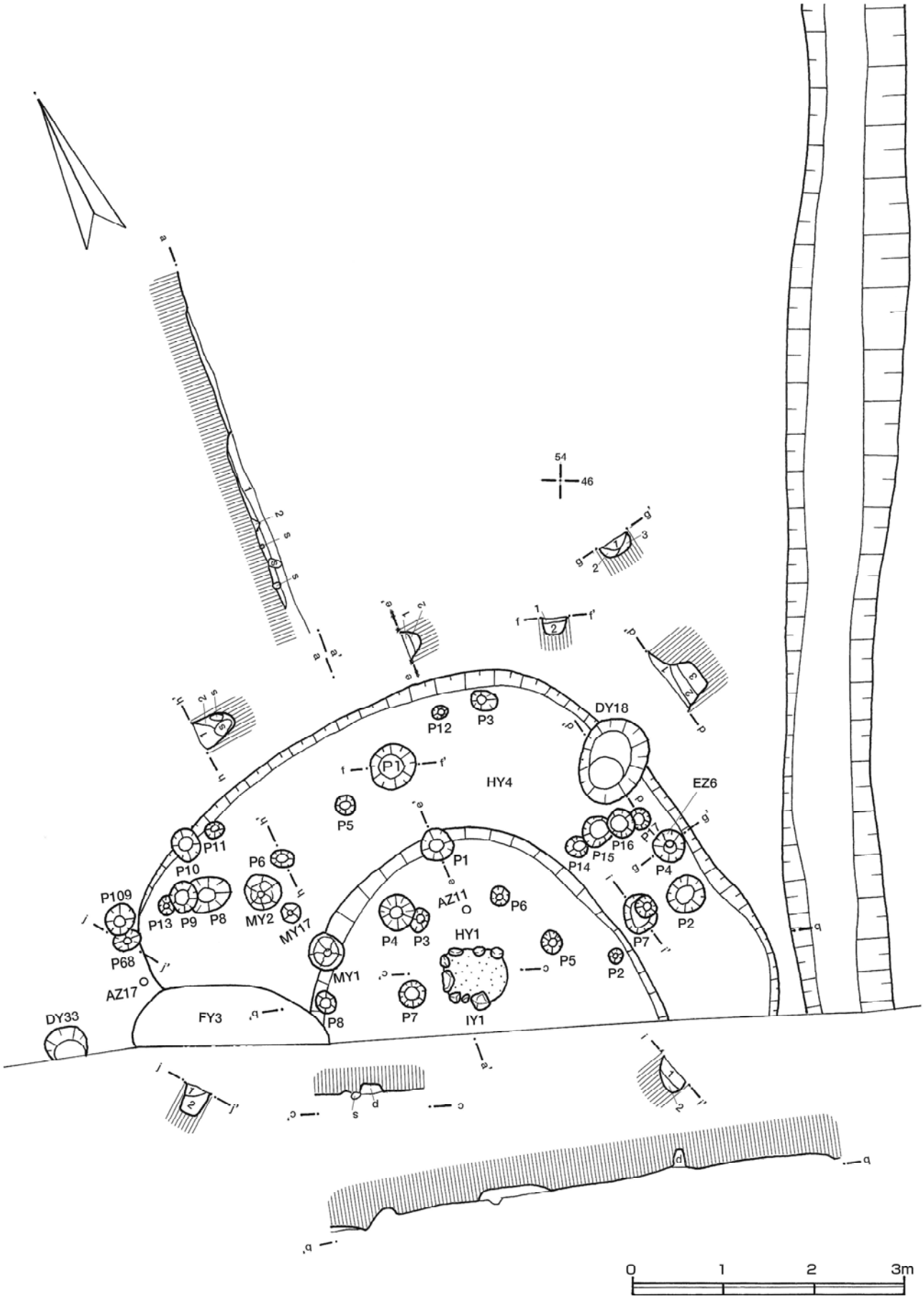
（４）ピット群

他の遺構と同様に南西部に集中して確認された。これらは竪穴住居跡の柱穴であったものや、その他の小規模な建物を構成するものと考えられる。特に今回の調査区は後世に削平された箇所があり、竪穴住居跡の壁面がなくなり、それに伴う柱穴だけが残ったと考えられる箇所がある。

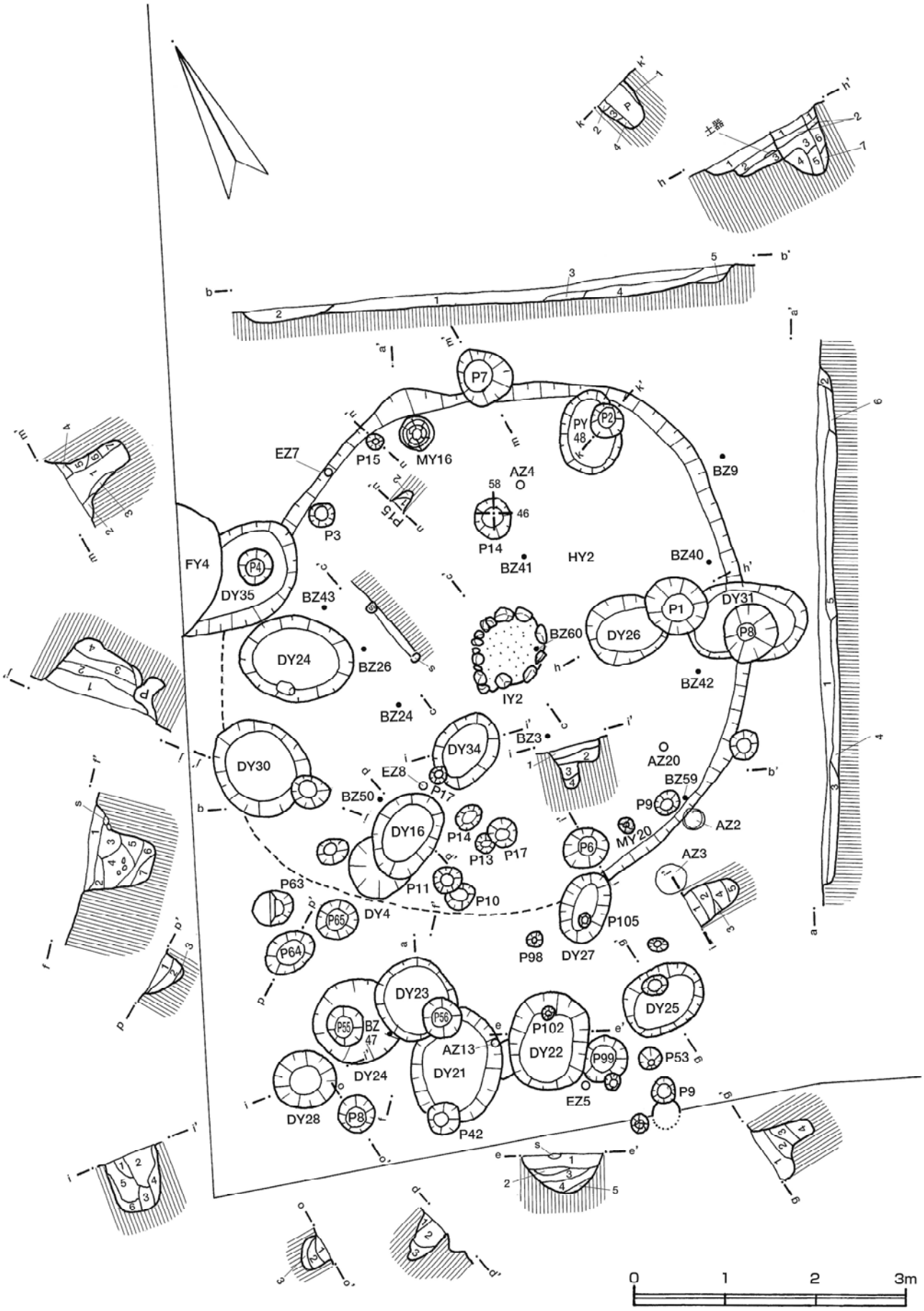
ＨＹ２の北方とＨＹ３の西南箇所であり、この場所に竪穴住居跡があった可能性は極めて高いと推測される。

（５）その他の遺構（12・13図）

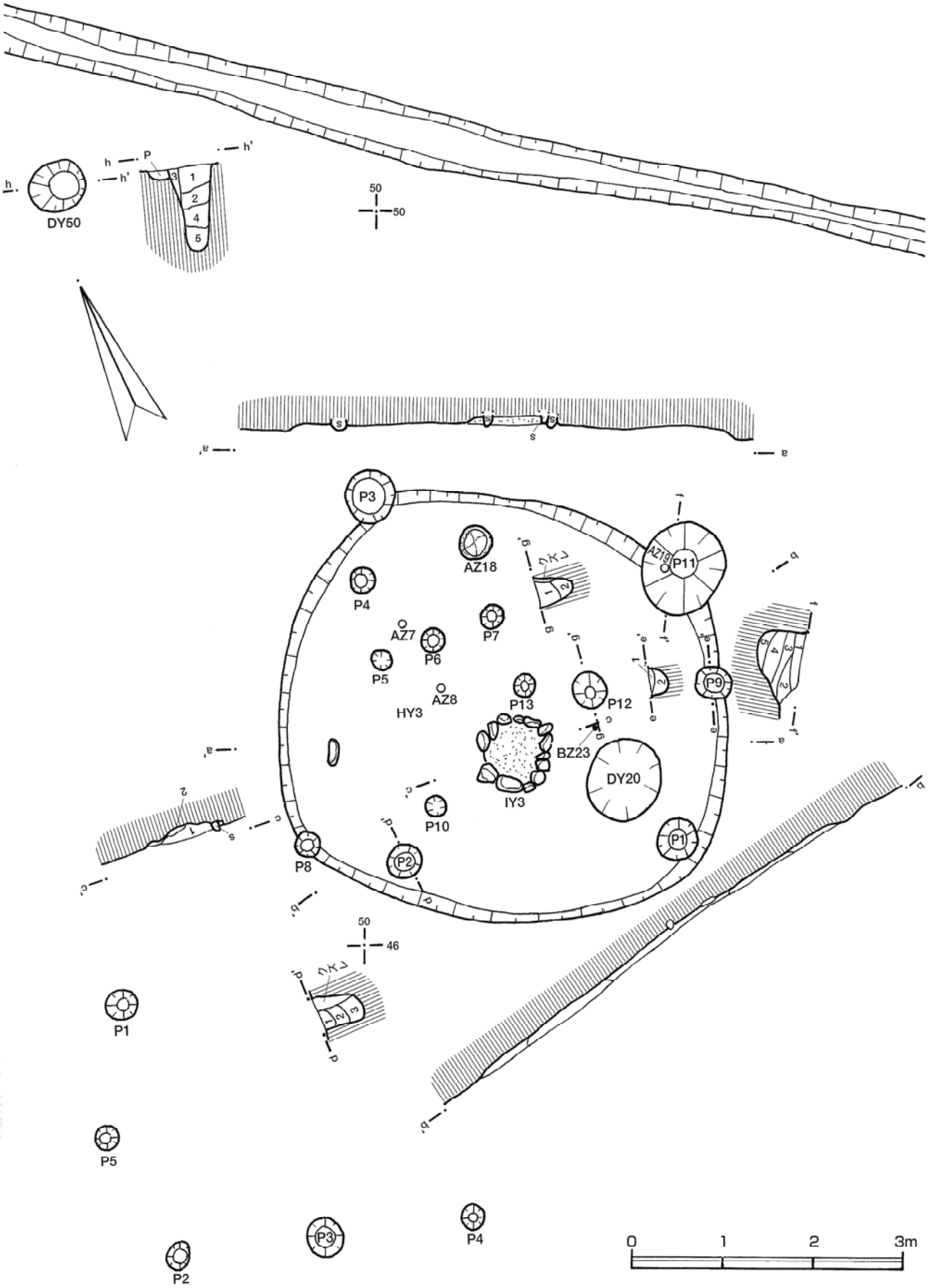
ＦＹ１、２は縄文時代の竪穴状遺構であるが、ＦＹ３、４は最近の穴である。



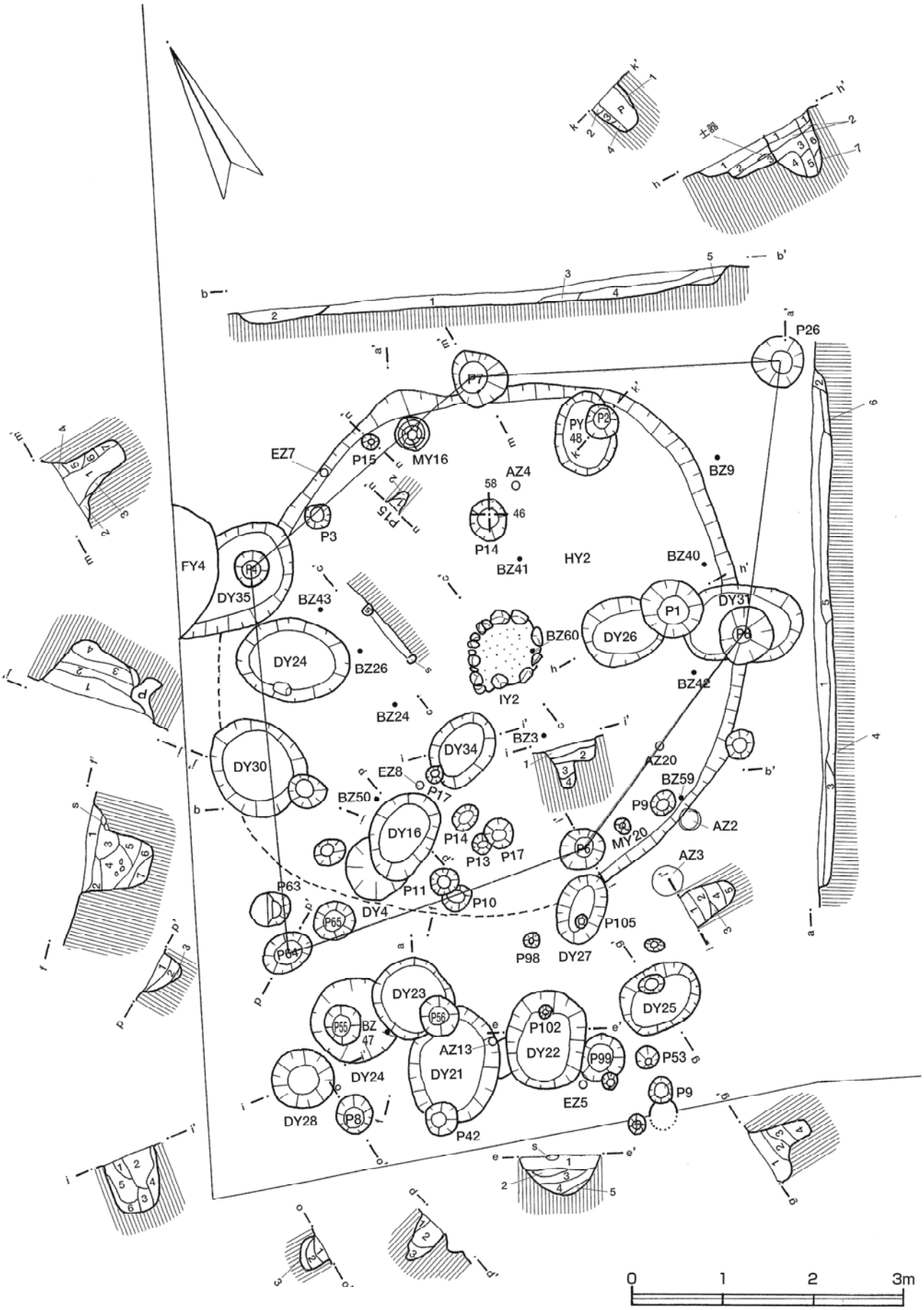
第３図　野際遺跡遺構平面（1）　HY1・HY4



第４図　野際遺跡遺構平面図（2）　HY2



第５図　野際遺跡遺構平面図（3）　HY3

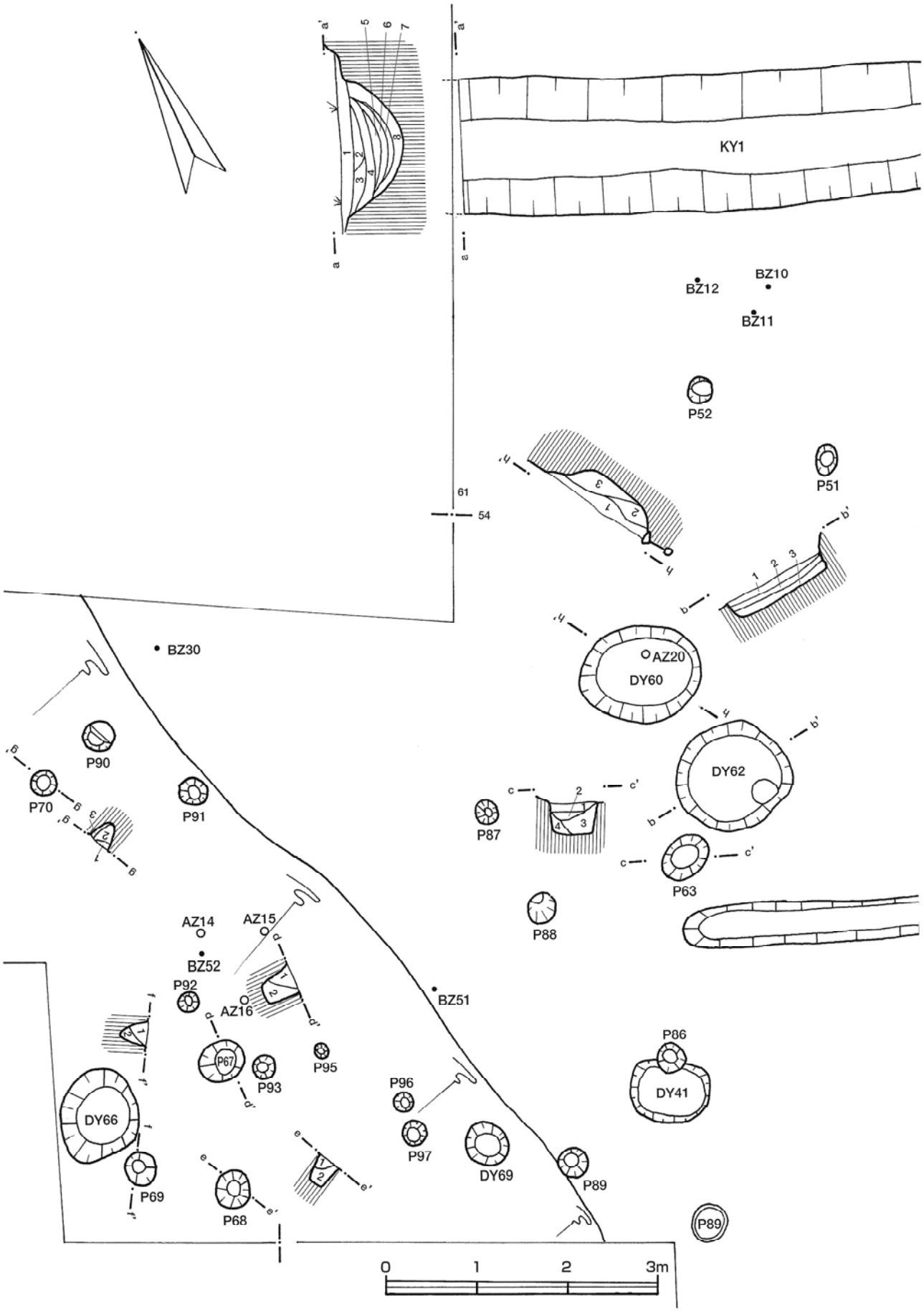


第６図　野際遺跡遺構平面図（4）　掘立柱 BY1

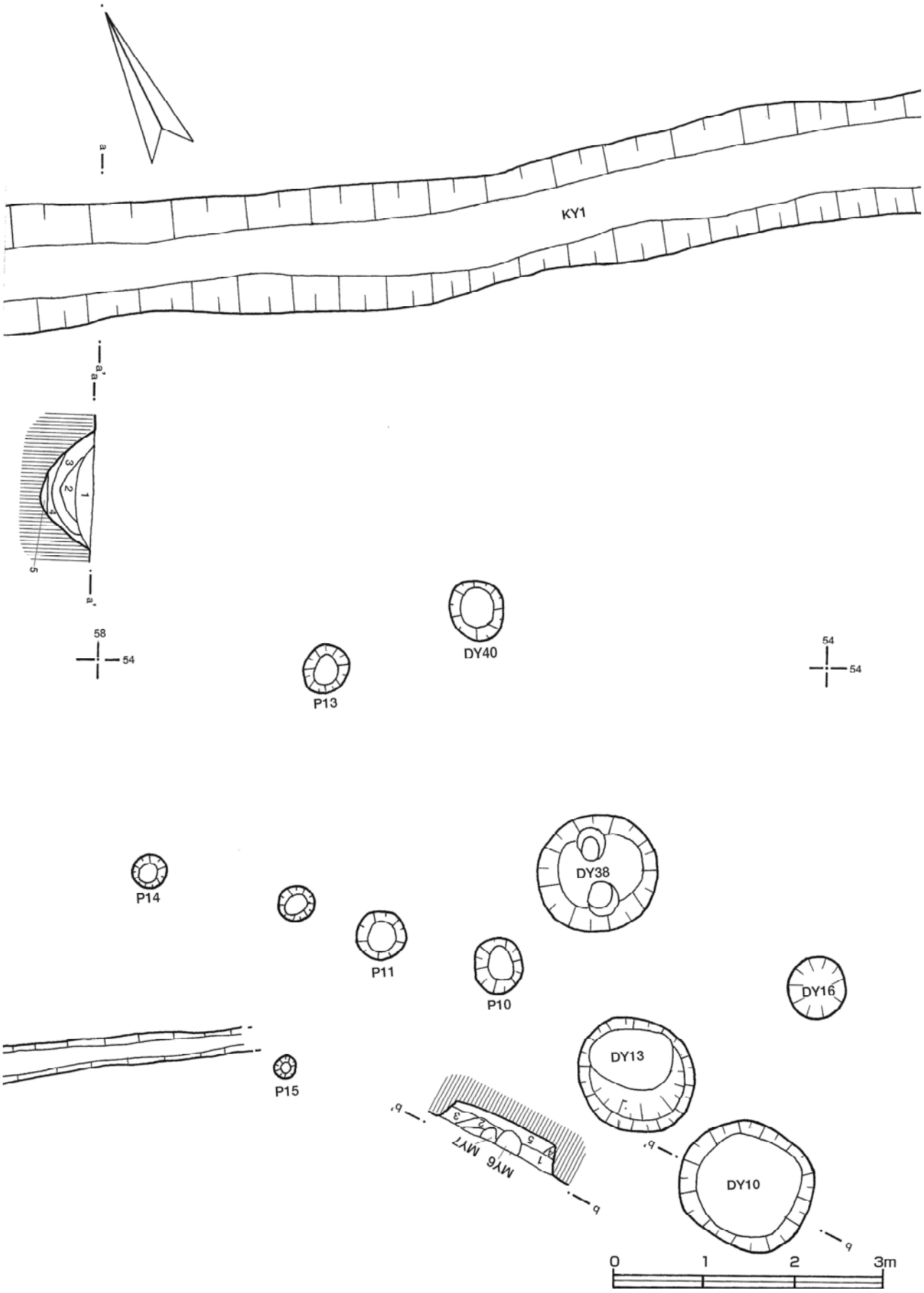
第１表　野際遺跡土壙計測表

No	遺構番号	上部径（cm）	底部径（cm）	深さ（cm）	地　区	出土遺物	土器片数	拓本数	石　数
1	DY1	150	120	54	58-50	第45図１円盤状石製品，円盤状石製品２，箆状石器１	1032	19	18
2	DY2	50	46	12	58-50		1	0	0
3	DY3	80	68	84	58-50				
4	DY4	68	－	－	58-46				
5	DY5	68	54	12	58-46	敲石ｅ類１	16	0	0
6	DY6	70	66	10	58-54		6	0	0
7	DY7	74	66	18	50-46		2	0	1
8	DY8	94	72	82	58-50		14	1	0
9	DY9	134	74	34	61-54		5	0	0
10	DY10	150	134	32	58-54				
11	DY11	118	110	18	54-54	石核１，石皿ｃ類１	101	9	2
12	DY12	68	64	46	54-54		29	1	0
13	DY13	136	124	20	58-54		9	0	1
14	DY14	58	56	78	58-50		5	0	0
15	DY15	98	68	82	58-46				
16	DY16	100	72	48	62-46	第41図４石錐，第45図５石棒，石錐１，石棒１			
17	DY17	112	92	44	54-54		86	2	3
18	DY18	98	72	34	54-46	第42図５定角式磨製石斧，有茎石鏃１，定角式磨製石斧１，敲石ａ類１	77	3	3
19	DY19	228	70	16	50-50		9	2	1
20	DY20	90	78	10	50-50				
21	DY21	126	96	43	62-46	箆状石器１	31	1	0
22	DY22	106	88	46	58-46	縦型石匙１，円盤状石製品１	210	3	2
23	DY23	94	80	40	62-46		77	6	7
24	DY24	98	90	－	62-46	小型箆状石器１，敲石ａ類１ｄ類１	334	6	5
25	DY25	92	70	62	58-46		75	1	0
26	DY26	92	72	28	58-46		50	2	0
27	DY27	70	54	28	58-46		14	1	0
28	DY28	70	62	62	62-46		52	0	0
29	DY29	126	94	20	62-46	敲石ｃ類１ｄ類１	110	7	0
30	DY30	114	98	60	62-46		169	2	0
31	DY31	132	88	－	58-46				
32	DY32	－	62	22	58-50				
33	DY33	48	42	35	58-46		68	7	0
34	DY34	88	64	46	62-46		39	2	0
35	DY35	－	106	－	62-46		1	0	0

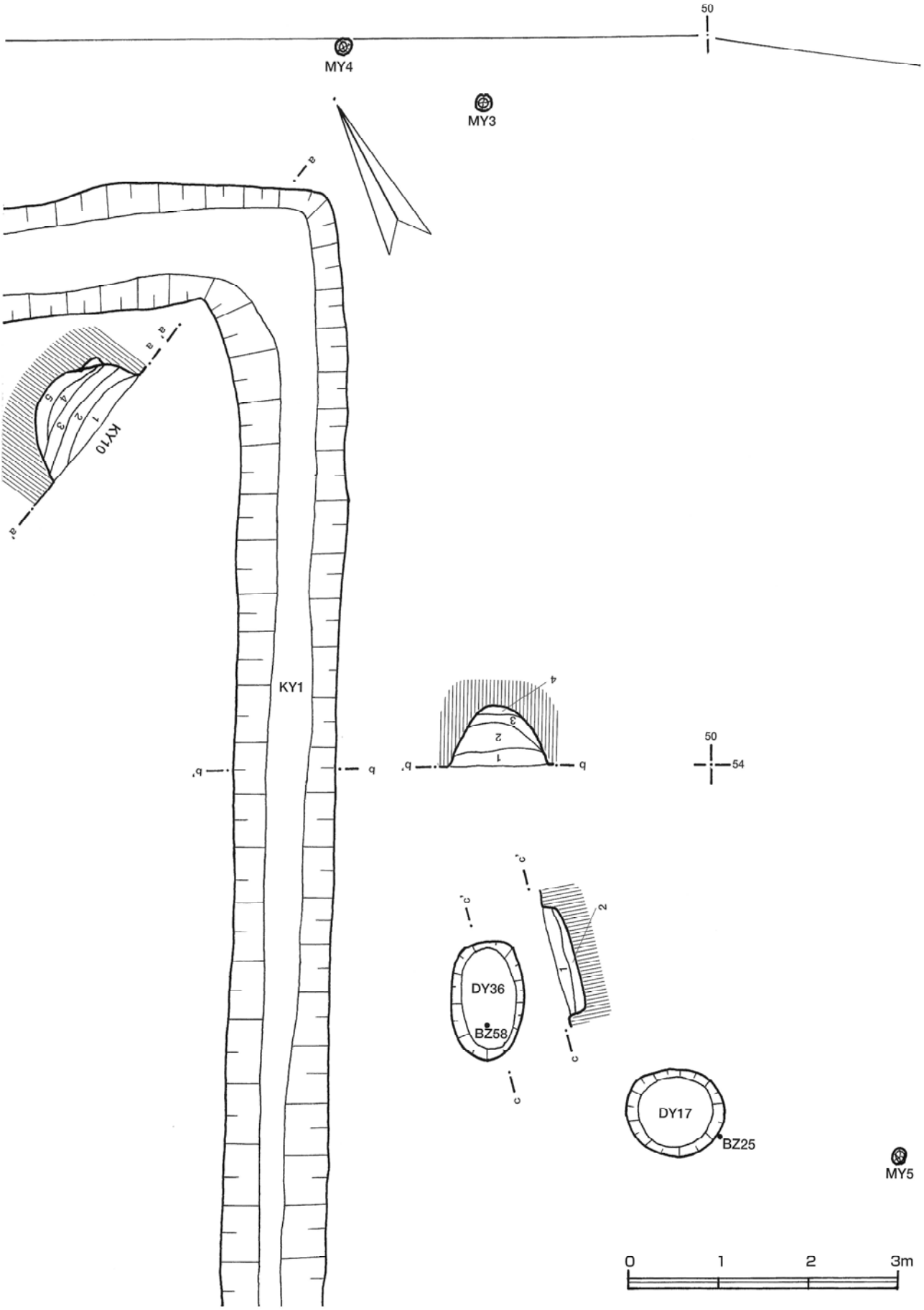
No	遺構番号	上部径（cm）	底部径（cm）	深さ（cm）	地　区	出 土 遺 物	土器片数	拓本数	石　数
36	DY36	134	82	23	54-54	第41図3 有茎石鏃， 有茎石鏃 1，横型石匙 1， 敲石 e 類 1	67	7	5
37	DY37	108	96	6	62-50		74	1	4
38	DY38	136	128	40	58-54		17	0	0
39	DY39	98	76	38	58-50		4	0	0
40	DY40	68	62	35	58-58				
41	DY41	88	66	10	61-54		0	0	1
42	DY42	82	74	32	62-50	敲石 d 類 1	61	1	2
43	DY43	64	50	40	62-50		12	0	0
44	DY44	50	44	74	58-50		27	1	0
45	DY45	32	28	5	58-50				
46	DY46	60	60	104	58-50		10	0	0
47	DY47	68	46	15	58-46	敲石 e 類 1，磨石 a 類 1	19	2	0
48	DY48	92	68	－	58-50				
49	DY49	－	60	－	58-50				
50	DY50	66	56	94	54-54		1	1	0
51	DY51	－	66	11	54-46		4	1	0
52	DY52	72	64	34	50-46		26	1	0
53	DY53	68	62	28	50-46		4	0	0
54	DY54	130	60	8	50-46				
55	DY55	106	100	13	50-46		3	0	0
56	DY56	70	60	18	46-50				
57	DY57	112	98	42	54-50		39	3	2
58	DY58	132	92	7	61-54		17	3	0
59	DY59	70	60	54	62-50		18	0	0
60	DY60	138	106	36	61-54				
61	DY61	74	74	56	62-50		6	0	1
62	DY62	130	122	24	61-54		7	0	1
63	DY63	58	42	34	61-54	台石 1			
64	DY64	114	70	16	54-54		30	0	0
65	DY65	162	102	－	50-46		13	4	0
66	DY66	106	86	24	64-54		383	11	8
67	DY67	－	66	－	58-46	第42図4 定角式磨製石斧， 削器 1，定角式磨製石斧 1， 敲石 a 類 1	46	0	0
68	DY68	48	32	11	62-50		2	0	0
69	DY69	52	44	22	61-54		9	0	0



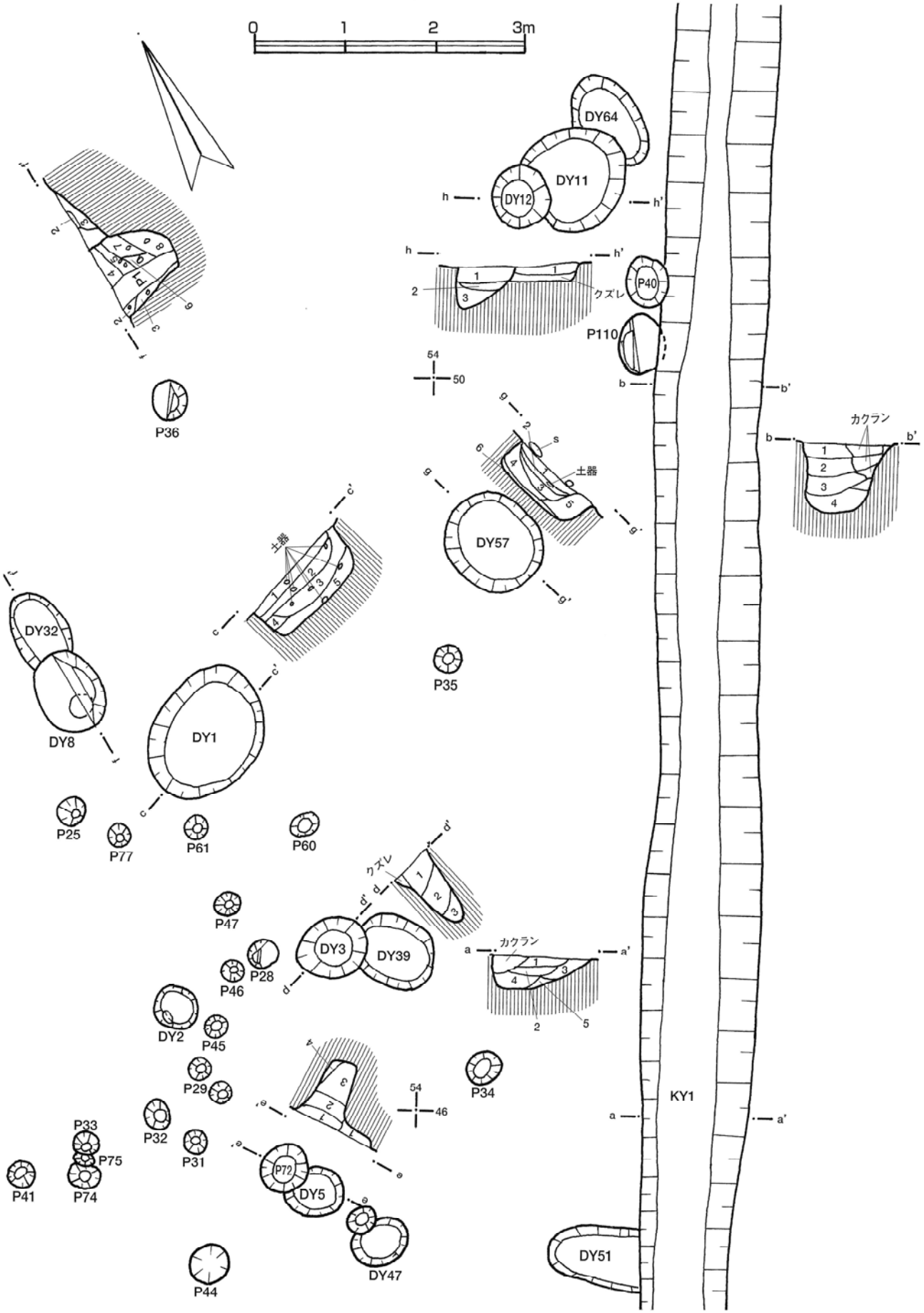
第７図　野際遺跡遺構平面図（5）　KY1・DY41・60・62 他



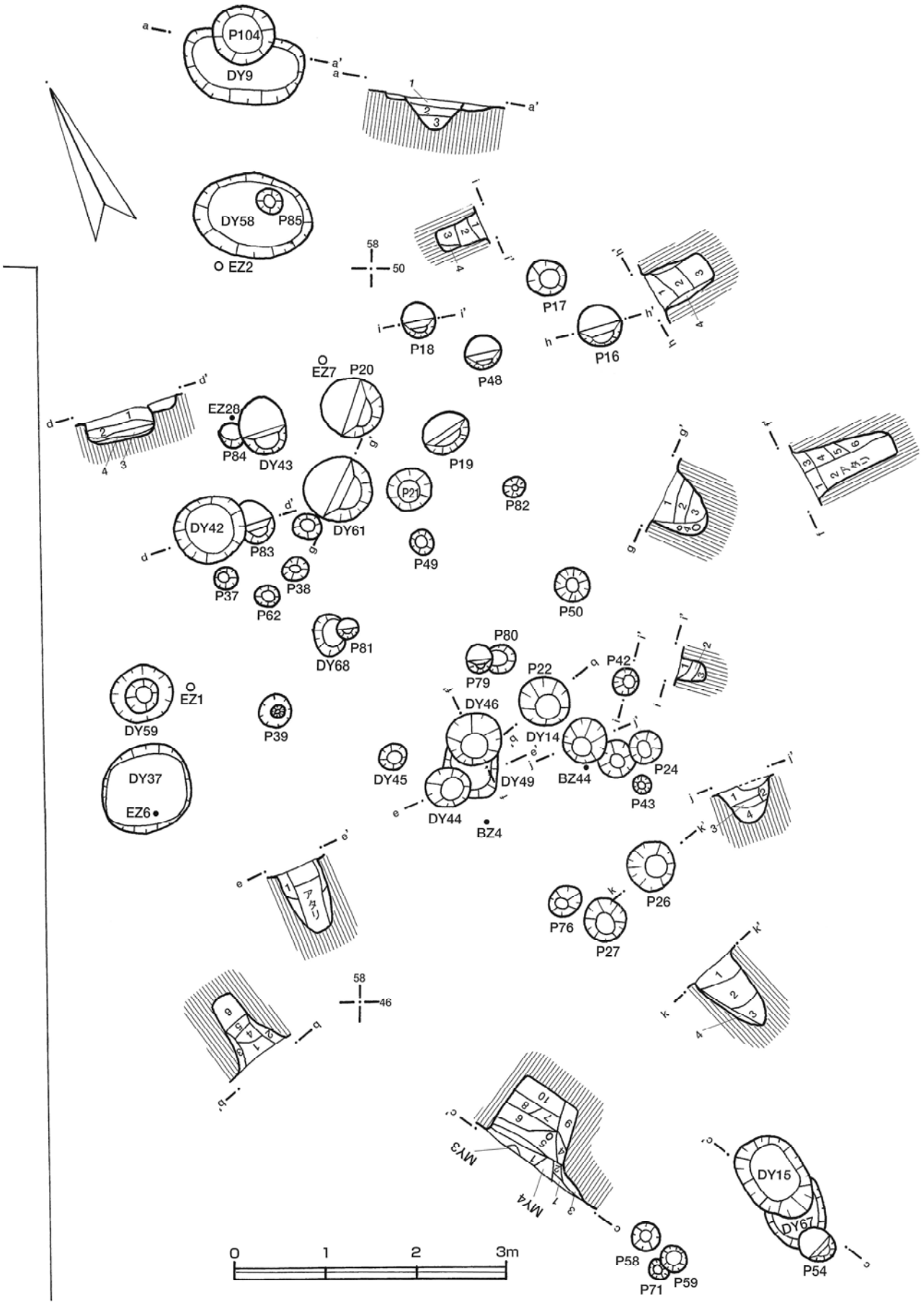
第８図　野際遺跡遺構平面図（6）　KY1・DY10・13・38 他



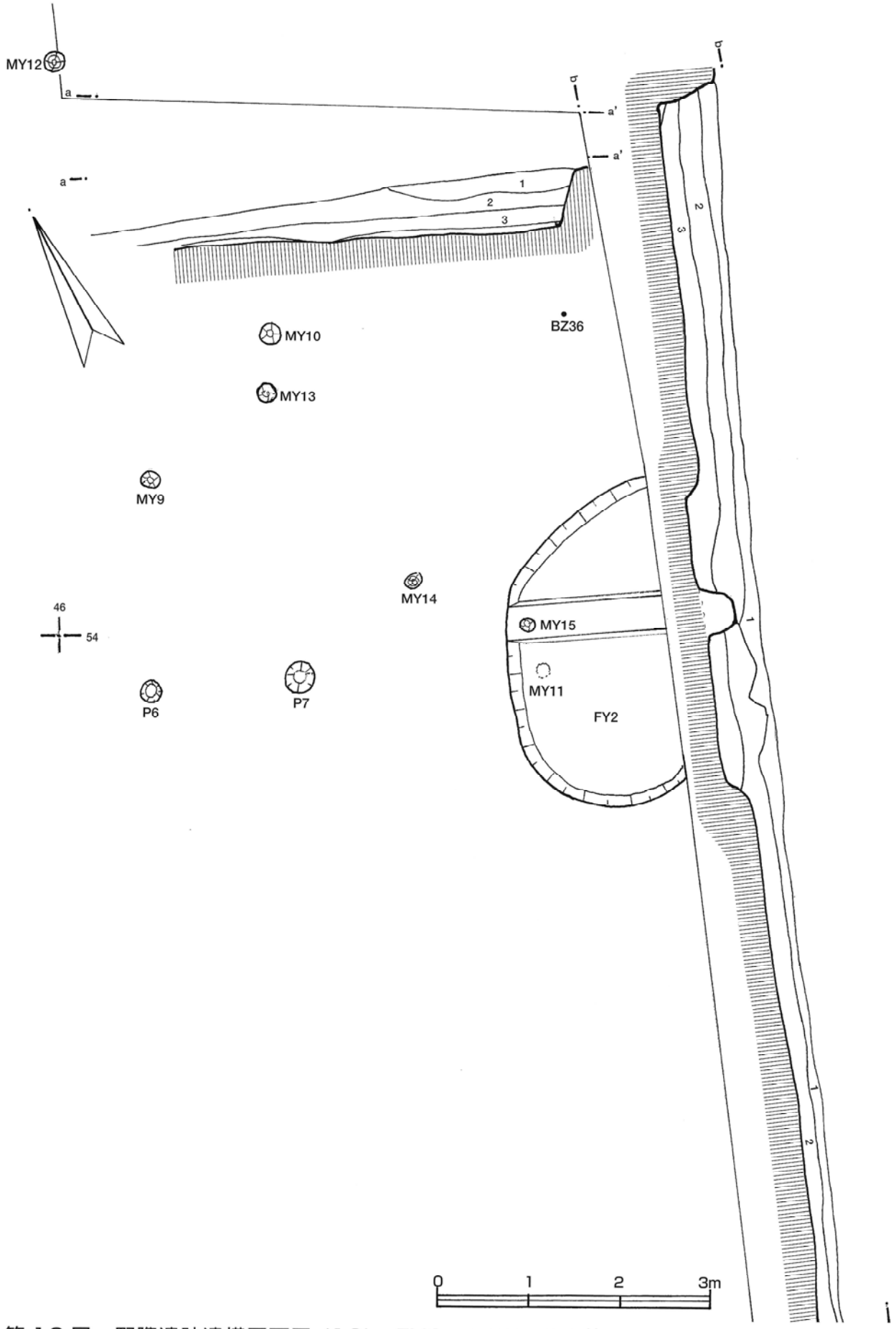
第９図　野際遺跡遺構平面図（7）　KY1・DY17・DY36



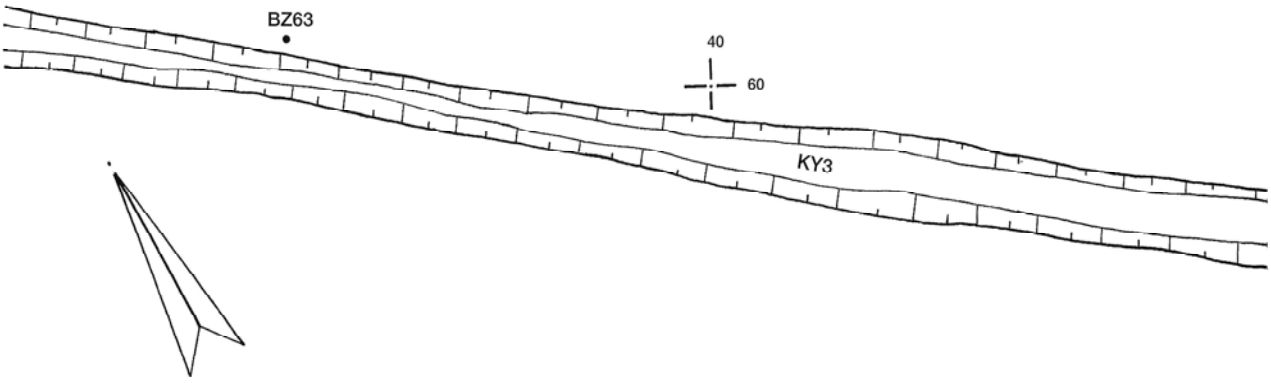
第10図　野際遺跡遺構平面図（8）　KY1・DY1・3・5他

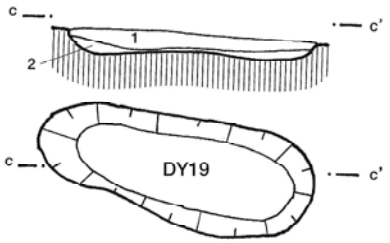


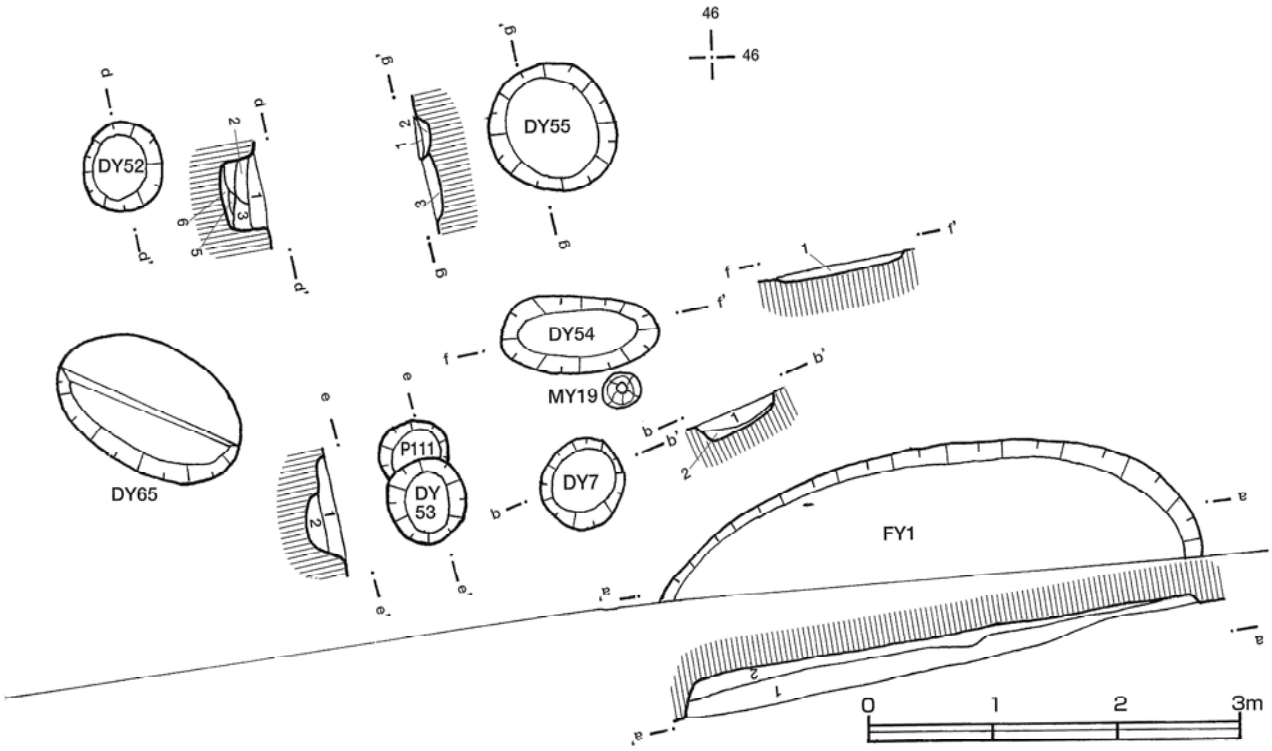
第11図　野際遺跡遺構平面図（9）　DY9・14・15他



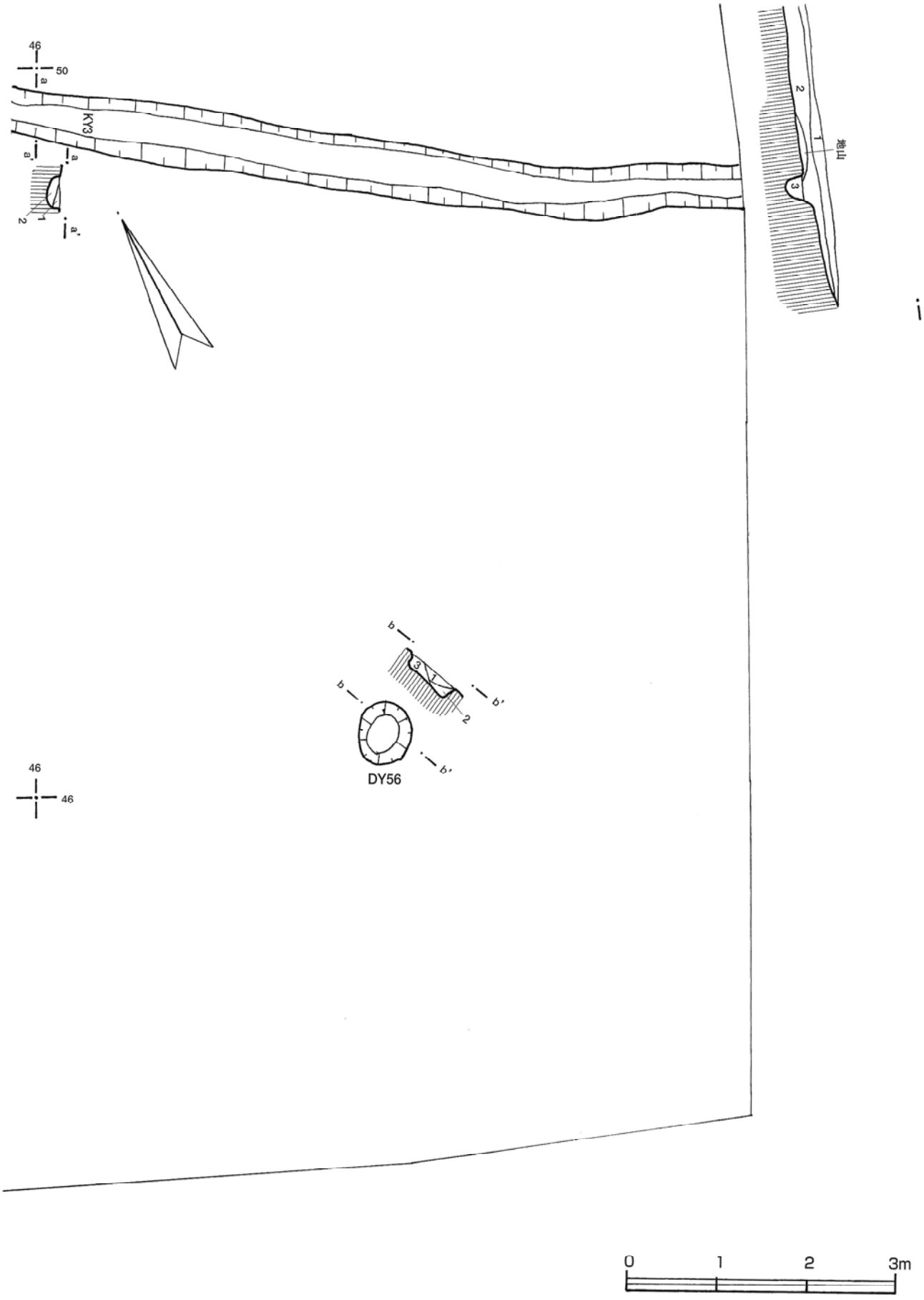
第12図　野際遺跡遺構平面図（10）　FY2・MY9・10他







第13図　野際遺跡遺構平面図（11）　KY3・FY1・DY7・19他



第14図　野際遺跡遺構平面図（12）　KY3・DY56

Ⅳ　出土遺物

遺構群を中心に出土し、土器片が最も多く 23,676 点、次いで剥片 901 点、石器 103 点、礫器 72 点、一括土器 25 点、埋設土器 17 点、石製品 16 点、土製品 3 点であった。これらの遺物について、実測図を必要と認識したものを選出して作図した。

（1）出土土器

実測図及び拓影図を作成し、さらに土器観察表を記したので、詳細についてはこれらを参照願いたい。一括土器、埋設土器の合計は 42 点であるが、上部を削平されたものや磨滅が著しいものが多く、復元できたのは 18 点であった。この中で石膏を全く使わない、所謂完形時土器はＭＹ 16 甕形土器とＡＺ 10 注口土器の 2 点だけである。

復元土器については第 15 図～第 19 図に示し、第 2 表に観察表を作成した。土器片については、文様が判別されるものを対象に 552 点について第 20 図から第 40 図に示し、第 3 表に観察表を作成した。出土した土器群を文様や胎土、器形から下記に分類される。

○Ａ群土器（第 20 図 20）

尖底土器片であり、調査区の北東から出土している。胎土や器形から縄文早期中葉の田戸上層 (関東地方)、東北南部では大寺、常世、米沢市では法将寺、桑山Ⅴに併行する土器群と考えられる。

○Ｂ群土器 (第 20 図 1 ～ 16)

羽状縄文や結束羽状縄文、ループ文を施文した土器群であり、胎土に繊維を含む特徴が認められる。これらの特徴から本群は縄文時代前期前葉の土器群である。出土場所としては調査区の北東箇所に集中する。この箇所は今回住居跡が確認された場所から見ればやや高台となっている。

関東の関山Ⅰ、東北南部の桂島、米沢市では一ノ坂に併行する土器群である。

○Ｃ群土器 (第 20 図 18)

網状撚糸圧痕文を施文した、深鉢形土器の胴部片で、東北南部の大木 1 式併行と考えられ当市においては、板谷Ⅱの出土例がある。Ｂ群土器よりやや新しい段階の縄文時代前期前葉に位置づけられる。

○Ｄ群土器 (第 20 図 17)

粘土を貼付して、文様を表出した口縁部の土器片である。文様は渦巻文で縄文中期中葉に位置づけられる大木８ｂ式併行の特徴を持つ。これらのＡ群からＤ群の土器は出土量からすれば微量であり、また東方の高台に集中して認められ、関連する遺構群は確認されなかった。

圧倒的に多いのは、これから述べる土器群であり、出土量の大半を占める。遺物の出土状況から見れば、縄文時代の早期～中期の遺構群は北東に存在すると想定される。

第２表　野際遺跡出土復元土器一覧表

No.	調査次	遺物登録No.	出土地区・遺構	遺　物　名	土器分類	形 式 名	口径	器高	底径	挿　　図	写真図版	備　　考
1		ＭＹ１６	ＨＹ２	甕形土器	Ｇ群	大洞ＢＣ	34.2	45.7	9.6	第18図１	第16図版３	
2		ＡＺ２	Ｇ 58 － 46	深鉢形土器	Ｆ群	大洞Ｂ	—	(28.4)	11.3	第19図２	第16図版２	
3		ＭＹ１０	Ｇ 58 － 46	コブ付土器	Ｅ群	コブ付土器第Ⅳ段階	25.4	(21.1)	—	第15図１	第15図版７	
4		ＭＹ４	Ｇ 54 － 58	深鉢形土器	Ｅ群	コブ付土器第Ⅳ段階	20.3	19.2	9.3	第18図２	第15図版６	
5		ＭＹ１３	Ｇ 46 － 57	甕形土器	Ｇ群	大洞ＢＣ	25.3	33.8	8.2	第19図１	第16図版１	
6		ＭＹ１４	Ｇ 46 － 57	深鉢形土器	Ｅ群	コブ付土器第Ⅳ段階	20.2	17.4	5.5	第18図３	第15図版３	
7		ＡＺ２１	ＨＹ２　Ｐ１	小形深鉢形土器	Ｆ群	大洞Ｂ	13.4	12	6.4	第15図８	第15図版４	
8		ＡＺ２２	ＨＹ１	深鉢形土器	Ｇ群	大洞ＢＣ	—	(11.4)	8.4	第15図３	第15図版２	
9		ＡＺ６－ａ	ＤＹ１	壺形土器	Ｈ群	大洞Ｃ	—	(16.4)	5.6	第19図３	第15図版５	
10		ＡＺ６－ｂ	ＤＹ１	鉢形土器	Ｈ群	大洞Ｃ	(16.5)	12.6	5.2	第19図４	第15図版８	
11		ＡＺ１０	Ｇ 65 － 54	注口土器	Ｆ群	大洞Ｂ	6.5	9.5	—	第16図１	第14図版１	
12		ＡＺ５	ＤＹ１	壺形土器	Ｇ群	大洞ＢＣ	—	(8.0)	—	第15図５	第14図版８	
13		ＡＺ１	Ｇ 58 － 50	小形台付鉢形土器	Ｇ群	大洞ＢＣ	(5.2)	7.6	4.1	第16図４	第14図版７	
14		ＡＺ２４	ＨＹ３	台付鉢形土器	Ｅ群	コブ付土器第Ⅳ段階	20.6	(8.6)	—	第15図６	第15図版１	
15		ＡＺ１５	Ｇ 65 － 54	鉢形土器	Ｇ群	大洞ＢＣ	(20.6)	8	(7.4)	第15図２	第14図版４	
16		ＡＺ４	Ｇ 58 － 50	台付鉢形土器	Ｅ群	コブ付土器第Ⅳ段階	—	4.9	8.2	第15図９	第14図版９	
17		ＭＹ３	Ｇ 54 － 58	小形土器	Ｆ群	大洞Ｂ	10	8.1	6.4	第15図４	第14図版５	
18		ＡＺ１４	Ｇ 65 － 54	小形土器	Ｅ群	コブ付土器第Ⅳ段階	7.8	(5.2)	—	第16図２	第14図版３	
19		ＡＺ２５	ＤＹ２２	鉢形土器	Ｇ群	大洞ＢＣ	—	(9.3)	—	第15図７	第14図版６	
20		ＡＺ１６	Ｇ 65 － 54	台付土器	Ｈ群	大洞Ｃ	5.2	(6.8)	—	第16図３	第14図版２	

○E群土器(第15図1、6、9、16図2、第18図2、3他)

大半が、竪穴住居跡及び土壙からの検出である。出土量として全体の約4割を占める。棒状の工具で描く弧線連結文に豆状の粘土粒貼付した文様で、東北北部を中心として東北南部から関東の一部にまで分布する瘤付土器を本群とした。

○F群土器(第15図4、8、第16図1、第19図2)

縄文晩期初頭の、大洞B式併行の土器群を本群とした。羊歯状文を主体とする土器群であり、薄い断面形態である。文様を施文したのは少ない傾向を呈する。

○G群土器(第15図2、3、5、7第16図4、第18図1、第19図1)

大洞BCの土器群を本群とする。壷形土器、鉢形土器等が出土しており、雲形文等が認められる。先のF群とともに、縄文時代晩期前葉の土器群である。

○H群土器(第16図3、第19図3、4)

大洞C1の土器群を本群とした。横位の列点文等があり、壷形土器や小形の鉢形土器が出土している。

○I群土器(第20図19)

KY1のC区から出土した布目瓦の破片である。裏面がハジケけた状態で溝状遺構の覆土から認められた。布目瓦は奈良時代遺物であるが、出土した溝状遺構が奈良時代とは考えにくく、後世に混入したものであろう。

(2)石器(第41図〜第44図)

遺構群が集中する箇所からの出土が多く、器種としての出土数は無茎石鏃4点、有茎石鏃14点、尖頭器3点、石錐12点、横型石匙4点、縦型石匙14点、削器9点、箆状石器18点打製石斧1点、定角式磨製石斧15点、石核9点であった。詳細については、第4表を参照願いたい。

石材としては、頁岩が圧倒的に多いが石鏃に関しては、琥珀や石英を使用したものが認められた。器種としては、有茎石鏃や横型石匙等は本遺跡の中心年代に位置するものと考えられるが、縦型石匙の中には、B群土器に併行する形態も混入していた。

箆状石器は、大半が未完成品であり集落で石器の製作が行われていたことを示唆している。打製石斧は、刃部が開く撥形状の形態である。磨製石斧は地元産の硬砂岩を素材として製作したものが大半であった。刃が使用によって欠損した形態が多い。蛇紋岩を使用したものは、第42図4、7の小形の磨製石斧ある。4は唯一の完形でDY67から出土している。

出土状況から判断して、埋葬品の可能性もある。石核には、頁岩の他にチャートや安山岩が認められた。

（３）土製品（第16図５、第44図４、６、第５表）

動物型土製品１点と土錘２点の合計３点が出土している。

○動物型土製品（第16図５、第13図版）

頭と尾、左右の足が意図的に壊された状態であり、全体は不明であるが、イノシシの可能性が高い。

米沢市としては初めての出土である。動物の胴体１部両面には沈線と縄文が施文してある。沈線は第16図５で示すように５ａと５ｂの沈線の配置がやや異なっている。ＨＹ４のＰ４からの出土であり、この箇所からは他に第44図５、６の石錘、土錘が混在して出土した。自然に混入したというより、意図的に埋納したものと推察される。

○土錘（第44図４、６、第13図版）

第44図４は竪穴住居跡ＨＹ４の床面から出土した土錘で調査の際の欠損面があるが、完形の土錘である。側面中央に穿孔があり、直径３ミリの貫通孔がある。両面とも孔の直径が同一であり、棒状の工具で両面から穿孔した痕跡を有する。

側面の中央には全周する幅３ミリの溝があり、孔と溝が同一の工具で製作したことを伺わせる。

第44図６は動物型土製品と同様に、ＨＹ４Ｐ４から出土した土錘である。両面及び側面に幅３ミリの溝がある。第44図４より扁平で焼成は良好である。溝や穴は糸で固定するためのものであり、漁労の際に用いて網のおもりとするのが本来の用途であるが、今回出土した第44図４、５、６の３点は、何らかの儀式に使用したと推測される。

（４）石製品（第44図、第45図、第６表）

総数で16点出土しており、遺構からは６点であった。石材は安山岩が多く、他に硬砂岩や粗面岩、凝灰岩を用い整形している。

○石錘（第44図５）

ＨＹ４Ｐ４から出土した１点がある。凝灰岩を基材に用い、全体を研磨してから、両面と側面の中央に幅３ミリの溝を整形している。前述した土錘の第44図６と同類の形態であり、同一人物の製作であると考えられる。研磨を加えていることや、出土状況から判断して、特別な意味をもって製作された石錘であろう。

○石剣（第44図８）

調査区の北西から表採した石剣の先端部である。断面が楕円形をなすことから石剣と判断した。石材は硬砂岩を用い研磨で仕上げている。表採品であることから、風化しており、長年風雨にさらされた状況であった。

○石棒(第44図7、9第45図5、第13図版)

第44図7は、ＨＹ２の西北壁面から出土した石棒の頭部である。意図的に壊したと推測され、他の部分は今回の調査区からは出土しなかった。装飾文様を施した頭部であり、円形の突起部が認められる。この突起は、縄文後期末葉の瘤付土器を表現したと考えられ、この時期に位置する石棒であると思われる。

頭部の約半分が出土したもので、復元した直径は4.4㎝であり、突起部は２箇所あるものと判断される。文様は菱形文の中央に突起部を配し、細線で描写した格子状文を方形に配し、２単位が描写されると考えられる。

第44図9は、石棒の中央部破片と推測される。ていねいに研磨され、整形されている。意図的に壊された痕跡を有する。

第45図5は、安山岩を用いた大形の石棒で、頭部の一部が出土している。円形に加工され、表面が研磨で仕上げられている。他の２点と同様に意図的に壊されたものと判断される。遺構が集中する住居跡北方から出土している。

○円盤状石製品（第45図）

扁平な川原石を敲打して製作したもので、11点出土している。石材は安山岩が多く使用されている。この石製品は縄文時代中期に隆盛を極め、後期・晩期まで出土が確認されている。製作目的は利器というよりは、祭祀に関連する遺物と考えられる。

(５)礫　器(第46図～第51図、第７表)

総数で72点出土している。これらは敲石、磨石、石皿、台石に分類される。大別した出土数は敲石59点、磨石６点、石皿２点、台石５点であった。分類した順に述べる。

○敲石（第46図～50図１、２、４、６）

石材は安山岩や砂岩であり、円形や楕円形状を選出して使用している。
クルミ等の加工の際に使用した礫器で使用によって凹が数箇所に及ぶものもある。

○磨石（第50図３、５）

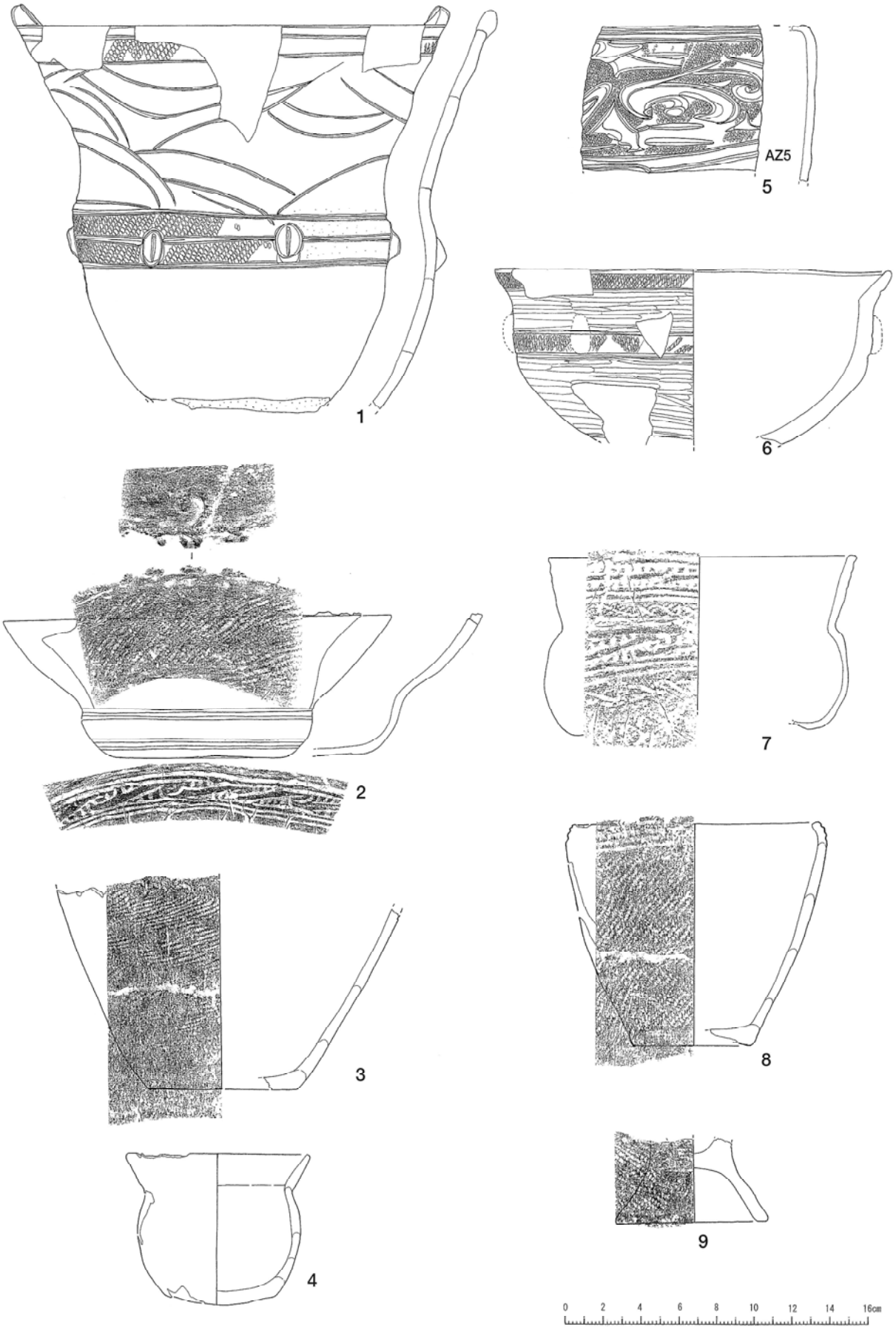
縁辺を使用するものと両面を使用する２形態が認められる。

○石皿

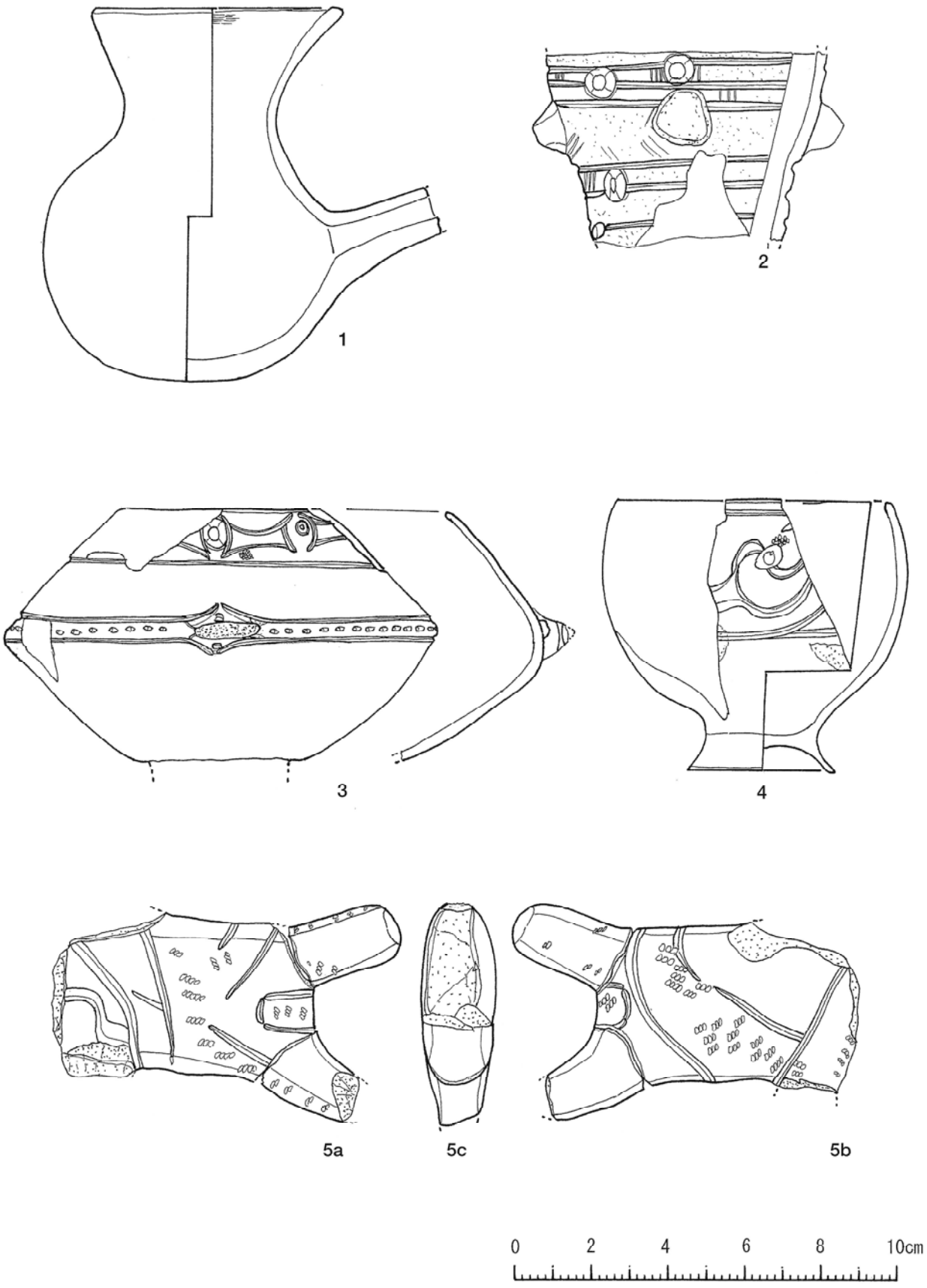
２点出土しているが両者とも破片である。磨面と縁辺の境が明瞭でない形態と推測される。

○台石（第51図１、２）

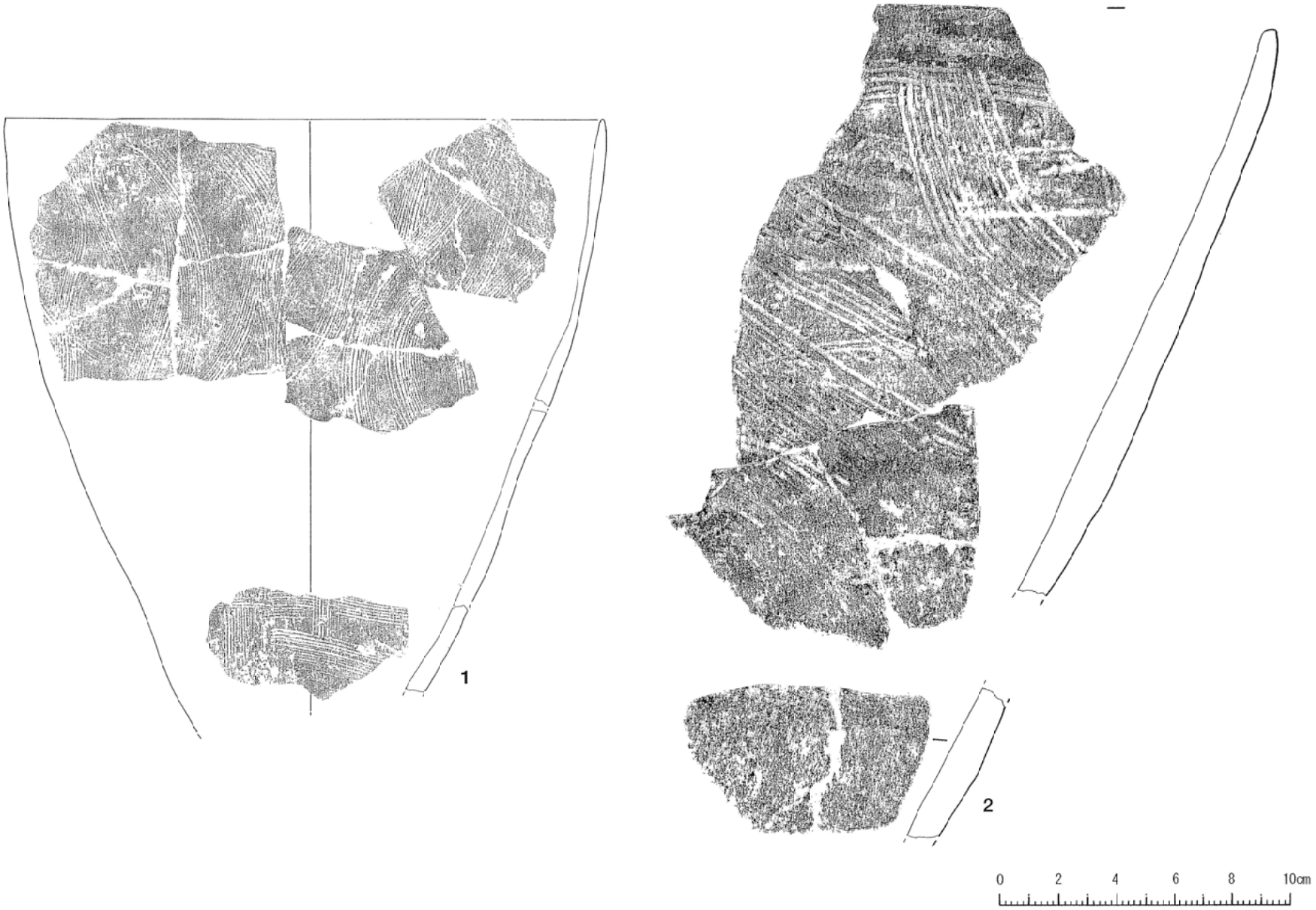
多数の凹部を有する形態であり、敲石とセットで使用されたものと考えられる。



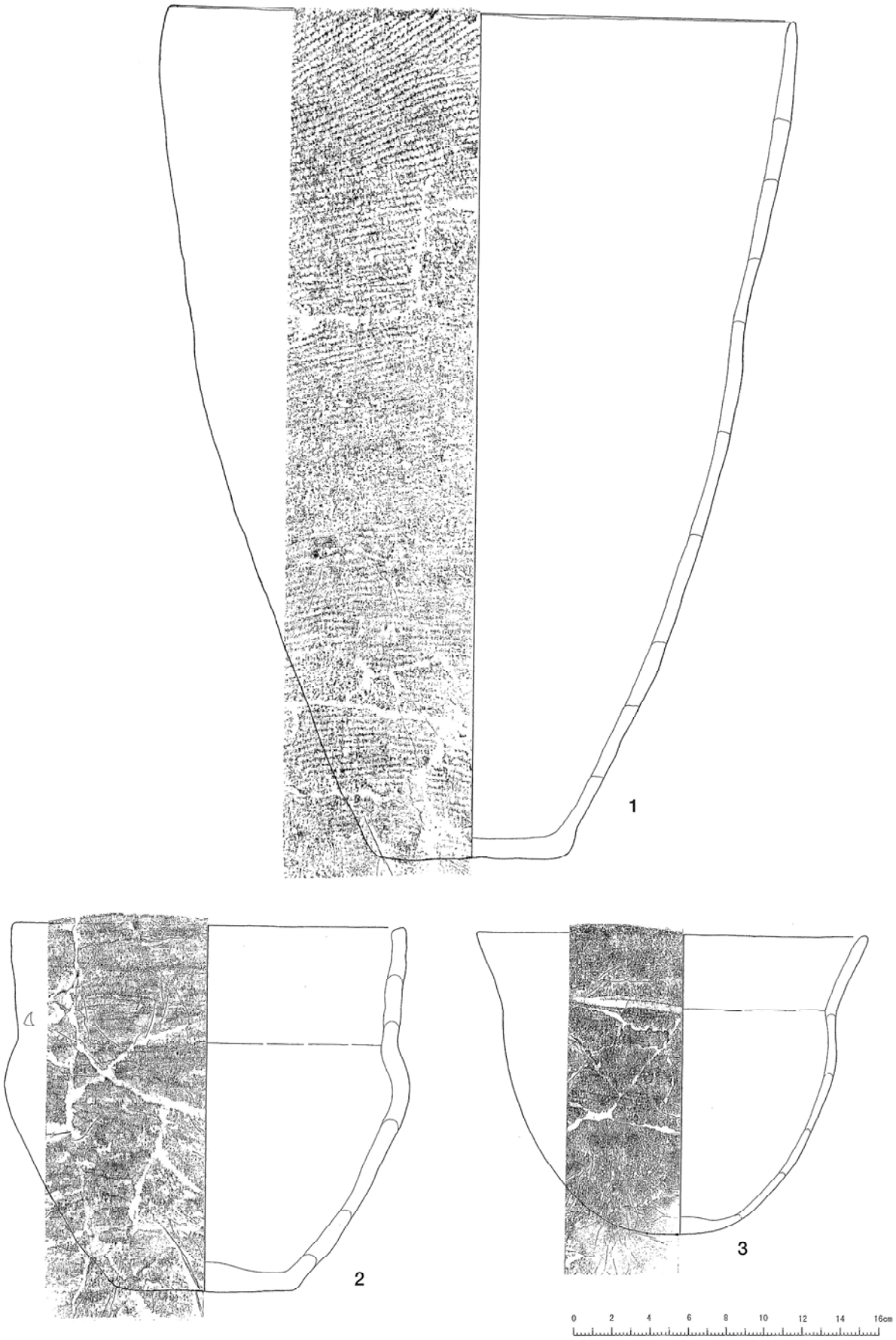
第 15 図　野際遺跡出土土器実測図 (1)



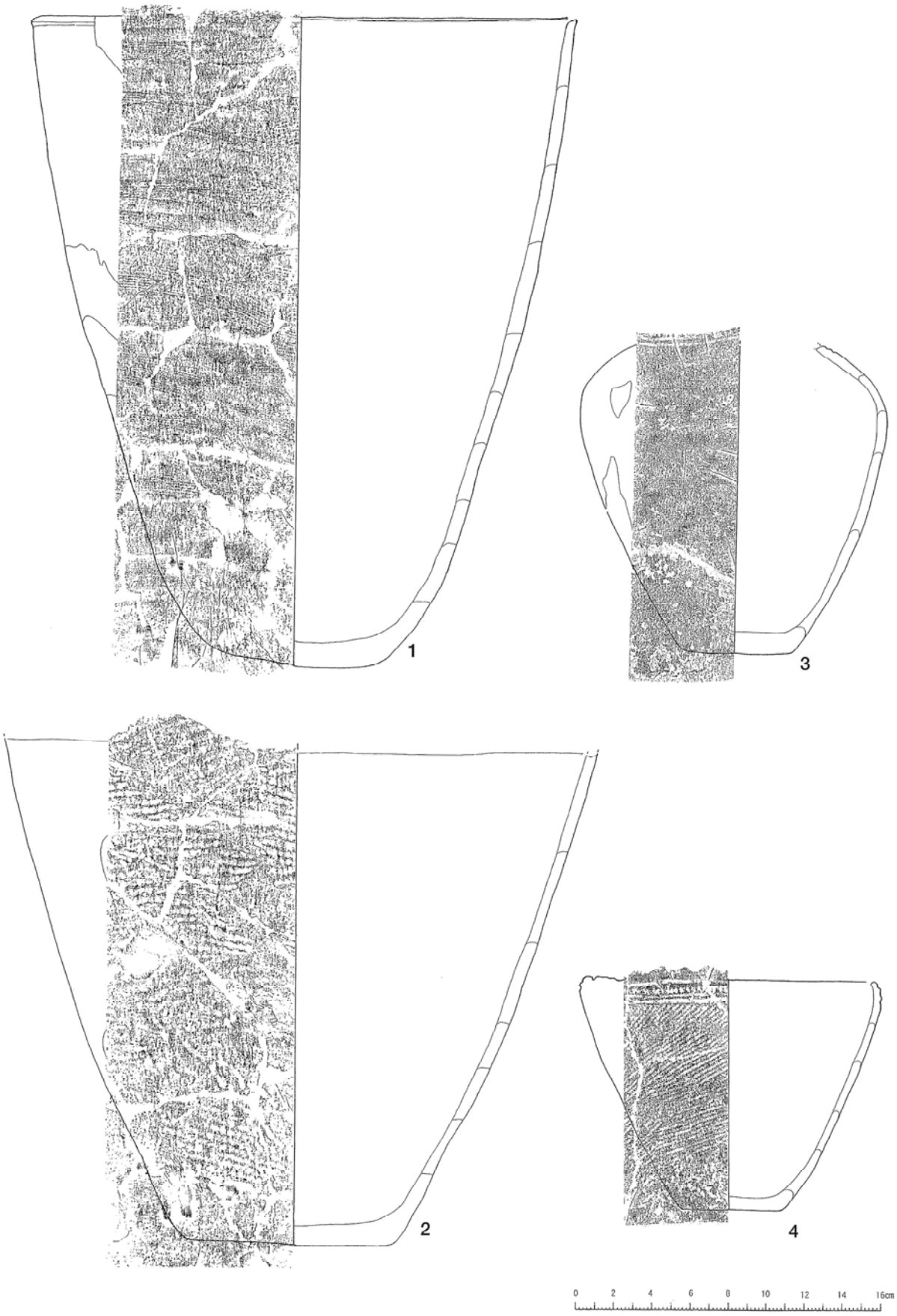
第 16 図　野際遺跡出土土器・土製品実測図 (2)



第 17 図　野際遺跡出土土器実測図 (3)



第 18 図　野際遺跡出土土器実測図 (4)



第 19 図　野際遺跡出土土器実測図 (5)

第３表　野際遺跡出土土器観察表

No.	挿図No.	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
1	第20図－1		ＫＹ１	深鉢形土器	口縁部	Ｂ類	突刺文	石英砂多量	良　好		
2	第20図－2		Ｇ58－54	深鉢形土器	口縁部	Ｂ類		石英砂微量	良		
3	第20図－3		Ｇ46－57	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	ループ文	石英砂多量	良		
4	第20図－4		Ｇ46－57	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	ループ文	石英砂多量	良		
5	第20図－5		Ｇ61－54	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	結束圧痕文				
6	第20図－6		Ｇ65－54	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	結束圧痕文				
7	第20図－7		Ｇ50－58	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	羽状縄文				
8	第20図－8		Ｇ46－50	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	結束羽状文		不　良		
9	第20図－9		Ｇ46－57	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	竹管文				
10	第20図－10		Ｇ54－58	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	羽状縄文	雲母多量	良		
11	第20図－11		Ｇ50－58	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	ループ文				
12	第20図－12		Ｇ50－58	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	ループ文				
13	第20図－13		Ｇ46－57	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	爪形文	石英砂多量	良		
14	第20図－14		Ｇ46－50	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	羽状文				
15	第20図－15		Ｇ50－58	深鉢形土器	胴　部	Ｂ類	ループ文	石英砂多量	良		
16	第20図－16		表　採	深鉢形土器	底辺部	Ｂ類	爪形文	雲母微量	良		
17	第20図－17		Ｇ61－54	深鉢形土器	口縁部	Ｄ類	渦巻文		不　良		
18	第20図－18		Ｇ46－54	深鉢形土器	胴　部	Ｃ類	網状撚糸圧痕文	石英砂微量	良		
19	第20図－19		ＫＹ１	瓦		Ｉ類			良		
20	第20図－20		Ｇ46－54	尖底土器	底部	Ａ類		石英砂多量	良		
21	第21図－1	第17図－1	ＨＹ１	深鉢形土器	口縁部	Ｅ類	粘土貼付＋沈線文	石英砂微量	良　好		
22	第21図－2	第17図－2	ＨＹ１	深鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起	石英砂多量	良		
23	第21図－3	第17図－3	ＨＹ１	深鉢形土器	胴上部	Ｅ類	瘤付＋沈線文	石英砂微量	良		
24	第21図－4	第17図－4	ＨＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	不　良		
25	第21図－5	第17図－5	ＨＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
26	第21図－6	第17図－6	ＨＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良		
27	第21図－7	第17図－7	ＨＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	雲母微量	良　好	裏面炭化物	
28	第21図－8	第17図－8	ＨＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文		良		
29	第21図－9	第17図－9	ＨＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
30	第21図－10	第17図－10	ＨＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文＋突刺文	石英砂微量	良　好		
31	第21図－11	第17図－11	ＨＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
32	第21図－12	第17図－12	ＨＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良　好	裏面炭化物	
33	第21図－13	第17図－13	ＨＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋瘤付		良　好		
34	第21図－14	第17図－14	ＨＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
35	第21図－15	第17図－15	ＨＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	雲母多量	良　好		
36	第21図－16	第17図－16	ＨＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	不　良		
37	第21図－17	第17図－17	ＨＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	良		
38	第21図－18	第17図－18	ＨＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
39	第21図－19	第17図－19	ＨＹ１	深鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良		
40	第21図－20	第17図－20	ＨＹ１	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕＋沈線文	石英砂微量	良		
41	第21図－21	第17図－21	ＨＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	良		
42	第21図－22	第17図－22	ＨＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
43	第21図－23	第17図－23	ＨＹ１	壺形土器	口縁部	弥生	粘土貼付	雲母微量	良　好	表面漆	
44	第21図－24	第17図－24	ＨＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
45	第21図－25	第17図－25	ＨＹ１	甕形土器	口縁部	Ｅ類	擦痕	石英砂多量	良		
46	第21図－26	第17図－26	ＨＹ１	甕形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕	石英砂多量	不　良		
47	第21図－27	第17図－27	ＨＹ１	甕形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕	石英砂多量	不　良		
48	第22図－1	第18図－1	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文	石英砂多量	良　好		
49	第22図－2	第18図－2	ＨＹ２　Ｐ６	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起	石英砂多量	良　好		
50	第22図－3	第18図－3	ＨＹ２　Ｐ６	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文	石英砂多量	良　好		
51	第22図－4	第18図－4	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文	石英砂多量	不　良		
52	第22図－5	第18図－5	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文	石英砂多量	良　好		
53	第22図－6	第18図－6	ＨＹ２　柱穴	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
54	第22図－7	第18図－7	ＨＹ２　柱穴	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好		

No.	挿図No.	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
55	第22図－8	第18図－8	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文	石英砂多量	不　良		
56	第22図－9	第18図－9	ＨＹ２　柱穴	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
57	第22図－10	第18図－10	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	雲母微量	良		
58	第22図－11	第18図－11	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	羊歯状文	石英砂多量	良　好		
59	第22図－12	第18図－12	ＨＹ２　柱穴	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
60	第22図－13	第18図－13	ＨＹ２	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良		
61	第22図－14	第18図－14	ＨＹ２	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
62	第22図－15	第18図－15	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	良　好		
63	第22図－16	第18図－16	ＨＹ２　柱穴	壺形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
64	第22図－17	第18図－17	ＨＹ２	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	不　良		
65	第22図－18	第18図－18	ＨＹ２	深鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	良		
66	第22図－19	第18図－19	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良		
67	第22図－20	第18図－20	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
68	第22図－21	第18図－21	ＨＹ２	深鉢形土器	口縁部～胴部	Ｆ類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良		
69	第22図－22	第18図－22	ＨＹ２　柱穴	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
70	第22図－23	第18図－23	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
71	第22図－24	第18図－24	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文＋羊歯状文＋突刺文	石英砂微量	良		
72	第22図－25	第18図－25	ＨＹ２	深鉢形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文	石英砂多量	良		
73	第22図－26	第18図－26	ＨＹ２	深鉢形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文		良		
74	第22図－27	第18図－27	ＨＹ２	深鉢形土器	口縁部～胴部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文	石英砂微量	良	裏面炭化物	
75	第22図－28	第18図－28	ＨＹ２	小形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文		良		
76	第22図－29	第18図－29	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文	石英砂微量	良		
77	第22図－30	第18図－30	ＨＹ２	深鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文＋突刺文		良	裏面炭化物	
78	第22図－31	第18図－31	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	不　良		
79	第22図－32	第18図－32	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	口縁部突起＋沈線文	石英砂多量	不　良		
80	第22図－33	第18図－33	ＨＹ２	小形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文	石英砂多量	良		
81	第22図－34	第18図－34	ＨＹ２　柱穴	甕形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕＋沈線文	石英砂多量	不　良		
82	第23図－1	第19図－1	ＨＹ２	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	口縁部突起＋沈線文＋突刺文	石英砂多量	不　良		
83	第23図－2	第19図－2	ＨＹ２	小形土器	胴　部	Ｅ類		石英砂微量	良　好		
84	第23図－3	第19図－3	ＨＹ２	小形土器	胴　部	Ｅ類		石英砂微量	良　好		
85	第23図－4	第19図－4	ＨＹ３	鉢形土器	口縁部～胴部	Ｅ類	沈線文＋瘤付		良　好	表面・裏面炭化物	
86	第23図－5	第19図－5	ＨＹ３	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文＋瘤付	石英砂多量	良　好		
87	第23図－6	第19図－6	ＨＹ３　Ｐ１１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文		良	表面炭化物	
88	第23図－7	第19図－7	ＨＹ３　Ｐ１１	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文		良　好		
89	第23図－8	第19図－8	ＨＹ３　Ｐ１１	鉢形土器	胴　部	Ｅ類		雲母微量	良　好		
90	第23図－9	第19図－9	ＨＹ３　Ｐ１１	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文		良　好		
91	第23図－10	第19図－10	ＨＹ３	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良		
92	第23図－11	第19図－11	ＨＹ３　Ｐ１１	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文		良　好	表面炭化物	
93	第23図－12	第19図－12	ＨＹ３　Ｐ１１	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
94	第23図－13	第19図－13	ＨＹ３	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文＋列点状突刺文		良　好		
95	第23図－14	第19図－14	ＨＹ３	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
96	第23図－15	第19図－15	ＨＹ３	鉢形土器	胴　部	Ｅ類			良	表面炭化物	
97	第23図－16	第19図－16	ＨＹ３	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文＋瘤付	雲母微量	良　好		
98	第23図－17	第19図－17	ＨＹ４	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良　好		
99	第23図－18	第19図－18	ＨＹ４	甕形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕		不　良		
100	第23図－19	第19図－19	ＨＹ４	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
101	第24図－1	第20図－1	ＨＹ４	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良		
102	第24図－2	第20図－2	ＨＹ４　Ｐ	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
103	第24図－3	第20図－3	ＨＹ４	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
104	第24図－4	第20図－4	ＨＹ４	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文		良		
105	第24図－5	第20図－5	ＨＹ４　Ｐ	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
106	第24図－6	第20図－6	ＨＹ４　Ｐ	鉢形土器	胴上部	Ｇ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	不　良		
107	第24図－7	第20図－7	ＨＹ４　Ｐ	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
108	第24図－8	第20図－8	ＨＹ４　Ｐ	鉢形土器	胴　部	Ｅ類		石英砂多量	不　良		
109	第24図－9	第20図－9	ＨＹ４　Ｐ	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
110	第24図－10	第20図－10	ＨＹ４　Ｐ	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文＋突刺文　補修孔	石英砂多量	不　良		
111	第24図－11	第20図－11	ＨＹ４　Ｐ	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文	石英砂多量	不　良		

No.	挿図No.	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
112	第24図－12	第20図－12	ＨＹ４	深鉢形土器	口縁部～胴上部	Ｅ類	擦痕	石英砂微量	良	表面炭化物	
113	第24図－13	第20図－13	ＨＹ４	深鉢形土器	口縁部	Ｅ類		石英砂多量	不　良		
114	第24図－14	第20図－14	ＤＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
115	第24図－15	第20図－15	ＤＹ１	小形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋ヘラ状連続突刺文＋瘤付		良		
116	第24図－16	第20図－16	ＤＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好	裏面炭化物	
117	第24図－17	第20図－17	ＤＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
118	第24図－18	第20図－18	ＤＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
119	第24図－19	第20図－19	ＤＹ１	深鉢形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文	石英砂微量	良　好	裏面炭化物	
120	第24図－20	第20図－20	ＤＹ１	壺形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
121	第24図－21	第20図－21	ＤＹ１	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良　好		
122	第24図－22	第20図－22	ＤＹ１	鉢形土器	胴　部	Ｆ類	沈線文	石英砂多量	良		
123	第24図－23	第20図－23	ＤＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良　好		
124	第24図－24	第20図－24	ＤＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
125	第24図－25	第20図－25	ＤＹ１	壺形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
126	第24図－26	第20図－26	ＤＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｇ類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	不　良		
127	第24図－27	第20図－27	ＤＹ１	鉢形土器	胴上部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文	石英砂微量	良　好		
128	第24図－28	第20図－28	ＤＹ１	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文	石英砂微量	良　好		
129	第24図－29	第20図－29	ＤＹ１	深鉢形土器	胴　部	Ｅ類		石英砂多量	不　良		
130	第24図－30	第20図－30	ＤＹ１	甕形土器	口縁部	Ｅ類	擦痕	雲母多量	良　好		
131	第24図－31	第20図－31	ＤＹ１	壺形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文	石英砂多量	良　好		
132	第24図－32	第20図－32	ＤＹ１	深鉢形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕	石英砂微量	良		
133	第25図－1	第21図－1	ＤＹ８	深鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	不　良		
134	第25図－2	第21図－2	ＤＹ１１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	良		
135	第25図－3	第21図－3	ＤＹ１１	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
136	第25図－4	第21図－4	ＤＹ１１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
137	第25図－5	第21図－5	ＤＹ１１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良	表面炭化物	
138	第25図－6	第21図－6	ＤＹ１１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良		
139	第25図－7	第21図－7	ＤＹ１１	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付		良		
140	第25図－8	第21図－8	ＤＹ１１	壺形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良　好		
141	第25図－9	第21図－9	ＤＹ１１	壺形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起	石英砂多量	良　好		
142	第25図－10	第21図－10	ＤＹ１１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文	雲母微量	良		
143	第25図－11	第21図－11	ＤＹ１２	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付		良		
144	第25図－12	第21図－12	ＤＹ１８	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良	表面炭化物	
145	第25図－13	第21図－13	ＤＹ１７	甕形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良	表面炭化物	
146	第25図－14	第21図－14	ＤＹ１７	鉢形土器	胴　部	Ｅ類		石英砂多量	不　良		
147	第25図－15	第21図－15	ＤＹ１８	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕	石英砂多量	不　良		
148	第25図－16	第21図－16	ＤＹ１８	鉢形土器	口縁部	Ｅ類		石英砂多量	不　良		
149	第25図－17	第21図－17	ＤＹ１９	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋突刺文		良　好		
150	第25図－18	第21図－18	ＤＹ１９	甕形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕		良　好	表面・裏面炭化物	
151	第25図－19	第21図－19	ＤＹ２１	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文		良　好		
152	第25図－20	第21図－20	ＤＹ２２	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良	裏面炭化物	
153	第25図－21	第21図－21	ＤＹ２２	壺形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋突刺文	石英砂微量	良　好	裏面炭化物	
154	第25図－22	第21図－22	ＤＹ２２	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文		良		
155	第25図－23	第21図－23	ＤＹ２３	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文＋粘土貼付＋ヘラ状連続突刺文	石英砂微量	不　良		
156	第25図－24	第21図－24	ＤＹ２３	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良		
157	第25図－25	第21図－25	ＤＹ２３	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良　好		
158	第25図－26	第21図－26	ＤＹ２３	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	良　好		
159	第25図－27	第21図－27	ＤＹ２３	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良　好		
160	第25図－28	第21図－28	ＤＹ２３	甕形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕		良　好	裏面炭化物	
161	第25図－29	第21図－29	ＤＹ２４	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良　好		
162	第25図－30	第21図－30	ＤＹ２４	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良　好		
163	第26図－1	第22図－1	ＤＹ２４	壺形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
164	第26図－2	第22図－2	ＤＹ２４	壺形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文	石英砂微量	良　好		
165	第26図－3	第22図－3	ＤＹ２４	深鉢形土器	口縁部	Ｅ類		石英砂微量	良　好		
166	第26図－4	第22図－4	ＤＹ２４	壺形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	雲母微量	良　好		
167	第26図－5	第22図－5	ＤＹ２５	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
168	第26図－6	第22図－6	ＤＹ２６	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	口縁部突起＋羊歯状文	石英砂微量	良　好		

No	挿図No	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
169	第26図－7	第22図－7	ＤＹ２９	壺形土器	胴上部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文	石英砂微量	良　好		
170	第26図－8	第22図－8	ＤＹ２６	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	良　好	表面炭化物	
171	第26図－9	第22図－9	ＤＹ２７	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	雲母微量	良		
172	第26図－10	第22図－10	ＤＹ２９	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文		良　好		
173	第26図－11	第22図－11	ＤＹ２９	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
174	第26図－12	第22図－12	ＤＹ２９	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文＋列点状突刺文	石英砂微量	良		
175	第26図－13	第22図－13	ＤＹ２９	深鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	不　良		
176	第26図－14	第22図－14	ＤＹ２９	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
177	第26図－15	第22図－15	ＤＹ３３	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	沈線文＋突刺文		良	裏面炭化物	
178	第26図－16	第22図－16	ＤＹ２９	甕形土器	口縁部	Ｅ類		石英砂微量	良	表面炭化物	
179	第26図－17	第22図－17	ＤＹ３０	鉢形土器	口縁部	Ｅ類		雲母微量	良		
180	第26図－18	第22図－18	ＤＹ３０	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
181	第26図－19	第22図－19	ＤＹ３４	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋粘土貼付		良		
182	第26図－20	第22図－20	ＤＹ３３	壺形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文		良　好	裏面炭化物	
183	第26図－21	第22図－21	ＤＹ３３	鉢形土器	胴上部	Ｆ類	羊歯状文＋沈線文		良		
184	第26図－22	第22図－22	ＤＹ３３	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良　好		
185	第26図－23	第22図－23	ＤＹ３６	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	雲母微量	良		
186	第26図－24	第22図－24	ＤＹ３３	鉢形土器	胴　部	Ｇ類	沈線文	石英砂微量	良		
187	第26図－25	第22図－25	ＤＹ３４	壺形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文		良　好	裏面炭化物	
188	第26図－26	第22図－26	ＤＹ３３	甕形土器	口縁部	Ｅ類		石英砂微量	良	表面炭化物	
189	第26図－27	第22図－27	ＤＹ３３	鉢形土器	底辺部	Ｅ類		石英砂多量	良		
190	第27図－1	第23図－1	ＤＹ３６	鉢形土器	口縁部	Ｆ類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良　好	裏面炭化物	
191	第27図－2	第23図－2	ＤＹ３６	鉢形土器	胴　部	Ｆ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
192	第27図－3	第23図－3	ＤＹ３６	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	雲母多量	良　好	裏面炭化物	
193	第27図－4	第23図－4	ＤＹ３６	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文	雲母多量	良　好	裏面炭化物	
194	第27図－5	第23図－5	ＤＹ３６	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好	裏面炭化物	
195	第27図－6	第23図－6	ＤＹ３６	鉢形土器	胴　部	Ｅ類		石英砂多量	良	表面炭化物	
196	第27図－7	第23図－7	ＤＹ３７	壺形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	不　良		
197	第27図－8	第23図－8	ＤＹ４２	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋突刺文＋瘤付	石英砂微量	不　良		
198	第27図－9	第23図－9	ＤＹ４４	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋瘤付		良		
199	第27図－10	第23図－10	ＤＹ５７	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文＋列点状突刺文		不　良		
200	第27図－11	第23図－11	ＤＹ４７	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	粘土貼付＋沈線文	石英砂多量	不　良		
201	第27図－12	第23図－12	ＤＹ４７	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良		
202	第27図－13	第23図－13	ＤＹ５１	甕形土器	胴　部	Ｅ類	擦痕	石英砂微量	不　良		
203	第27図－14	第23図－14	ＤＹ５０	甕形土器	口縁部～胴上部	Ｅ類	擦痕	石英砂多量	良		
204	第27図－15	第23図－15	ＤＹ５７	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	口縁部突起＋沈線文	石英砂微量	不　良		
205	第27図－16	第23図－16	ＤＹ５８	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	粘土貼付＋沈線文	石英砂微量	良		
206	第27図－17	第23図－17	ＤＹ５８	鉢形土器	口縁部	Ｇ類	羊歯状文＋沈線文	石英砂微量	良		
207	第27図－18	第23図－18	ＤＹ５７	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
208	第27図－19	第23図－19	ＤＹ５４	小形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
209	第27図－20	第23図－20	ＤＹ６９	鉢形土器	胴上部	Ｅ類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	不　良		
210	第27図－21	第23図－21	ＤＹ５７	甕形土器	口縁部	Ｅ類		石英砂微量	良		
211	第27図－22	第23図－22	ＤＹ５８	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	粘土貼付＋沈線文	石英砂微量	良		
212	第27図－23	第23図－23	ＤＹ５２	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	雲母多量	良		
213	第28図－1	第24図－1	ＤＹ６５	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
214	第28図－2	第24図－2	ＤＹ６５	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	雲母多量	良		
215	第28図－3	第24図－3	ＤＹ６５	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
216	第28図－4	第24図－4	ＤＹ６５	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文＋瘤付		良		
217	第28図－5	第24図－5	ＤＹ６６	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
218	第28図－6	第24図－6	ＤＹ６６	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良		
219	第28図－7	第24図－7	ＤＹ６６	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂多量	不　良		
220	第28図－8	第24図－8	ＤＹ６６	甕形土器	口縁部	Ｅ類	擦痕	石英砂多量	良		
221	第28図－9	第24図－9	ＤＹ６６	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文＋突刺文	石英砂多量	良		
222	第28図－10	第24図－10	ＤＹ６６	鉢形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	雲母多量	良		
223	第28図－11	第24図－11	ＤＹ６６	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	雲母多量	良　好		
224	第28図－12	第24図－12	ＤＹ６６	鉢形土器	口縁部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良　好		
225	第28図－13	第24図－13	ＤＹ６６	壺形土器	胴　部	Ｅ類	沈線文	石英砂微量	良	裏面炭化物	

No.	挿図No.	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
226	第28図－14	第24図－14	DY66	鉢形土器	胴　部	G類	沈線文	石英砂多量	不　良		
227	第28図－15	第24図－15	P2	鉢形土器	口縁部	E類	粘土貼付＋沈線文＋突刺文	石英砂微量	良		
228	第28図－16	第24図－16	P5	深鉢形土器	胴　部	E類		石英砂多量	良　好		
229	第28図－17	第24図－17	P5	甕形土器	胴　部	E類	擦痕	石英砂多量	良		
230	第28図－18	第24図－18	P8	壺形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
231	第28図－19	第24図－19	P8	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良　好		
232	第28図－20	第24図－20	P9	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良		
233	第28図－21	第24図－21	P10	深鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良	表面炭化物	
234	第28図－22	第24図－22	P11	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
235	第28図－23	第24図－23	P16	壺形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
236	第28図－24	第24図－24	P19	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
237	第28図－25	第24図－25	P22	小形土器	胴上部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
238	第28図－26	第24図－26	P22	小形土器	胴上部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
239	第28図－27	第24図－27	P24	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良		
240	第28図－28	第24図－28	P64	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文		不　良		
241	第28図－29	第24図－29	P26	鉢形土器	口縁部	E類	口縁部突起＋沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
242	第28図－30	第24図－30	P50	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良		
243	第28図－31	第24図－31	P64	鉢形土器	口縁部	E類		石英砂多量	良		
244	第28図－32	第24図－32	KY3	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	雲母微量	良		
245	第28図－33	第24図－33	P26	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
246	第28図－34	第24図－34	P60	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	雲母微量	良		
247	第29図－1	第25図－1	G62－46	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良	表面・裏面炭化物	
248	第29図－2	第25図－2	G46－54	鉢形土器	口縁部	E類	口縁部突起＋沈線文＋瘤付	雲母微量	良		
249	第29図－3	第25図－3	G46－50	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
250	第29図－4	第25図－4	G46－50	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良		
251	第29図－5	第25図－5	G65－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	雲母微量	良		
252	第29図－6	第25図－6	G50－50	鉢形土器	口縁部	E類	口縁部突起＋沈線文	雲母多量	良　好		
253	第29図－7	第25図－7	G62－46	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	不　良	裏面炭化物	
254	第29図－8	第25図－8	G50－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付＋列点状突刺文	石英砂微量	良		
255	第29図－9	第25図－9	G61－58	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
256	第29図－10	第25図－10	G65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	雲母微量	良　好	裏面炭化物	
257	第29図－11	第25図－11	G65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良		
258	第29図－12	第25図－12	G46－50	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付		良		
259	第29図－13	第25図－13	G62－46	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
260	第29図－14	第25図－14	G62－46	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
261	第29図－15	第25図－15	G61－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋粘土貼付	石英砂微量	良　好		
262	第29図－16	第25図－16	G46－50	鉢形土器	口縁部	E類	口縁部突起＋沈線文	石英砂微量	良		
263	第29図－17	第25図－17	G61－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
264	第29図－18	第25図－18	KY18	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良　好		
265	第29図－19	第25図－19	G62－46	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
266	第29図－20	第25図－20	表　採	小形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
267	第29図－21	第25図－21	G61－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良　好		
268	第29図－22	第25図－22	G50－50	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	雲母多量	良　好		
269	第29図－23	第25図－23	KY1	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	雲母多量	良		
270	第29図－24	第25図－24	G54－50	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	不　良		
271	第29図－25	第25図－25	G54－50	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
272	第29図－26	第25図－26	G58－54	鉢形土器	口縁部	E類	口縁部突起＋沈線文＋瘤付	雲母微量	良　好		
273	第30図－1	第26図－1	G61－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付＋透文	石英砂微量	良　好		
274	第30図－2	第26図－2	G61－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
275	第30図－3	第26図－3	G61－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
276	第30図－4	第26図－4	G61－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
277	第30図－5	第26図－5	G58－50	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
278	第30図－6	第26図－6	G61－54	鉢形土器	□膨~膨	E類	粘土貼付＋沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
279	第30図－7	第26図－7	G61－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付		良　好		
280	第30図－8	第26図－8	G58－50	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	雲母微量	良		
281	第30図－9	第26図－9	G50－50	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好	表面炭化物	
282	第30図－10	第26図－10	表　採	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	雲母多量	良　好	裏面炭化物	

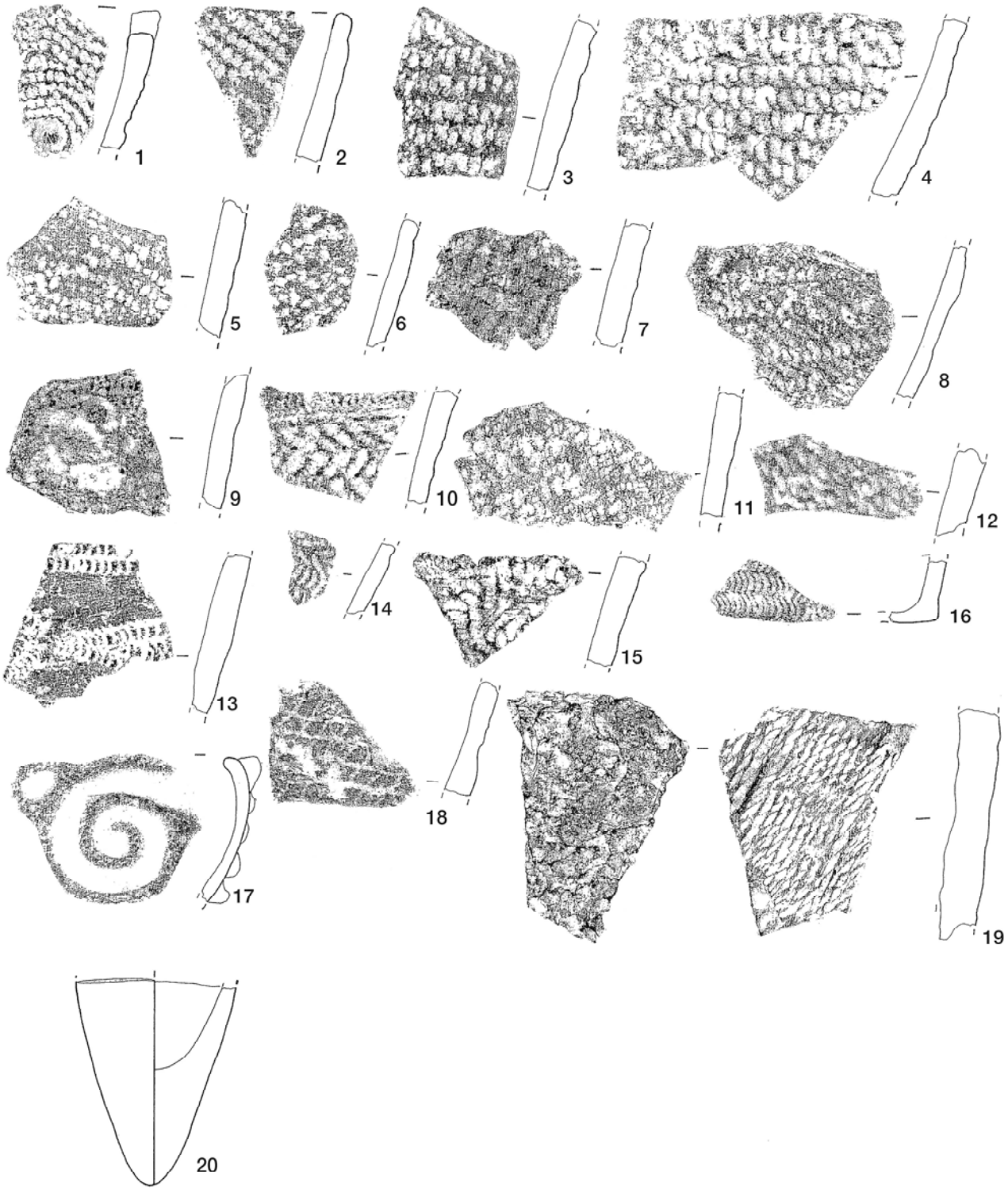
No.	挿図No.	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
283	第30図－11	第26図－11	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
284	第30図－12	第26図－12	表　採	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
285	第30図－13	第26図－13	G 54－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良		
286	第30図－14	第26図－14	G 61－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	雲母微量	良		
287	第30図－15	第26図－15	G 61－54	鉢形土器	口縁部	E類	口縁部突起＋沈線文	雲母微量	良		
288	第30図－16	第26図－16	G 50－58	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良　好		
289	第30図－17	第26図－17	G 62－46	注口土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付		良　好		
290	第30図－18	第26図－18	KY1	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	不　良		
291	第30図－19	第26図－19	KY1	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋瘤付	雲母微量	良　好		
292	第30図－20	第26図－20	KY1	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
293	第31図－1	第27図－1	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	ヘラ状連続突刺文＋沈線文＋瘤付	石英砂多量	良　好		
294	第31図－2	第27図－2	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	ヘラ状連続突刺文＋沈線文＋瘤付	雲母微量	良　好		
295	第31図－3	第27図－3	G 65－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋突刺文＋瘤付	石英砂微量	良		
296	第31図－4	第27図－4	KY1	鉢形土器	胴上部	E類	爪形文＋沈線文＋粘土貼付	石英砂多量	良		
297	第31図－5	第27図－5	KY1	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良		
298	第31図－6	第27図－6	KY1	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良		
299	第31図－7	第27図－7	KY1	鉢形土器	口縁部	E類	口縁部突起＋沈線文＋突刺文	雲母微量	良　好		
300	第31図－8	第27図－8	G 50－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋列点状突刺文	石英砂微量	良		
301	第31図－9	第27図－9	G 58－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文＋瘤付	石英砂微量	良		
302	第31図－10	第27図－10	表　採	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋列点状突刺文＋瘤付	雲母微量	良		
303	第31図－11	第27図－11	KY3	鉢形土器	口縁部	E類	列点状突刺文	石英砂微量	不　良		
304	第31図－12	第27図－12	KY1	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋列点状突刺文		不　良		
305	第31図－13	第27図－13	KY1	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋ヘラ状連続突刺文	石英砂多量	良		
306	第31図－14	第27図－14	KY1	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋ヘラ状連続突刺文	石英砂微量	良		
307	第31図－15	第27図－15	表　採	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋列点状突刺文＋瘤付	石英砂微量	良	裏面炭化物	
308	第31図－16	第27図－16	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	口縁部突起+沈線文+ヘラ状連続突刺文	石英砂微量	良		
309	第31図－17	第27図－17	G 61－58	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋ヘラ状連続突刺文	石英砂微量	良		
310	第31図－18	第27図－18	G 50－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋列点状突刺文	雲母多量	良		
311	第31図－19	第27図－19	G 61－58	小形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良		
312	第31図－20	第27図－20	G 50－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋列点状突刺文	石英砂微量	良		
313	第31図－21	第27図－21	G 50－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋列点状突刺文	石英砂微量	良	裏面炭化物	
314	第31図－22	第27図－22	G 61－58	鉢形土器	口縁部	E類	ヘラ状連続突刺文＋沈線文	雲母微量	不　良		
315	第31図－23	第27図－23	G 58－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋突刺文	雲母微量	良		
316	第31図－24	第27図－24	G 50－50	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋列点状突刺文	雲母微量	良		
317	第31図－25	第27図－25	G 50－50	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文	雲母微量	良		
318	第31図－26	第27図－26	G 46－54	鉢形土器	口縁部	E類	ヘラ状連続突刺文＋沈線文	雲母微量	良		
319	第31図－27	第27図－27	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	ヘラ状連続突刺文＋沈線文		良		
320	第31図－28	第27図－28	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋列点状突刺文	雲母微量	良　好		
321	第31図－29	第27図－29	G 62－46	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文+列点状突刺文+ヘラ状連続突刺文		良		
322	第31図－30	第27図－30	G 54－40	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋突刺文	雲母多量	良	表面炭化物	
323	第31図－31	第27図－31	G 46－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋突刺文	雲母多量		裏面炭化物	
324	第31図－32	第27図－32	G 54－50	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋突刺文	雲母多量	良	裏面炭化物	
325	第31図－33	第27図－33	G 50－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文	雲母多量	良		
326	第31図－34	第27図－34	G 65－54	鉢形土器	胴上部	G類	羊歯状文＋沈線文	石英砂微量	良		
327	第31図－35	第27図－35	KY1	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文		良		
328	第31図－36	第27図－36	KY1	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文＋瘤付	石英砂微量	不　良		
329	第32図－1	第28図－1	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良　好		
330	第32図－2	第28図－2	G 58－50	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文	雲母微量	良　好		
331	第32図－3	第28図－3	G 65－54	鉢形土器	口縁部	F類	沈線文	雲母微量	良　好		
332	第32図－4	第28図－4	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
333	第32図－5	第28図－5	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	良　好		
334	第32図－6	第28図－6	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
335	第32図－7	第28図－7	G 58－50	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂多量	良		
336	第32図－8	第28図－8	G 46－57	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良　好		
337	第32図－9	第28図－9	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂多量	良　好		
338	第32図－10	第28図－10	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂多量	不　良		
339	第32図－11	第28図－11	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂多量	不　良		

No.	挿図No.	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
340	第32図-12	第28図-12	KY1	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文	雲母微量	良	裏面炭化物	
341	第32図-13	第28図-13	表　採	深鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良		
342	第32図-14	第28図-14	G61-54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文+突刺文	雲母多量	良　好		
343	第32図-15	第28図-15	G54-50	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母多量	良　好		
344	第32図-16	第28図-16	G65-54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂多量	良　好		
345	第32図-17	第28図-17	G65-54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母多量	良		
346	第32図-18	第28図-18	G65-54	壺形土器	胴上部	F類	沈線文	雲母微量	良	表面炭化物	
347	第32図-19	第28図-19	G58-46	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母多量	良		
348	第32図-20	第28図-20	KY1	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母多量	良	表面・裏面炭化物	
349	第32図-21	第28図-21	G65-54	壺形土器	胴上部	E類	沈線文	雲母微量	良　好	裏面炭化物	
350	第32図-22	第28図-22	KY1	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
351	第32図-23	第28図-23	G65-54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良　好		
352	第33図-1	第29図-1	G65-54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母多量	良		
353	第33図-2	第29図-2	G65-54	鉢形土器	胴上部	G類	羊歯状文+沈線文	石英砂多量	良		
354	第33図-3	第29図-3	G65-54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
355	第33図-4	第29図-4	G65-54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文	雲母多量	良　好	表面炭化物	
356	第33図-5	第29図-5	G65-54	鉢形土器	胴上部	E類	羊歯状文	雲母多量	良　好		
357	第33図-6	第29図-6	G61-54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母多量	良		
358	第33図-7	第29図-7	G65-54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良　好		
359	第33図-8	第29図-8	G65-54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
360	第33図-9	第29図-9	G65-54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
361	第33図-10	第29図-10	G58-46	深鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
362	第33図-11	第29図-11	G58-46	深鉢形土器	胴上部	E類	沈線文	石英砂多量	良	裏面炭化物	
363	第33図-12	第29図-12	G65-54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
364	第33図-13	第29図-13	G65-54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文	雲母微量	良　好		
365	第33図-14	第29図-14	G61-54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
366	第33図-15	第29図-15	G65-54	壺形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
367	第33図-16	第29図-16	G65-54	壺形土器	胴上部	E類	沈線文	雲母微量	良		
368	第34図-1	第30図-1	G61-58	深鉢形土器	胴　部	G類	沈線文+突刺文	雲母微量	良		
369	第34図-2	第30図-2	G65-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文+瘤付	雲母微量	良		
370	第34図-3	第30図-3	KY1	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文+瘤付	石英砂多量	良		
371	第34図-4	第30図-4	G61-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文+瘤付	石英砂多量	良		
372	第34図-5	第30図-5	G61-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文+突刺文	石英砂微量	良		
373	第34図-6	第30図-6	G61-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文+突刺文	石英砂微量	良		
374	第34図-7	第30図-7	表　採	鉢形土器	胴　部	G類	沈線文	雲母多量	良　好		
375	第34図-8	第30図-8	KY1	鉢形土器	口縁部	G類	粘土貼付+沈線文	雲母微量	良		
376	第34図-9	第30図-9	G65-54	鉢形土器	胴　部	G類	粘土貼付+沈線文	石英砂微量	良		
377	第34図-10	第30図-10	G65-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文+	石英砂微量	良		
378	第34図-11	第30図-11	G65-54	鉢形土器	口縁部	G類	粘土貼付+沈線文	石英砂微量	良		
379	第34図-12	第30図-12	G46-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	石英砂多量	不　良		
380	第34図-13	第30図-13	G65-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文+突刺文	石英砂微量	良		
381	第34図-14	第30図-14	G54-50	鉢形土器	胴上部	G類	沈線文+瘤付	雲母微量	良		
382	第34図-15	第30図-15	G46-50	小形土器	口縁部	G類	沈線文+突刺文	雲母多量	良　好		
383	第34図-16	第30図-16	G65-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文+突刺文	雲母微量	良　好		
384	第34図-17	第30図-17	G65-54	鉢形土器	胴上部	G類	沈線文	石英砂微量	良		
385	第34図-18	第30図-18	G65-54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
386	第34図-19	第30図-19	KY1	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	石英砂多量	良		
387	第34図-20	第30図-20	G61-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	石英砂微量	良		
388	第34図-21	第30図-21	G65-54	壺形土器	胴上部	G類	粘土貼付+突刺文	石英砂多量	良		
389	第34図-22	第30図-22	G46-57	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良		
390	第34図-23	第30図-23	G62-46	鉢形土器	胴　部	G類	沈線文	石英砂多量	良		
391	第34図-24	第30図-24	G65-54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
392	第34図-25	第30図-25	G65-54	深鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
393	第34図-26	第30図-26	G50-58	深鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
394	第34図-27	第30図-27	G65-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良		
395	第34図-28	第30図-28	KY1	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母多量	良　好		
396	第34図-29	第30図-29	G65-54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	不　良		

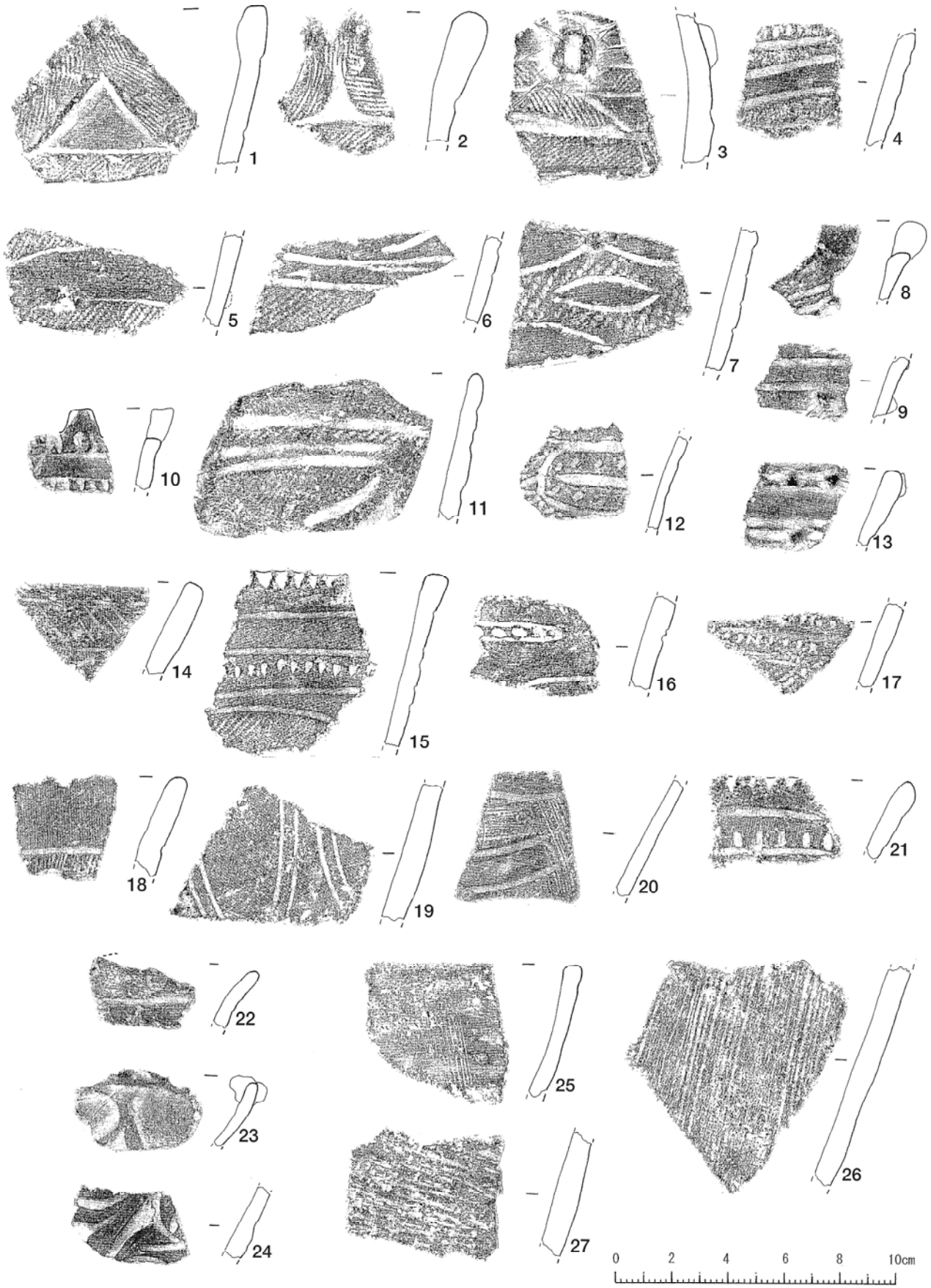
No.	挿図No.	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
397	第35図－1	第31図－1	G 65－54	壺形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良　好		
398	第35図－2	第31図－2	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文		良　好		
399	第35図－3	第31図－3	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	石英砂微量	良		
400	第35図－4	第31図－4	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母多量	良　好		
401	第35図－5	第31図－5	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	石英砂微量	良　好		
402	第35図－6	第31図－6	G 65－54	壺形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良　好		
403	第35図－7	第31図－7	G 65－54	小形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良　好	裏面炭化物	
404	第35図－8	第31図－8	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母多量	良　好		
405	第35図－9	第31図－9	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋突刺文		良　好	裏面炭化物	
406	第35図－10	第31図－10	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	羊歯状文	雲母微量	良		
407	第35図－11	第31図－11	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋列点状突刺文	石英砂多量	不　良		
408	第35図－12	第31図－12	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	雲母微量	良　好		
409	第35図－13	第31図－13	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋列点状突刺文	石英砂微量	良		
410	第35図－14	第31図－14	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良		
411	第35図－15	第31図－15	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	雲母微量	良		
412	第35図－16	第31図－16	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	雲母微量	良		
413	第35図－17	第31図－17	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文		良		
414	第35図－18	第31図－18	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良　好		
415	第35図－19	第31図－19	G 65－54	鉢形土器	胴上部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良		
416	第35図－20	第31図－20	G 65－54	小形土器	口縁部	G類	粘土貼付＋羊歯状文	石英砂微量	良　好		
417	第35図－21	第31図－21	G 61－54	小形土器	口縁部	G類	沈線文＋突刺文	雲母微量	良　好		
418	第35図－22	第31図－22	G 65－54	壺形土器	胴上部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良　好		
419	第35図－23	第31図－23	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良		
420	第35図－24	第31図－24	G 61-58	壺形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	雲母微量	良		
421	第35図－25	第31図－25	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良		
422	第35図－26	第31図－26	表　採	壺形土器	胴　部	G類	沈線文		良　好		
423	第35図－27	第31図－27	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良　好		
424	第35図－28	第31図－28	G 65－54	壺形土器	口縁部	G類	沈線文	石英砂微量	良　好		
425	第35図－29	第31図－29	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良　好		
426	第35図－30	第31図－30	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良		
427	第35図－31	第31図－31	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	雲母微量	良		
428	第35図－32	第31図－32	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文		良　好	裏面炭化物	
429	第35図－33	第31図－33	G 65－54	深鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良		
430	第35図－34	第31図－34	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋突刺文	雲母微量	良　好	裏面炭化物	
431	第35図－35	第31図－35	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良		
432	第35図－36	第31図－36	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良　好		
433	第36図－1	第32図－1	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良　好		
434	第36図－2	第32図－2	G 58－50	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良　好		
435	第36図－3	第32図－3	G 58－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	良　好		
436	第36図－4	第32図－4	G 58－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文	石英砂微量	良	裏面炭化物	
437	第36図－5	第32図－5	G 58－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂多量	良　好		
438	第36図－6	第32図－6	G 58－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文＋瘤付	石英砂微量	良	裏面炭化物	
439	第36図－7	第32図－7	G 58－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良		
440	第36図－8	第32図－8	G 58－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母多量	良		
441	第36図－9	第32図－9	G 58－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋ヘラ状連続突刺文		良		
442	第36図－10	第32図－10	G 58－54	小形土器	口縁部	H類	沈線文＋列点状突刺文	石英砂多量	良		
443	第36図－11	第32図－11	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良		
444	第36図－12	第32図－12	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良　好	表面・裏面炭化物	
445	第36図－13	第32図－13	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良　好	表面・裏面炭化物	
446	第36図－14	第32図－14	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
447	第36図－15	第32図－15	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
448	第36図－16	第32図－16	G 65－54	小形土器	口縁部	E類		石英砂微量	良　好	裏面朱	
449	第36図－17	第32図－17	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文	雲母微量	良　好		
450	第36図－18	第32図－18	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
451	第36図－19	第32図－19	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
452	第36図－20	第32図－20	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	羊歯状文	石英砂微量	良　好		
453	第36図－21	第32図－21	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良　好		

No.	挿図No.	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
454	第36図－22	第32図－22	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文		良　好		
455	第36図－23	第32図－23	G 65－54	壺形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良　好		
456	第36図－24	第32図－24	G 58－54	小形土器	口縁部	G類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良　好		
457	第36図－25	第32図－25	G 58－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母多量	良	裏面朱漆	
458	第36図－26	第32図－26	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文＋突刺文	石英砂微量	良		
459	第36図－27	第32図－27	G 58－46	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋突刺文		良　好		
460	第36図－28	第32図－28	KY1	壺形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文		良		
461	第36図－29	第32図－29	G 58－46	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋突刺文	雲母微量	良		
462	第36図－30	第32図－30	表　採	鉢形土器	口縁部	G類	粘土貼付＋沈線文	雲母微量	不　良		
463	第36図－31	第32図－31	G 50－50	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
464	第36図－32	第32図－32	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	石英砂微量	良　好	裏面炭化物	
465	第36図－33	第32図－33	G 62－46	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋突刺文	雲母微量	良		
466	第36図－34	第32図－34	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	口縁部突起＋沈線文	雲母微量	良		
467	第36図－35	第32図－35	G 62－46	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良		
468	第37図－1	第33図－1	G 61－54	深鉢形土器	口縁部	E類	沈線文＋突刺文	雲母微量	良		
469	第37図－2	第33図－2	G 62－46	深鉢形土器	胴上部	E類	沈線文	雲母微量	良	裏面炭化物	
470	第37図－3	第33図－3	G 62－46	小形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文	雲母多量	良		
471	第37図－4	第33図－4	G 65－65	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文＋羊歯状文		良　好		
472	第37図－5	第33図－5	G 62－46	鉢形土器	胴上部	G類	沈線文＋羊歯状文	石英砂微量	良		
473	第37図－6	第33図－6	G 62－46	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良　好		
474	第37図－7	第33図－7	G 65－54	鉢形土器	胴上部	E類	沈線文		良		
475	第37図－8	第33図－8	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	良　好		
476	第37図－9	第33図－9	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良		
477	第37図－10	第33図－10	G 66－54	鉢形土器	口縁部	E類		雲母多量	良		
478	第37図－11	第33図－11	G 61－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
479	第37図－12	第33図－12	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文		良		
480	第37図－13	第33図－13	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
481	第37図－14	第33図－14	G 65－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	雲母微量	良		
482	第37図－15	第33図－15	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	不　良		
483	第37図－16	第33図－16	G 65－54	壺形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母多量	良　好		
484	第37図－17	第33図－17	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母多量	良　好		
485	第37図－18	第33図－18	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文		良		
486	第37図－19	第33図－19	G 65－54	壺形土器	下胴部	E類	沈線文	石英砂微量	良　好		
487	第37図－20	第33図－20	G 61－54	鉢形土器	口縁部	G類	沈線文	石英砂多量	不　良		
488	第37図－21	第33図－21	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類			良		
489	第37図－22	第33図－22	G 61－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
490	第37図－23	第33図－23	G 65－54	壺形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
491	第37図－24	第33図－24	G 61－58	壺形土器	口縁部	E類			良		
492	第37図－25	第33図－25	G 65－54	壺形土器	胴　部	E類	沈線文		良		
493	第37図－26	第33図－26	G 61－54	壺形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良		
494	第37図－27	第33図－27	G 50－50	深鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂多量	良		
495	第37図－28	第33図－28	G 65－54	壺形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	良　好		
496	第37図－29	第33図－29	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	雲母微量	良　好	表面炭化物	
497	第37図－30	第33図－30	G 46－57	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良　好		
498	第37図－31	第33図－31	G 65－54	鉢形土器	口縁部	E類	沈線文	石英砂微量	良		
499	第37図－32	第33図－32	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	石英砂微量	良　好		
500	第37図－33	第33図－33	G 65－54	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良　好		
501	第37図－34	第33図－34	表　採	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良		
502	第37図－35	第33図－35	KY1	鉢形土器	胴　部	E類	沈線文	雲母微量	良		
503	第38図－1	第34図－1	G 50－58	甕形土器	口縁部	E類	擦痕		良　好	表面・裏面炭化物	
504	第38図－2	第34図－2	G 61－54	甕形土器	口縁部	E類	擦痕＋沈線文	石英砂微量	良		
505	第38図－3	第34図－3	G 62－46	甕形土器	口縁部	E類	擦痕＋突刺文	石英砂多量	良		
506	第38図－4	第34図－4	G 62－46	深鉢形土器	口縁部	E類	擦痕	雲母微量	良	裏面炭化物	
507	第38図－5	第34図－5	G 65－54	深鉢形土器	口縁部	E類	擦痕	石英砂微量	良		
508	第38図－6	第34図－6	KY1	深鉢形土器	口縁部	E類	擦痕	雲母微量	良		
509	第38図－7	第34図－7	G 46－57	深鉢形土器	口縁部	E類	擦痕＋沈線文	雲母微量	不　良		
510	第38図－8	第34図－8	G 61－54	深鉢形土器	口縁部	E類	擦痕＋沈線文	石英砂微量	良		

No.	挿図No.	写真図版	出土地区・遺構	器　種	部　位	分　類	文　様	胎　土	焼　成	付着物	備　考
511	第38図－9	第34図－9	G 58－54	深鉢形土器	口縁部	E類	擦痕	石英砂微量	良		
512	第38図－10	第34図－10	G 58－54	甕形土器	胴　部	E類	擦痕	石英砂多量	良		
513	第38図－11	第34図－11	G 61－54	深鉢形土器	胴上部	E類	擦痕＋沈線文	雲母微量	良		
514	第38図－12	第34図－12	KY1	甕形土器	胴　部	E類	擦痕	石英砂微量	良		
515	第38図－13	第34図－13	G 65－54	深鉢形土器	胴　部	E類	擦痕	雲母微量	良		
516	第38図－14	第34図－14	G 65－54	深鉢形土器	胴　部	E類	擦痕	石英砂微量	不　良		
517	第38図－15	第34図－15	G 61－54	深鉢形土器	胴　部	E類	擦痕	石英砂微量	良	裏面炭化物	
518	第38図－16	第34図－16	G 65－54	深鉢形土器	胴　部	E類	擦痕	石英砂微量	良	表面炭化物	
519	第38図－17	第34図－17	G 62－46	鉢形土器	胴　部	E類	擦痕	雲母微量	良		
520	第38図－18	第34図－18	G 61－54	深鉢形土器	口縁部	E類	擦痕	雲母微量	良		
521	第38図－19	第34図－19	G 58－54	深鉢形土器	口縁部	F類		石英砂微量	良		
522	第38図－20	第34図－20	G 65－54	深鉢形土器	口縁部	E類		石英砂多量	良		
523	第38図－21	第34図－21	G 65－54	深鉢形土器	口縁部	E類		雲母微量	良		
524	第38図－22	第34図－22	G 46－50	深鉢形土器	口縁部	E類	擦痕	雲母微量	良		
525	第38図－23	第34図－23	KY1	深鉢形土器	口縁部	E類		雲母微量	良		
526	第38図－24	第34図－24	G 65－54	深鉢形土器	口縁部	E類		石英砂微量	良　好		
527	第38図－25	第34図－25	KY1	深鉢形土器	口縁部	E類		石英砂微量	不　良		
528	第39図－1	第35図－1	G 65－54	甕形土器	口縁部			石英砂多量	良　好		
529	第39図－2	第35図－2	G 65－54	甕形土器	口縁部			石英砂多量	良		
530	第39図－3	第35図－3	G 65－54	甕形土器	口縁部			石英砂多量	良		
531	第39図－4	第35図－4	G 65－54	甕形土器	口縁部			雲母微量	不　良		
532	第39図－5	第35図－5	G 58－54	甕形土器	口縁部			石英砂微量	良		
533	第39図－6	第35図－6	G 65－54	深鉢形土器	口縁部		補修孔	石英砂多量	良		
534	第39図－7	第35図－7	KY1	甕形土器	口縁部			石英砂微量	良	表面炭化物	
535	第39図－8	第35図－8	G 65－54	甕形土器	口縁部			石英砂多量	不　良		
536	第39図－9	第35図－9	G 65－54	壺形土器	口縁部			石英砂微量	良		
537	第39図－10	第35図－10	G 65－54	深鉢形土器	口縁部			雲母微量	良	裏面炭化物	
538	第39図－11	第35図－11	G 65－54	甕形土器	口縁部			石英砂微量	良		
539	第39図－12	第35図－12	G 65－54	深鉢形土器	口縁部			雲母微量	良		
540	第39図－13	第35図－13	G 65－54	壺形土器	胴　部			雲母多量	良	表面炭化物	
541	第39図－14	第35図－14	G 65－54	甕形土器	口縁部			雲母微量	良		
542	第39図－15	第35図－15	G 65－54	深鉢形土器	口縁部			石英砂多量	良		
543	第39図－16	第35図－16	G 65－54	鉢形土器	口縁部				良　好		
544	第39図－17	第35図－17	G 65－54	甕形土器	口縁部			雲母微量	良　好		
545	第40図－1		G 65－54	深鉢形土器	底　部			雲母微量	良		
546	第40図－2		DY66	深鉢形土器	底　部			石英砂微量	良　好		
547	第40図－3		G 46－54	深鉢形土器	底　部			石英砂微量	良		
548	第40図－4		G 54－50	鉢形土器	底　部			雲母多量	良		
549	第40図－5		G 65－54	深鉢形土器	底　部			石英砂微量	不　良		
550	第40図－6		G 65－54	深鉢形土器	底　部			石英砂微量	良　好		
551	第40図－7		G 58－54	深鉢形土器	底　部				良		
552	第17図－1		MY13	甕形土器	口縁部～下胴部		擦痕		良	裏面炭化物	
553	第17図－2		MY15	甕形土器	口縁部～下胴部		擦痕	石英砂微量	良	裏面炭化物	

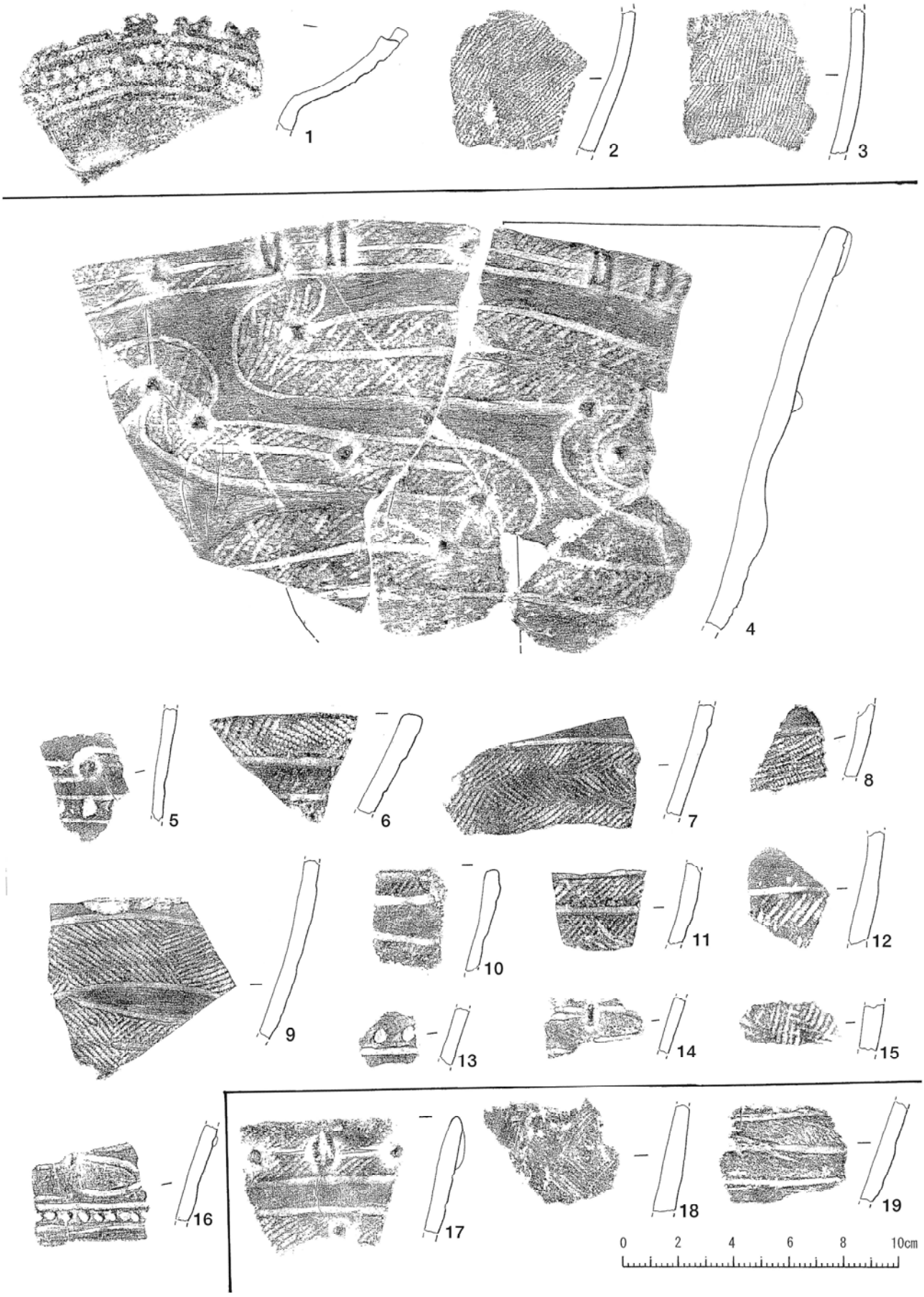


第 20 図　野際遺跡出土土器拓影図（1）

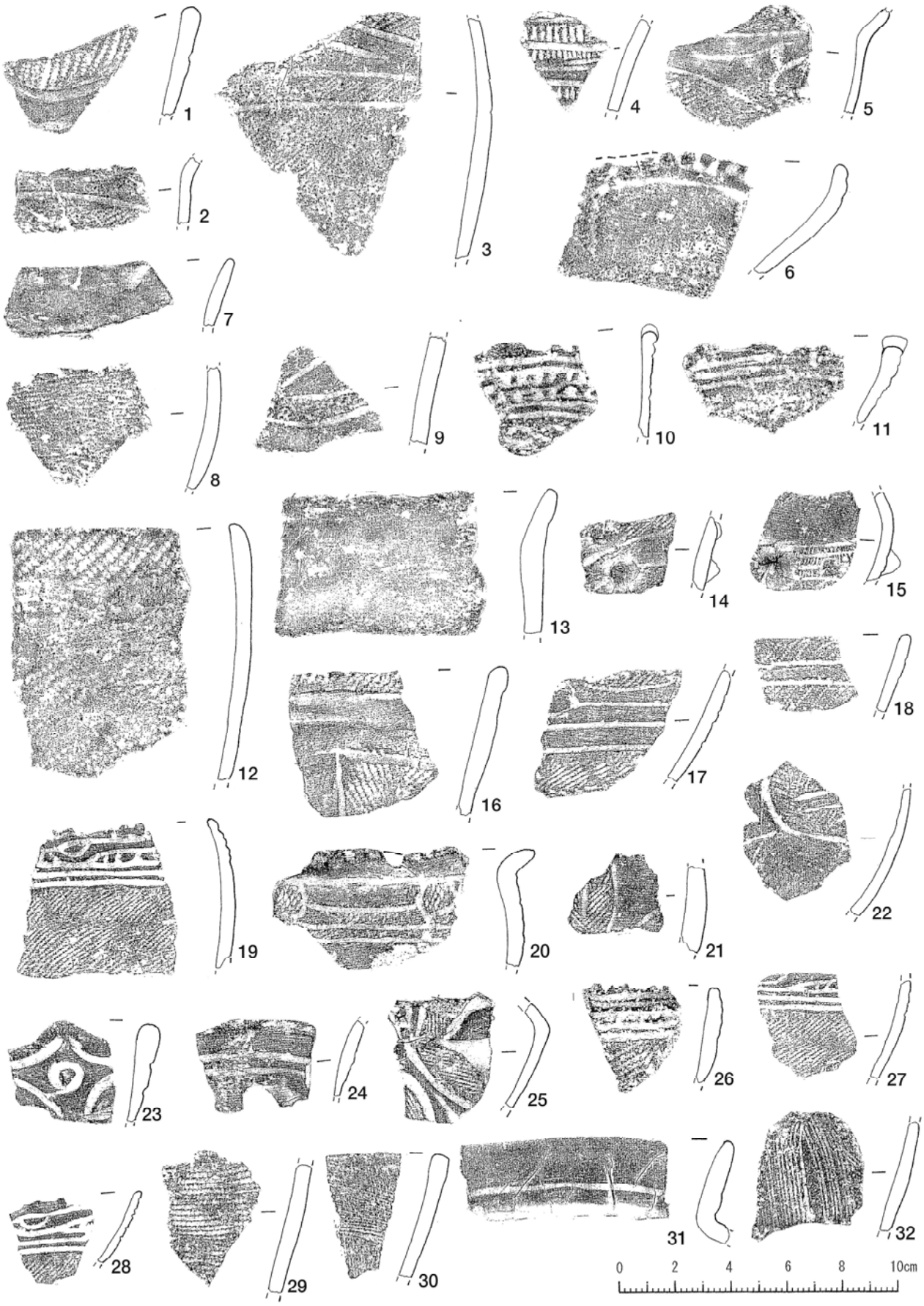


第21図　野際遺跡出土土器拓影図(2)　HY1

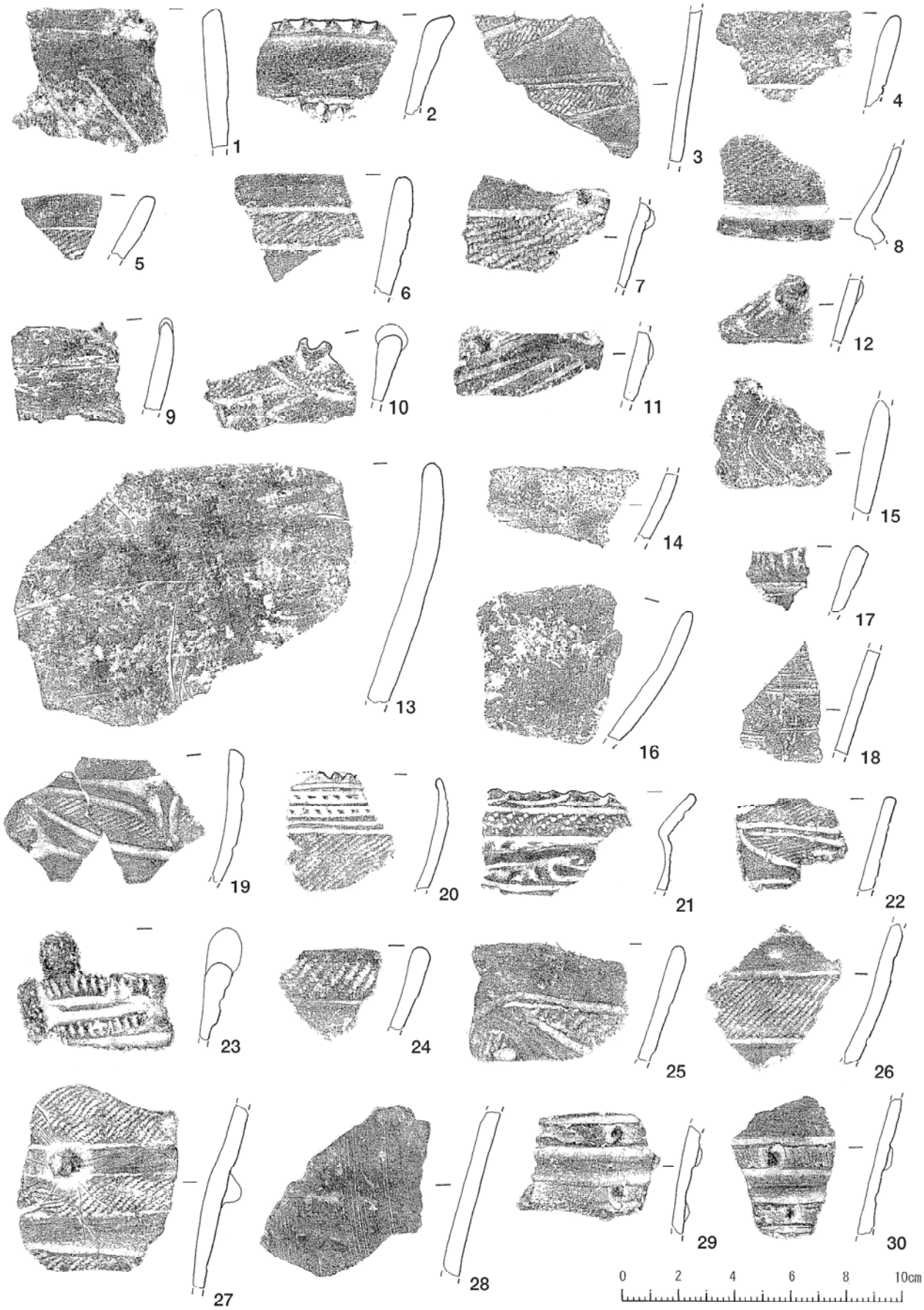
第 22 図　野際遺跡出土土器拓影図 (3)　HY2



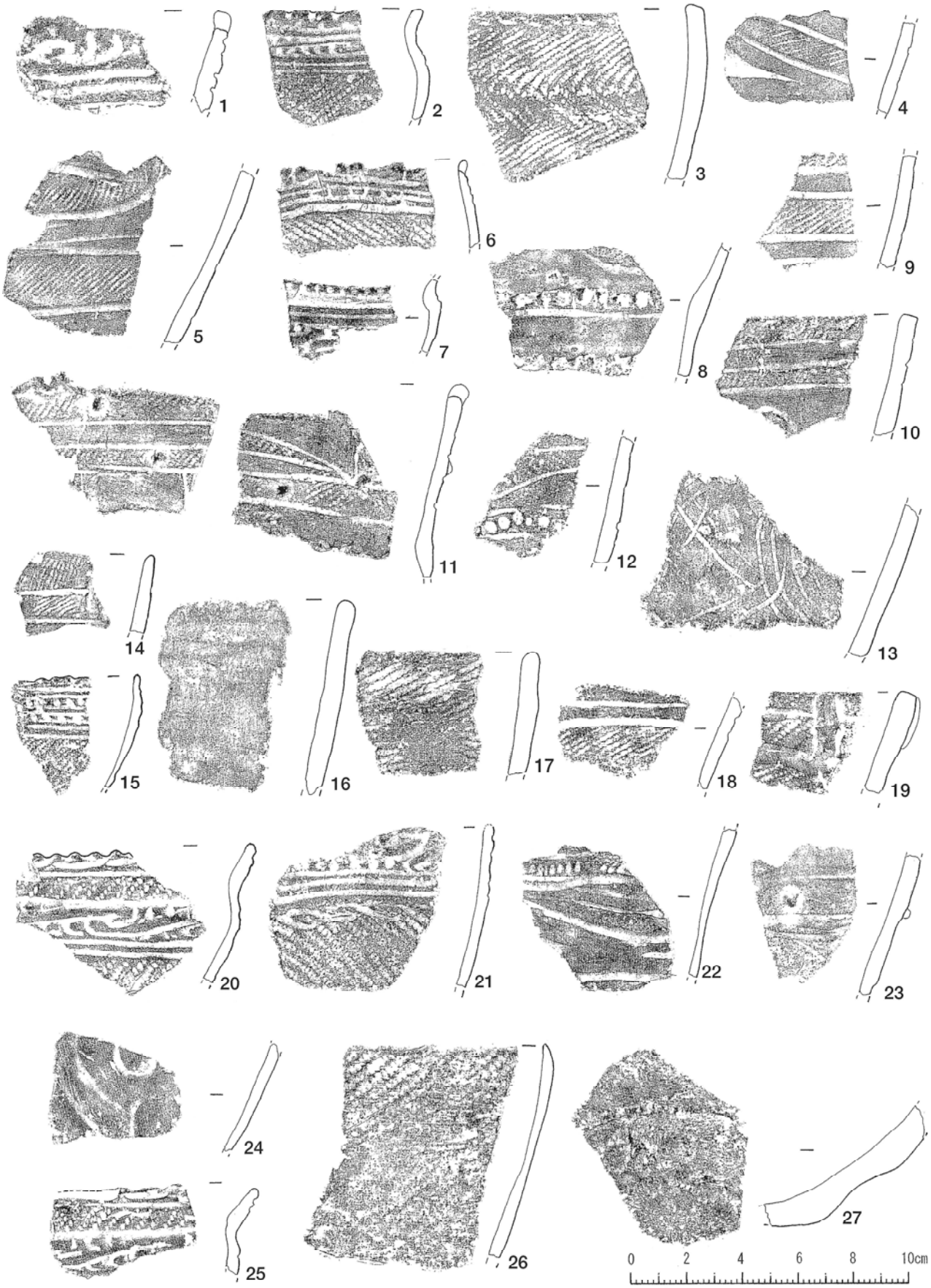
第23図　野際遺跡出土土器拓影図(4)　HY2・3・4



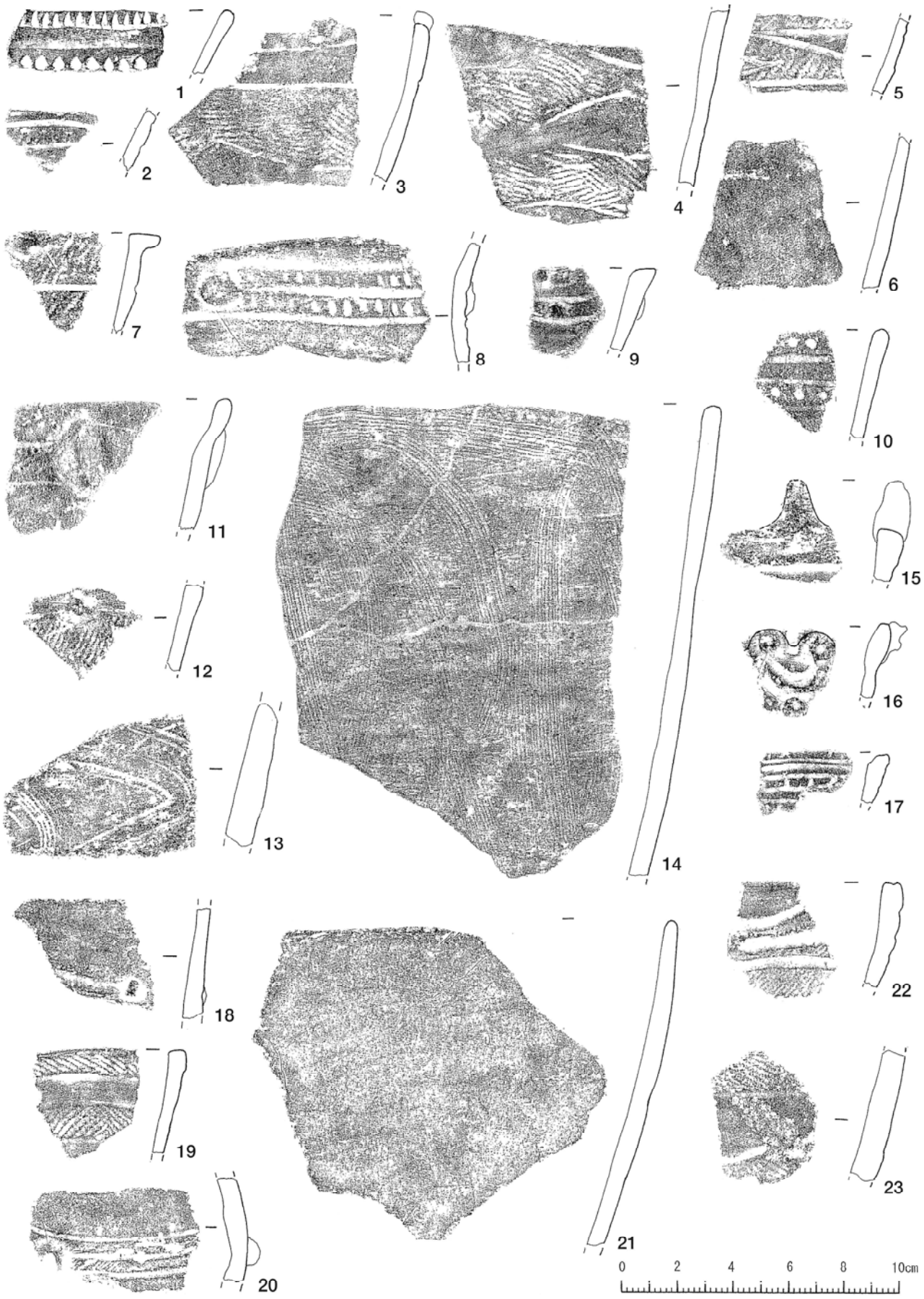
第24図　野際遺跡出土土器拓影図(5)　HY4・DY1



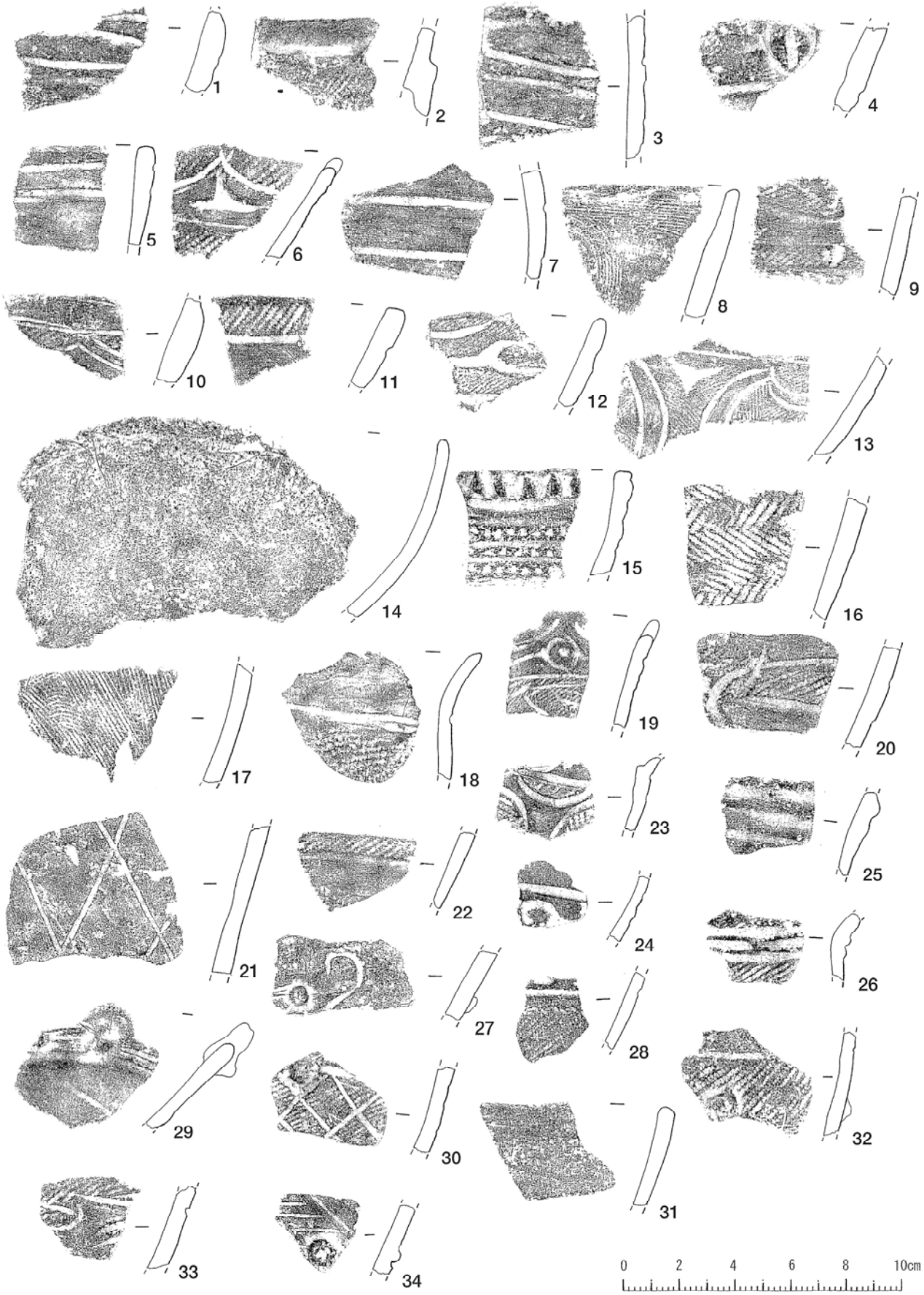
第 25 図　野際遺跡出土土器拓影図 (6)　DY 土壙



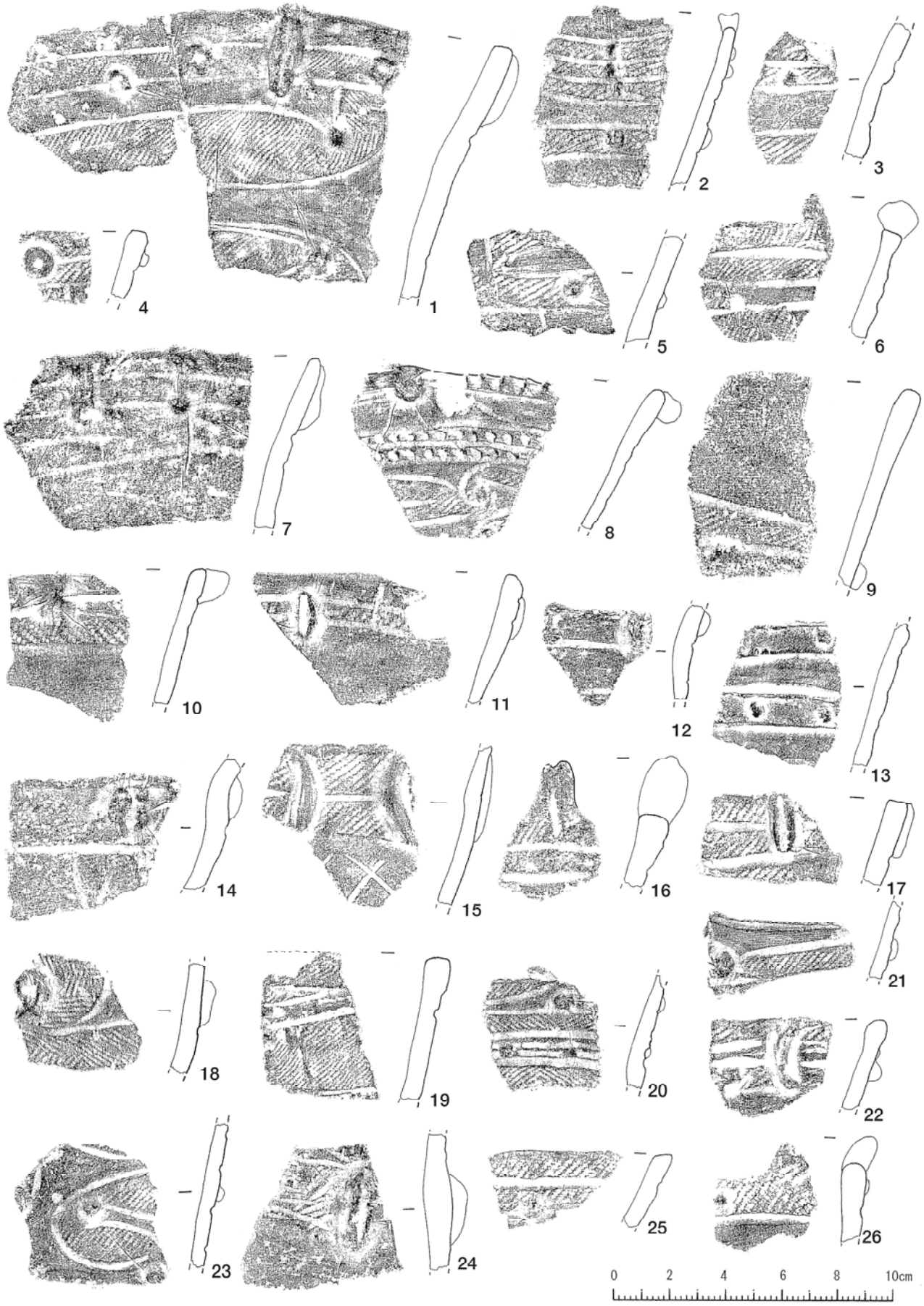
第 26 図　野際遺跡出土土器拓影図 (7)　DY 土壙



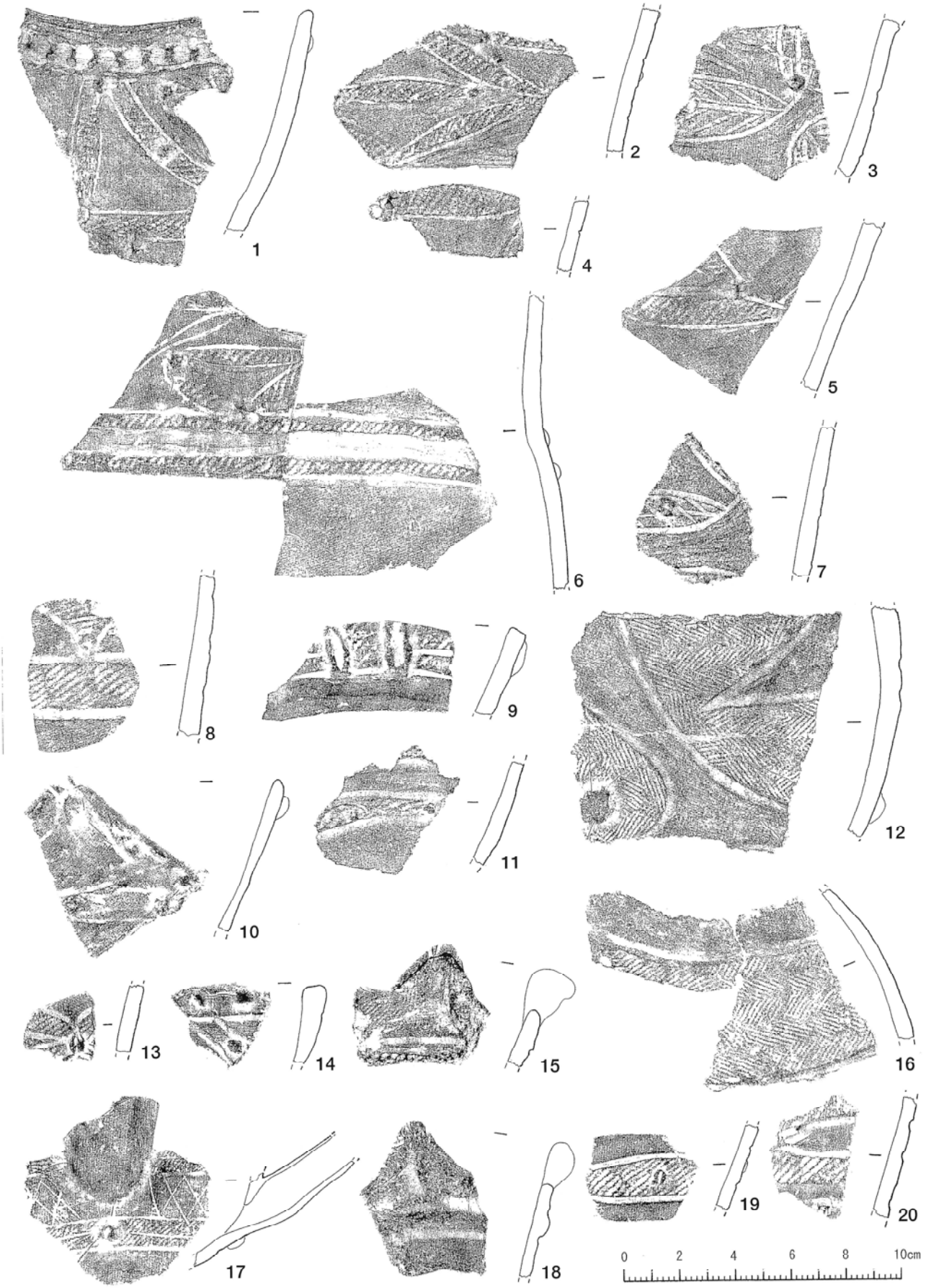
第 27 図　野際遺跡出土土器拓影図 (8)　DY 土壙



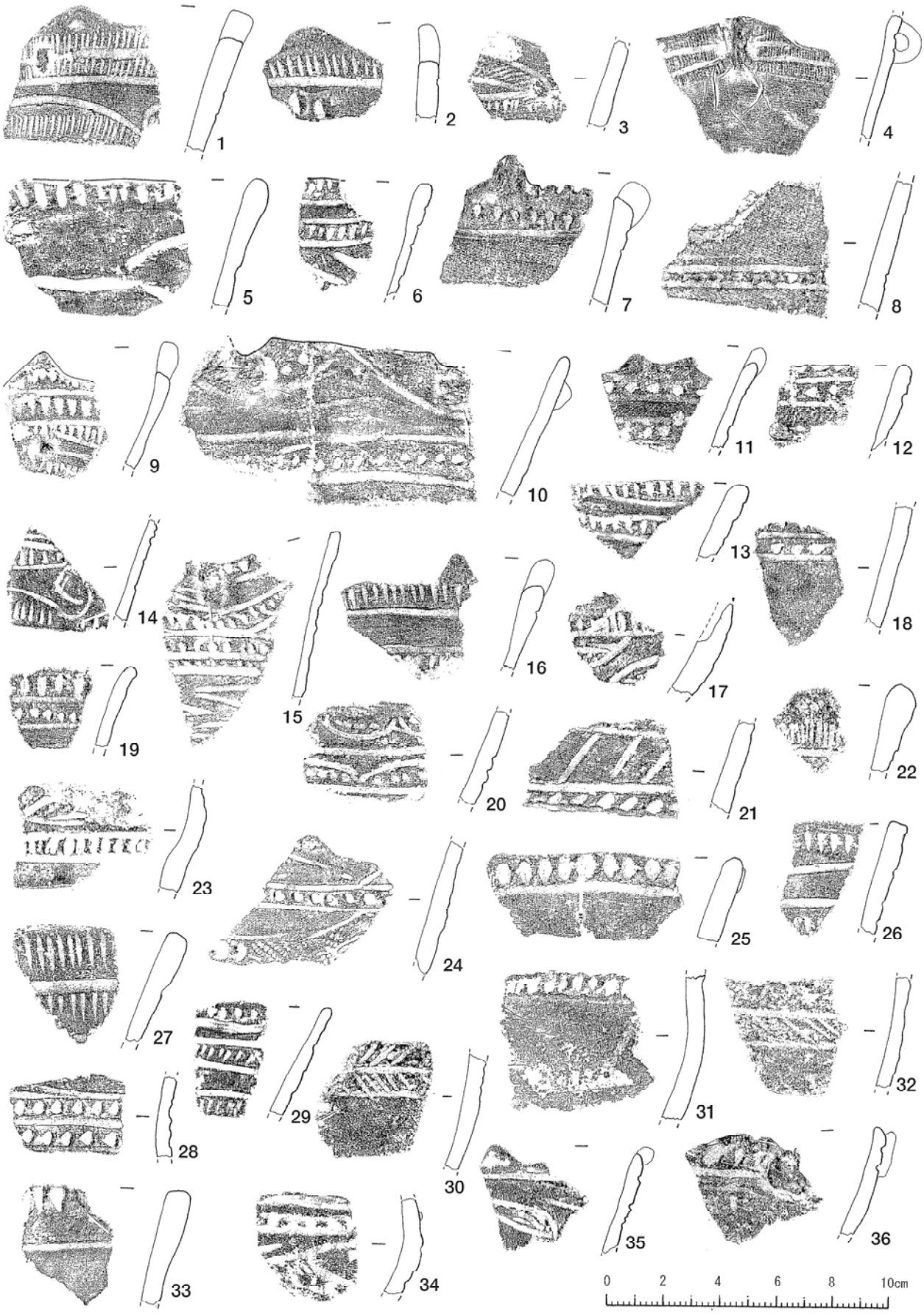
第 28 図　野際遺跡出土土器拓影図 (9)



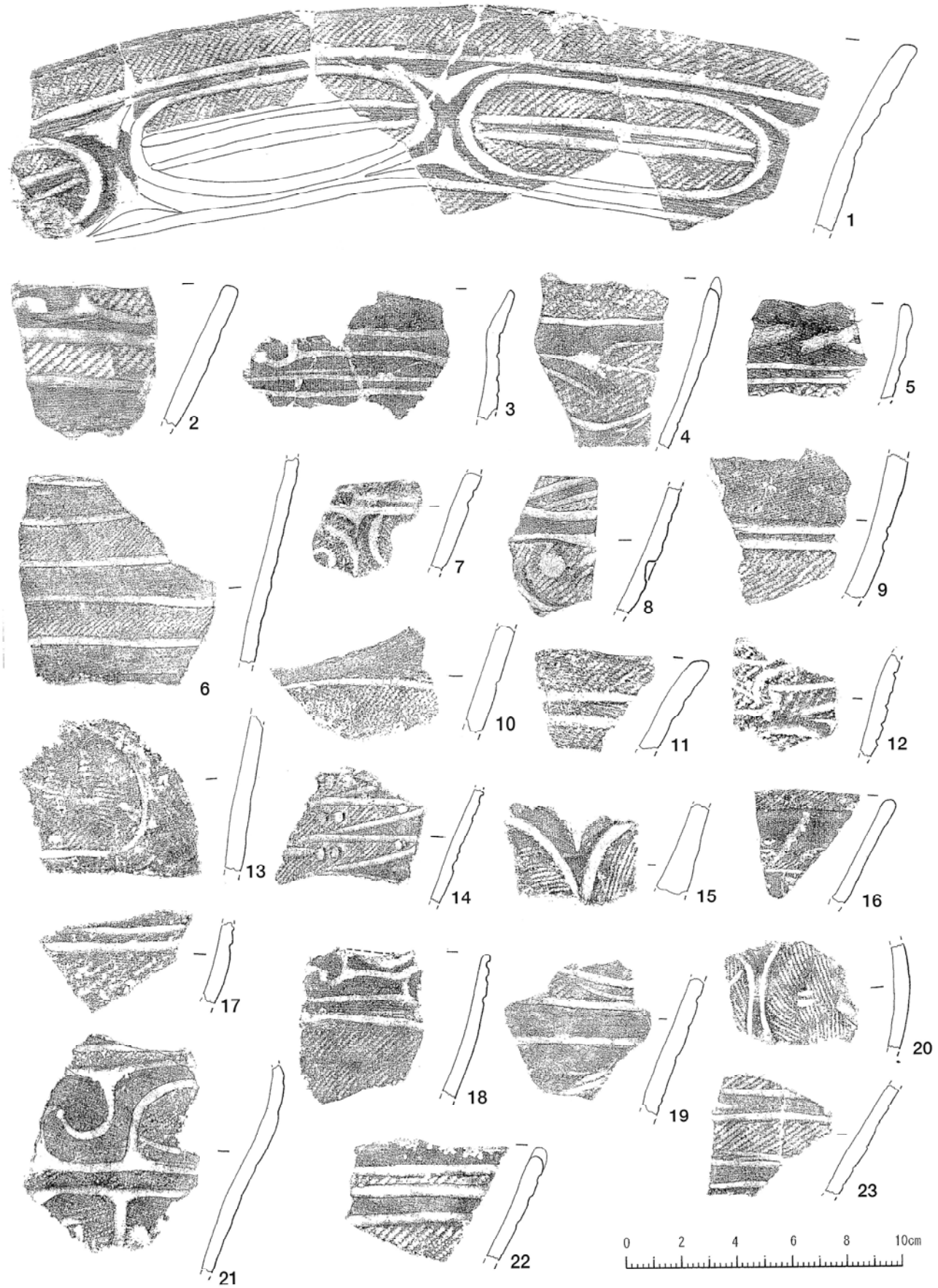
第 29 図　野際遺跡出土土器拓影図 (10)



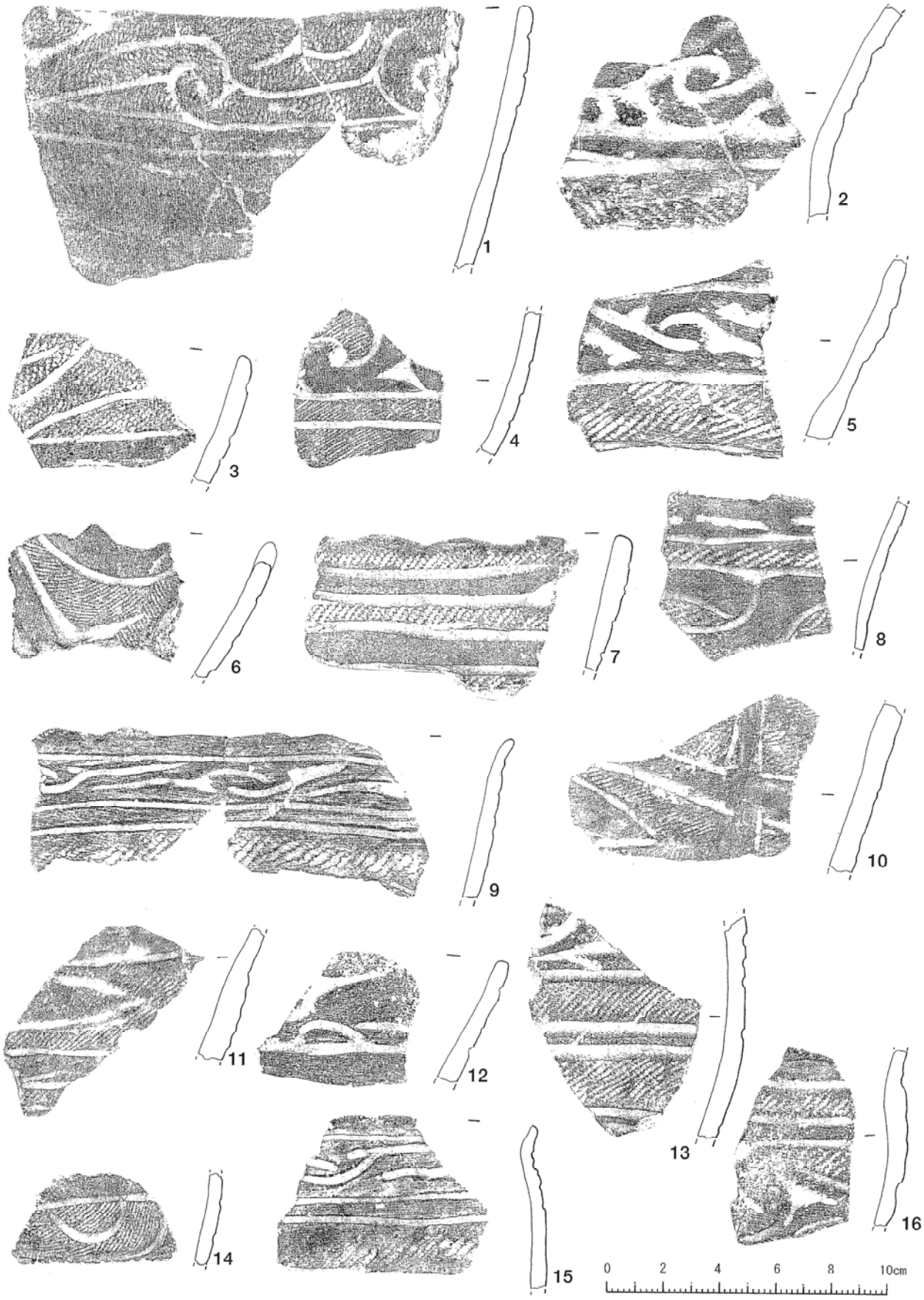
第29図　野際遺跡出土土器拓影図(11)



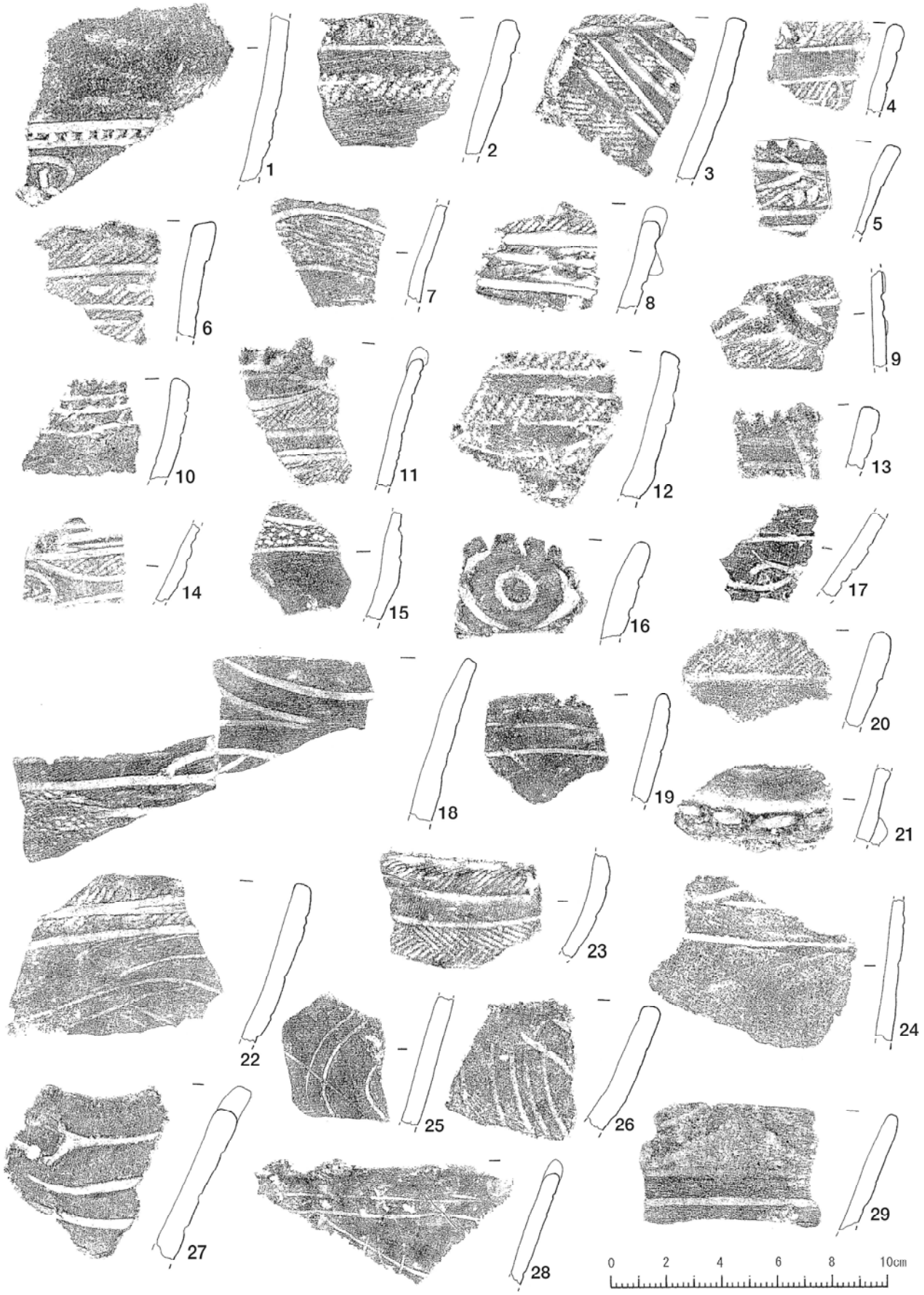
第 31 図　野際遺跡出土土器拓影図 (12)



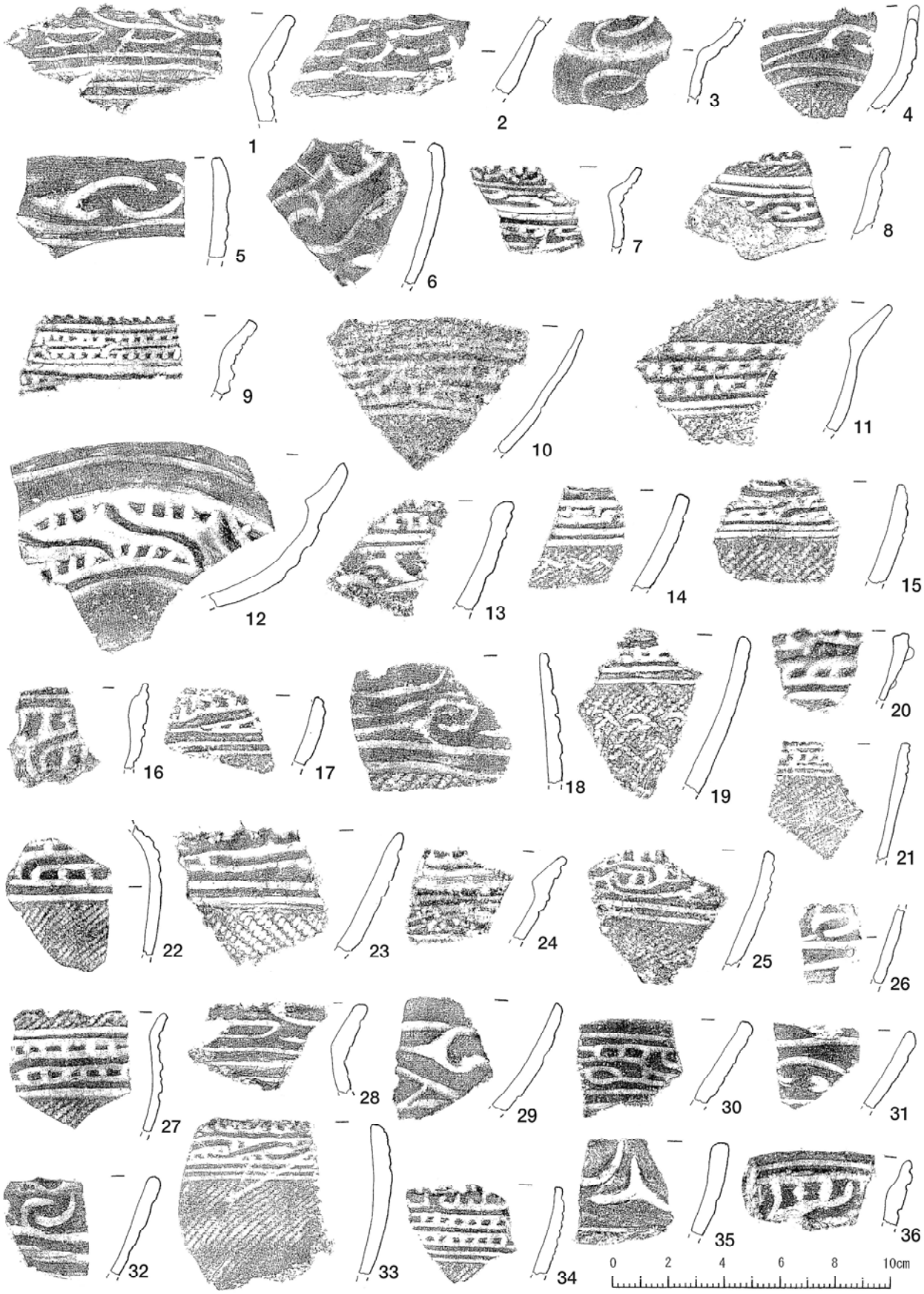
第 32 図　野際遺跡出土土器拓影図（13）



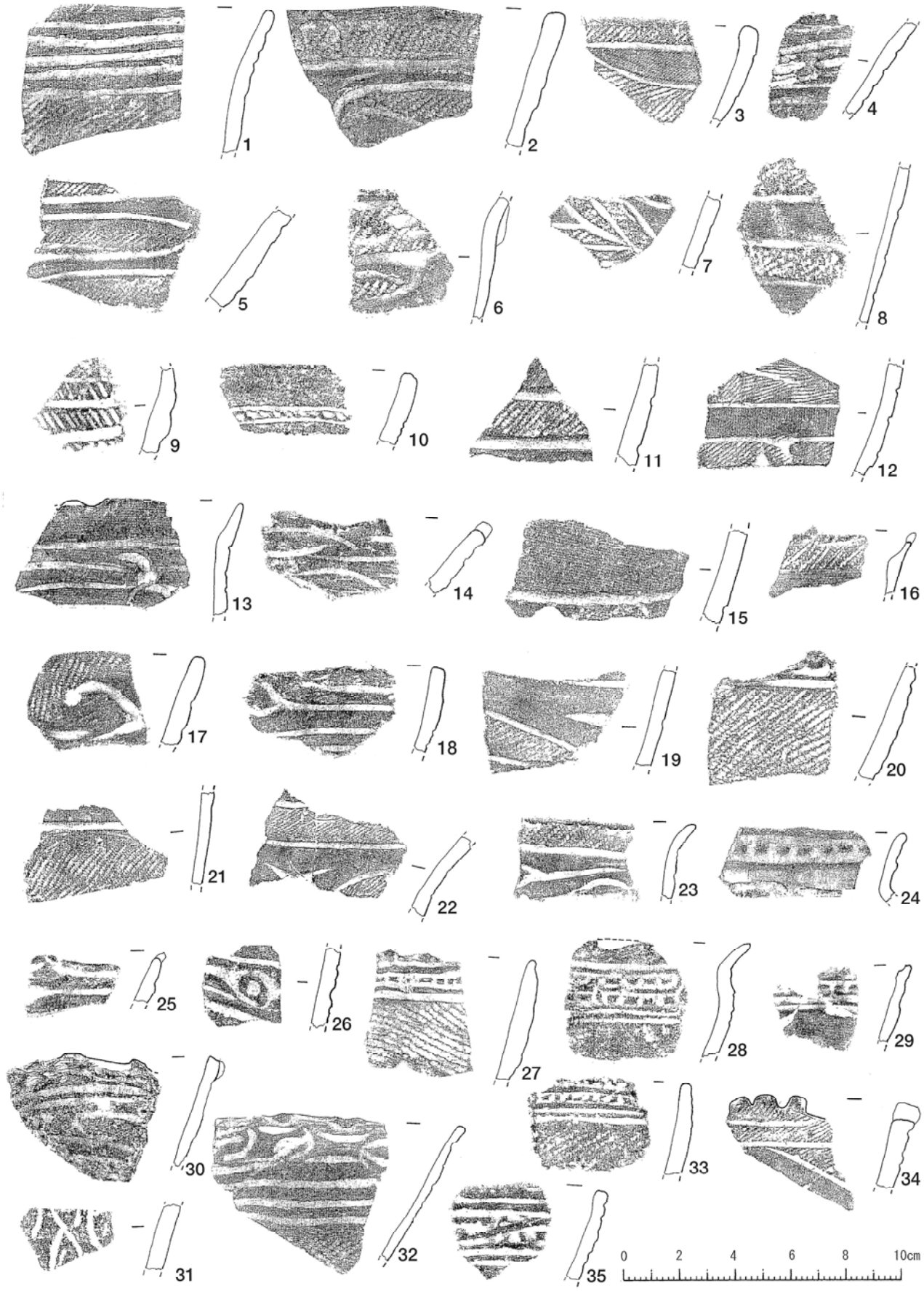
第 33 図　野際遺跡出土土器拓影図 (14)



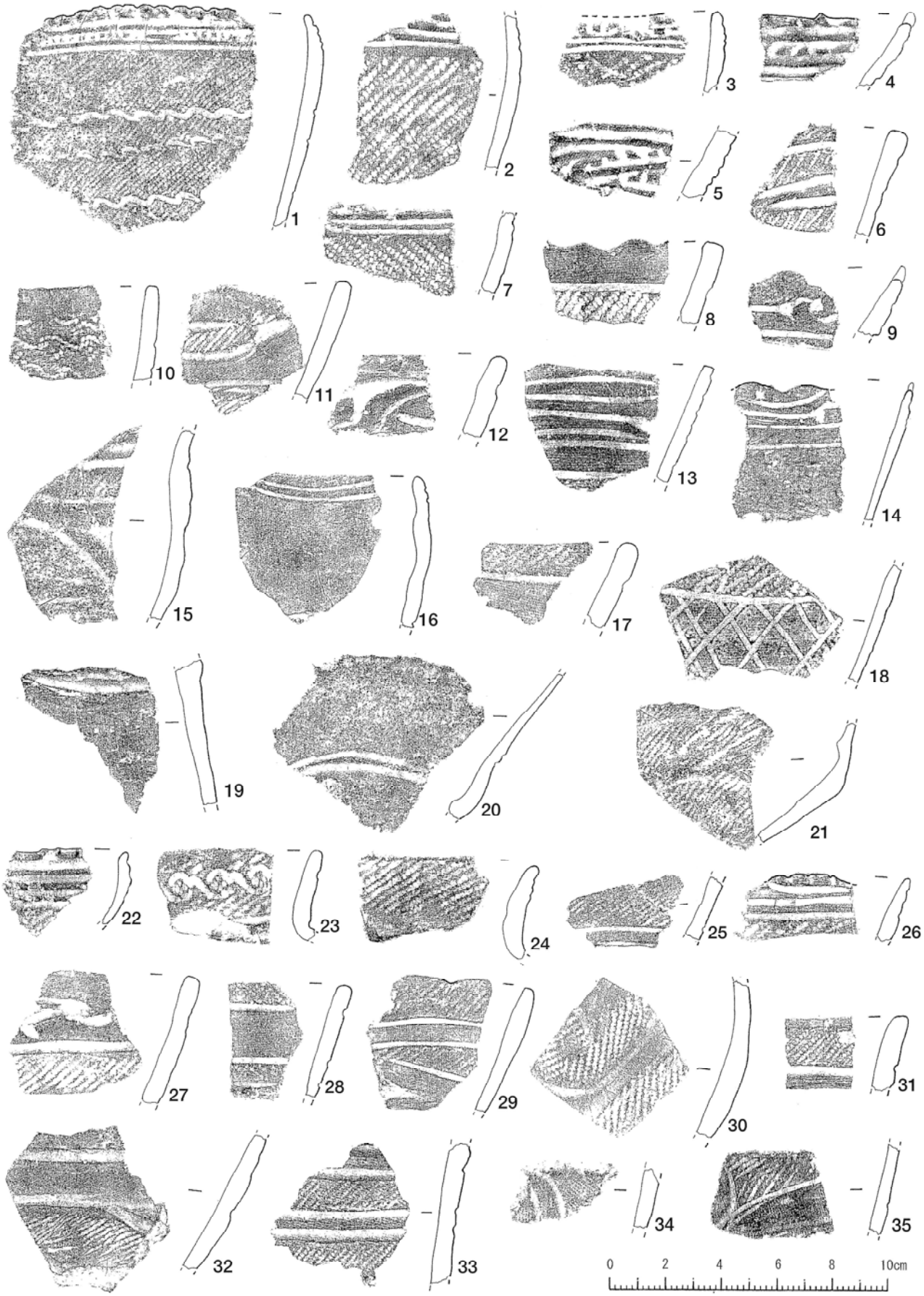
第34図　野際遺跡出土土器拓影図（15）



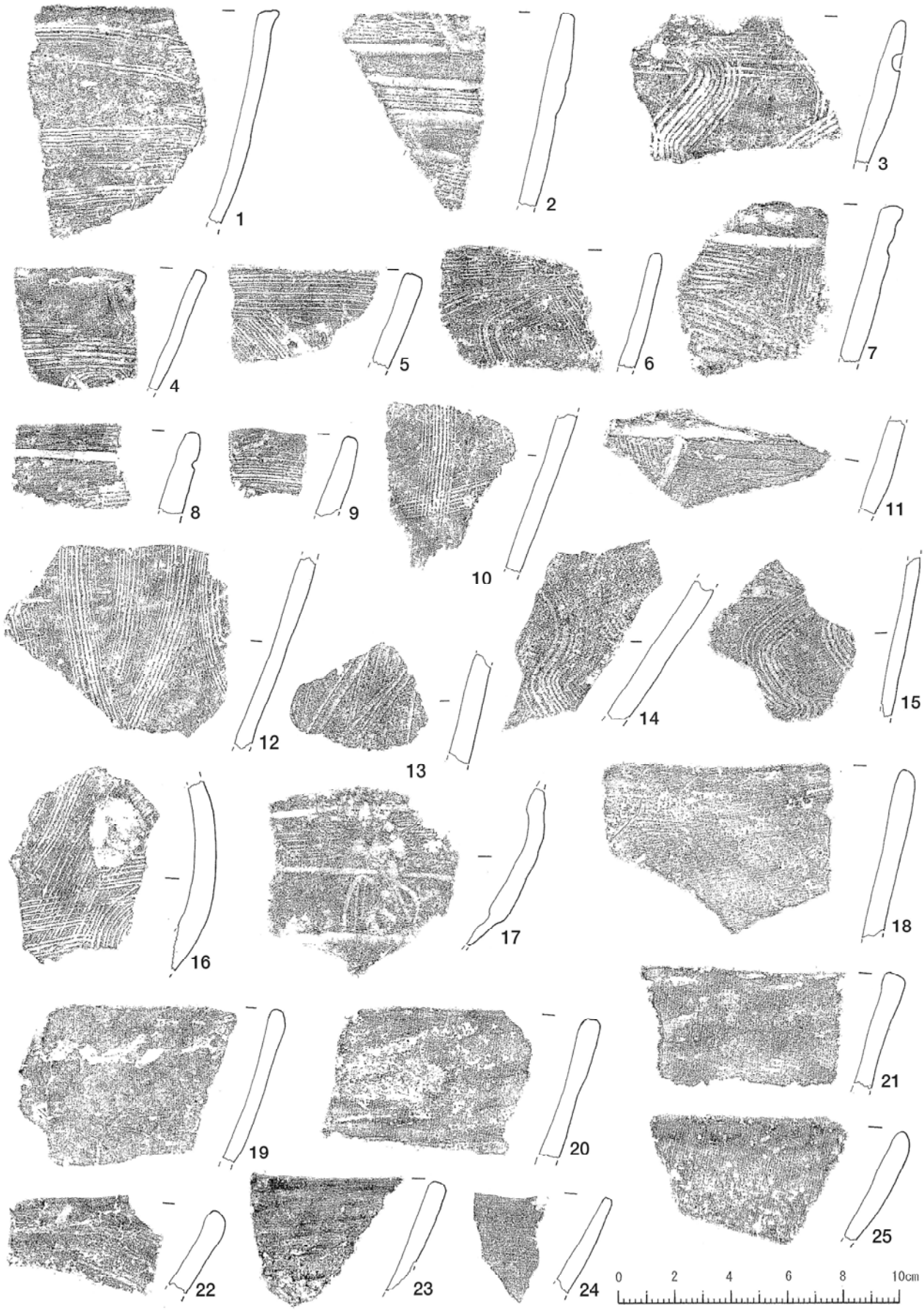
第 35 図　野際遺跡出土土器拓影図 (16)



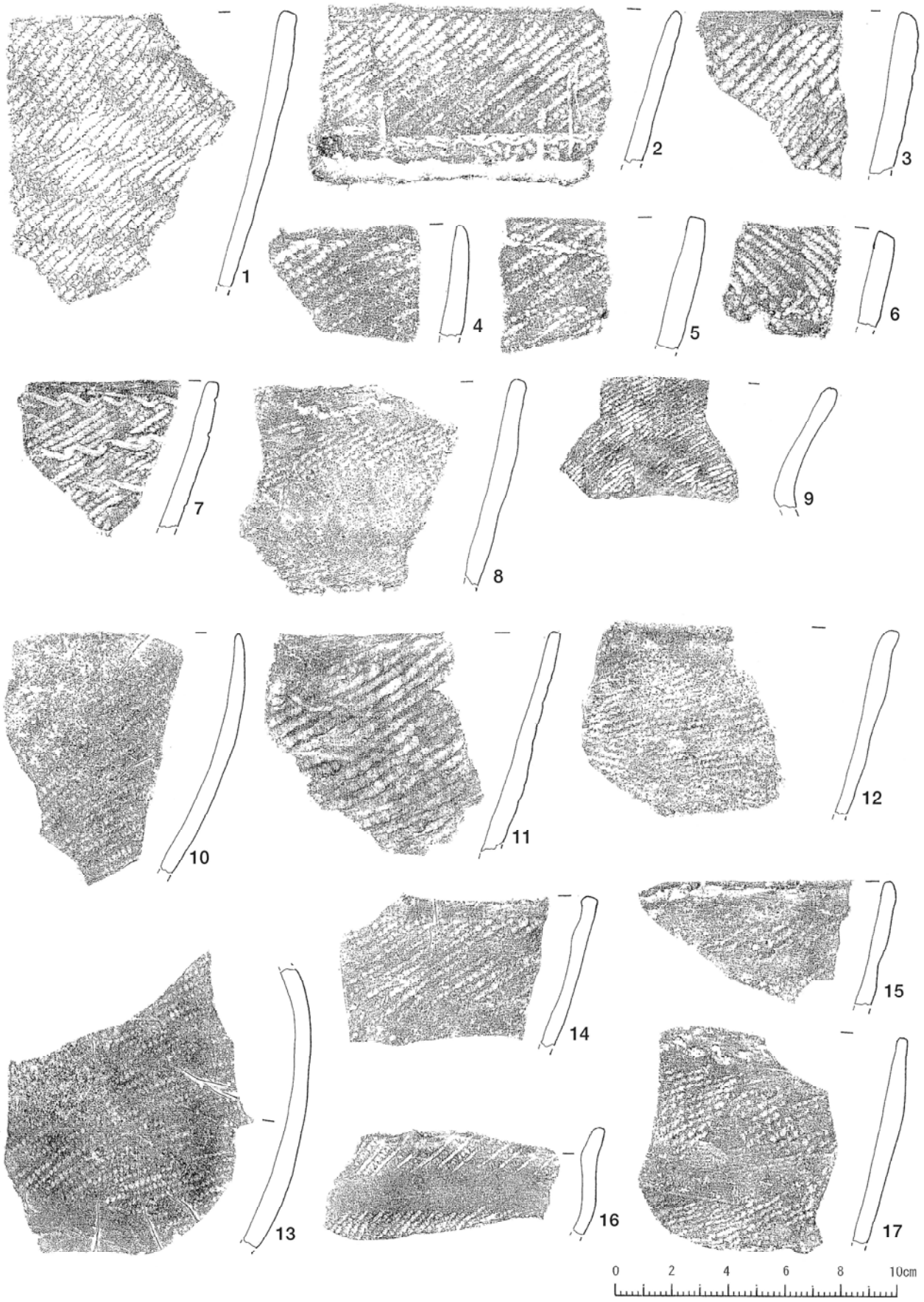
第36図　野際遺跡出土土器拓影図(17)



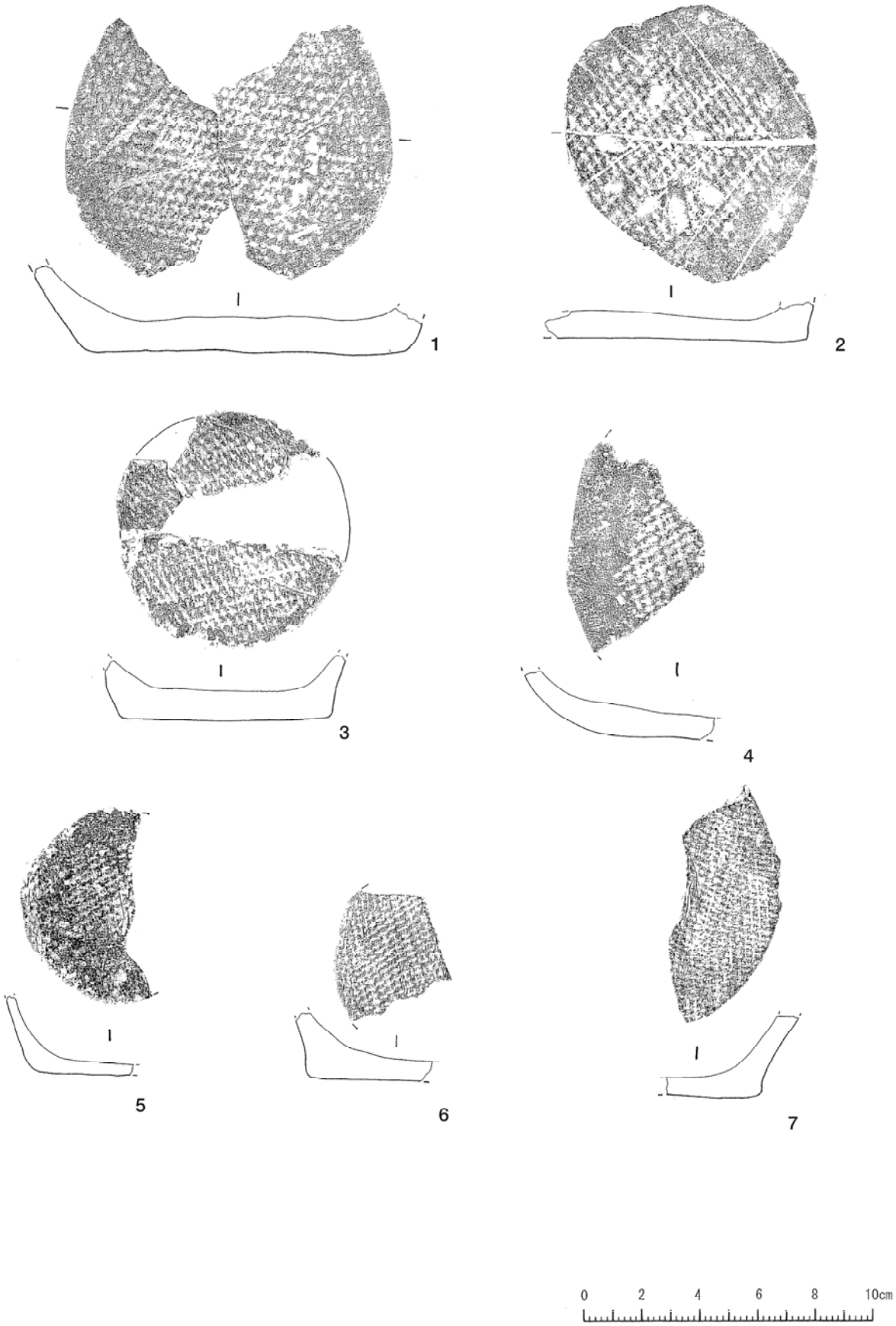
第 37 図　野際遺跡出土土器拓影図 (18)



第38図　野際遺跡出土土器拓影図(19)



第 39 図　野際遺跡出土土器拓影図 (20)



第 40 図　野際遺跡出土土器拓影図 (21)

第４表　野際遺跡出土石器計測表

No	器　種	石　材	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	重量（ｇ）	挿図番号	出土地区	遺物番号
1	無茎石鏃	頁　岩	34.3	19.1	4.2	2		KY1	20
2	無茎石鏃	頁　岩	25.2	14.7	4.5	1		HY2	71
3	無茎石鏃	頁　岩	25.5	14.2	3.9	1	第41図 1	58-50	44
4	無茎石鏃	石　英	12.5	22.2	5.0	1		HY2	41
5	有茎石鏃	琥　珀	29.3	13.2	4.9	1	第41図 3	DY36	58
6	有茎石鏃	頁　岩	21.9	13.8	3.3		第41図 2	61-54	99
7	有茎石鏃	頁　岩	25.1	13.1	3.1			HY2	52
8	有茎石鏃	頁　岩	20.4	19.1	4.5			HY2 炉	60
9	有茎石鏃	頁　岩	18.0	11.9	4.1			62-50	28
10	有茎石鏃	頁　岩	27.3	11.9	4.1			62-50	6
11	有茎石鏃	頁　岩	21.3	12.0	5.3			HY2	42
12	有茎石鏃	頁　岩	21.8	10.9	3.9			KY1	19
13	有茎石鏃	頁　岩	19.8	11.0	3.6			KY3	63
14	有茎石鏃	頁　岩	22.7	13.3	6.5			DY18	45
15	未完成石鏃	頁　岩	33.5	15.3	5.5			58-46	83
16	未完成石鏃	頁　岩	30.5	22.2	8.1			HY3	79
17	未完成石鏃	石　英	27.2	15.2	8.2			KY1	18
18	未完成石鏃	石　英	32.8	25.8	7.3			HY2	59
19	削　器	頁　岩	38.6	19.6	6.0	1		HY3	80
20	尖頭器	頁　岩	137.4	41.6	29.5	130	第41図 8	61-58	10
21	尖頭器	頁　岩	128.1	32.7	23.6	90		65-54	95
22	尖頭器	頁　岩	100.0	40.4	30.5	110		KY1	34
23	石　錐	頁　岩	35.8	9.9	5.2	1	第41図 4	DY16	50
24	石　錐	頁　岩	24.9	8.9	4.9			HY2	26
25	石　錐	頁　岩	17.4	7.1	3.9			65-54	53
26	石　錐	頁　岩	44.4	11.9	9.6	8		58-46	1
27	石　錐	頁　岩	41.4	12.7	10.7	5		HY2	46
28	石　錐	頁　岩	14.8	15.1	10.9	10		58-54	14
29	石　錐	頁　岩	47.8	18.6	7.1	10		HY2	3
30	石　錐	頁　岩	54.6	19.7	9.7	12		HY2	43
31	石　錐	頁　岩	36.3	29.7	8.0	8		65-54	86
32	石　錐	頁　岩	43.9	37.7	11.0	15		P26	78
33	石　錐	頁　岩	61.5	46.2	18.1	35		65-54	89
34	石　錐	頁　岩	72.2	36.3	10.7	20		KY1	75
35	横型石匙	頁　岩	39.0	54.4	8.2	15		HY4	33
36	横型石匙	頁　岩	53.8	87.0	12.2	45		DY36	62
37	横型石匙	頁　岩	37.8	64.1	8.5	20		KY1	82
38	横型石匙	頁　岩	48.6	50.4	8.8	15	第41図 6	62-46	97

No	器　種	石　材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	挿図番号	出土地区	遺物番号
39	縦型石匙	頁　岩	68.8	49.4	11.5	25		65-54	94
40	縦型石匙	頁　岩	56.5	41.5	6.3	15		62-50	85
41	縦型石匙	頁　岩	80.4	46.9	17.1	45	第41図7	HY2	24
42	縦型石匙	頁　岩	79.0	31.3	11.8	35		50-54	13
43	縦型石匙	頁　岩	55.0	46.6	16.6	35		HY4	55
44	縦型石匙	頁　岩	51.5	25.4	7.6	10		46-57	36
45	縦型石匙	頁　岩	51.6	25.6	6.9	6		DY22	104
46	縦型石匙	頁　岩	54.2	31.9	9.8	12		58-50	5
47	縦型石匙	頁　岩	61.7	21.6	10.5	15	第41図5	HY3	23
48	縦型石匙	頁　岩	46.6	23.1	6.3	7		表 採	37
49	縦型石匙	頁　岩	57.9	17.4	6.1	6		65-54	29
50	縦型石匙	頁　岩	57.0	21.6	7.3	5		65-54	21
51	縦型石匙	頁　岩	60.5	23.9	6.9	10		61-54	51
52	縦型石匙	頁　岩	68.0	34.5	8.8	20		50-58	100
53	削　器	頁　岩	64.7	46.3	14.7	38	第42図2	62-50	84
54	削　器	頁　岩	46.9	40.0	10.7	18		HY3	81
55	削　器	頁　岩	54.7	36.3	10.0	27		62-50	7
56	削　器	頁　岩	48.8	34.0	5.9	10		DY67	72
57	削　器	頁　岩	61.9	53.8	14.7	40	第42図3	61-54	88
58	削　器	頁　岩	46.7	34.1	10.4	15		HY4 P20	74
59	削　器	頁　岩	51.7	32.4	13.0	20		61-54	98
60	削　器	頁　岩	88.4	57.8	17.7	72	第41図9	KY1	15
61	箆状石器	頁　岩	84.0	48.0	22.8	68		KY1	76
62	箆状石器	頁　岩	95.8	45.7	18.1	65		65-54	32
63	箆状石器	頁　岩	78.6	48.0	14.5	50		61-58	11
64	箆状石器	頁　岩	83.4	47.0	18.7	62		表 採	8
65	箆状石器	頁　岩	77.0	49.0	14.8	60		DY21	47
66	箆状石器	頁　岩	73.2	42.2	17.3	42		DY1	22
67	箆状石器	頁　岩	71.4	35.5	19.2	52		65-54	35
68	箆状石器	頁　岩	75.5	45.8	15.7	49		58-50	4
69	箆状石器	頁　岩	60.2	39.7	11.3	30		KY1	39
70	箆状石器	頁　岩	72.4	29.1	25.8	62		65-54	31
71	小型箆状石器	頁　岩	36.9	28.1	14.0	13		65-54	87
72	小型箆状石器	頁　岩	56.3	38.4	17.2	32		KY1	16
73	欠損箆状石器	頁　岩	57.8	42.4	13.7	40		表 採	103
74	欠損箆状石器	頁　岩	54.7	33.8	16.8	40		DY24	54
75	欠損箆状石器	頁　岩	68.0	36.1	20.2	52		65-54	93
76	欠損箆状石器	頁　岩	29.1	20.5	10.2	15		65-54	91
77	欠損箆状石器	頁　岩	41.0	38.0	11.8	22		65-54	92
78	欠損箆状石器	頁　岩	47.1	41.1	10.8	25		65-54	90

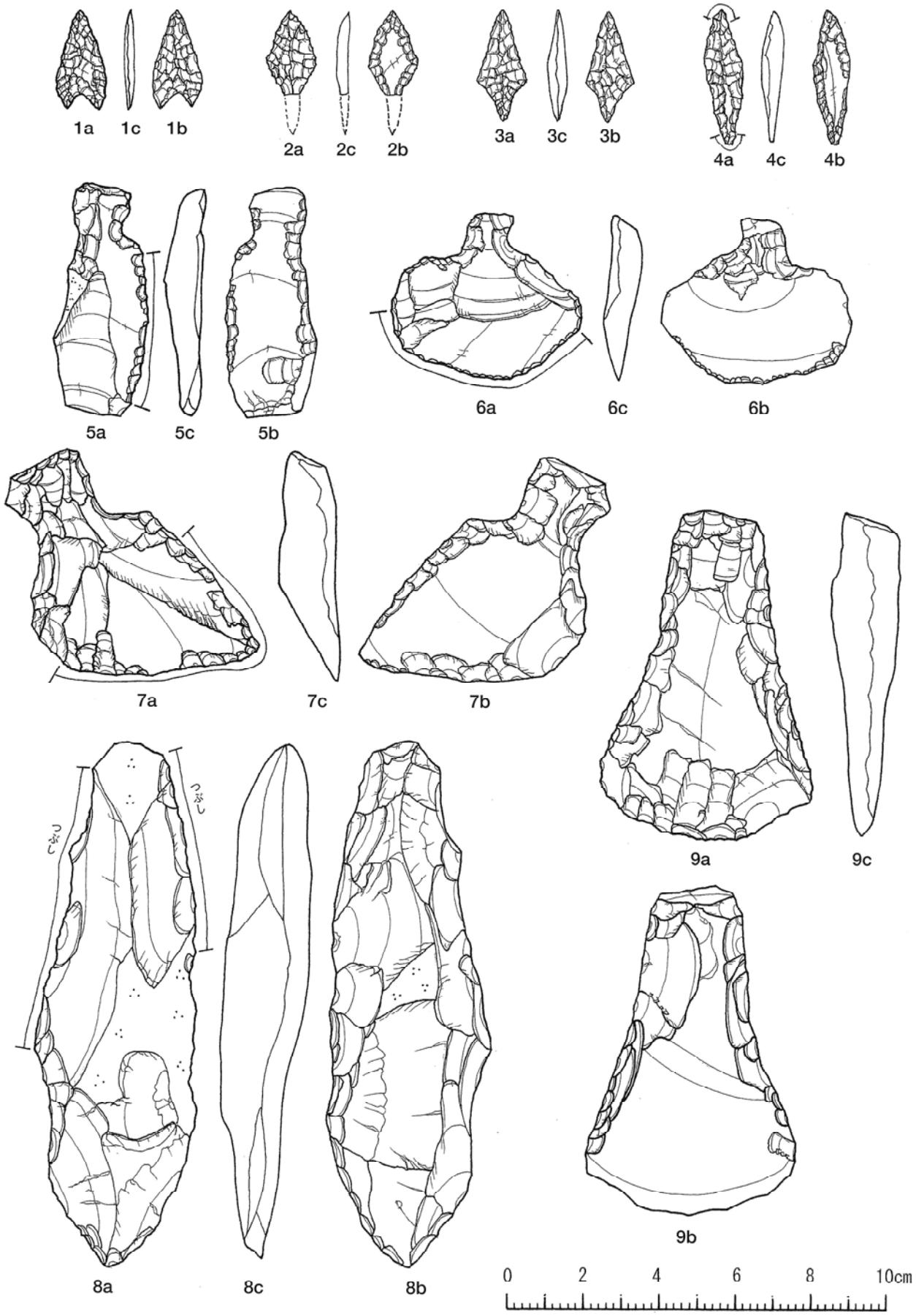
No	器　種	石　材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	挿図番号	出土地区	遺物番号
79	打製石斧	頁　岩	108.4	53.8	21.2	107	第42図1	KY1	56
80	定角式磨製石斧	硬砂岩	79.6	50.9	30.2	175	第43図1	KY1	48
81	定角式磨製石斧	硬砂岩	103.0	50.1	23.3	202	第43図2	65-54	49
82	定角式磨製石斧	硬砂岩	113.0	45.0	25.5	190	第43図3	50-54	25
83	定角式磨製石斧	硬砂岩	57.7	40.9	28.6	110	第44図2	65-54	30
84	定角式磨製石斧	硬砂岩	71.0	47.2	22.8	118		KY1	38
85	定角式磨製石斧	硬砂岩	77.2	43.3	26.3	127	第42図6	65-54	27
86	定角式磨製石斧	硬砂岩	60.7	39.7	23.4	78		61-58	12
87	定角式磨製石斧	硬砂岩	53.1	53.0	34.7	165		61-54	64
88	定角式磨製石斧	硬砂岩	72.8	60.6	33.2	233		HY2	40
89	定角式磨製石斧	硬砂岩	110.3	53.9	26.4	220		62-50	9
90	定角式磨製石斧	硬砂岩	44.2	37.1	28.9	65	第44図1	54-54	2
91	定角式磨製石斧	硬砂岩	63.0	48.9	29.2	133	第44図3	KY1	57
92	定角式磨製石斧	蛇紋岩	50.0	29.4	10.6	25	第42図4	DY67	61
93	定角式磨製石斧	硬砂岩	44.3	25.7	11.0	12	第42図5	DY18	101
94	定角式磨製石斧	蛇紋岩	41.3	18.3	8.5	13	第42図7	HY2	102
95	石　核	安山岩	75.9	65.0	41.0	218		KY1	69
96	石　核	安山岩	150.3	123.6	73.4	1435		66-54	67
97	石　核	頁　岩	99.8	90.0	74.2	745		KY1	17
98	石　核	頁　岩	69.6	52.7	46.3	192		46-57	96
99	石　核	頁　岩	58.8	51.6	22.6	66		DY11	73
100	石　核	頁　岩	100.8	88.1	41.4	355		KY1	66
101	石　核	チャート	92.2	78.8	57.2	412		65-54	65
102	石　核	頁　岩	77.1	54.7	40.1	145		KY1	70
103	石　核	頁　岩	72.4	62.0	40.8	170		58-50	68

第５表　野際遺跡出土土製品計測表

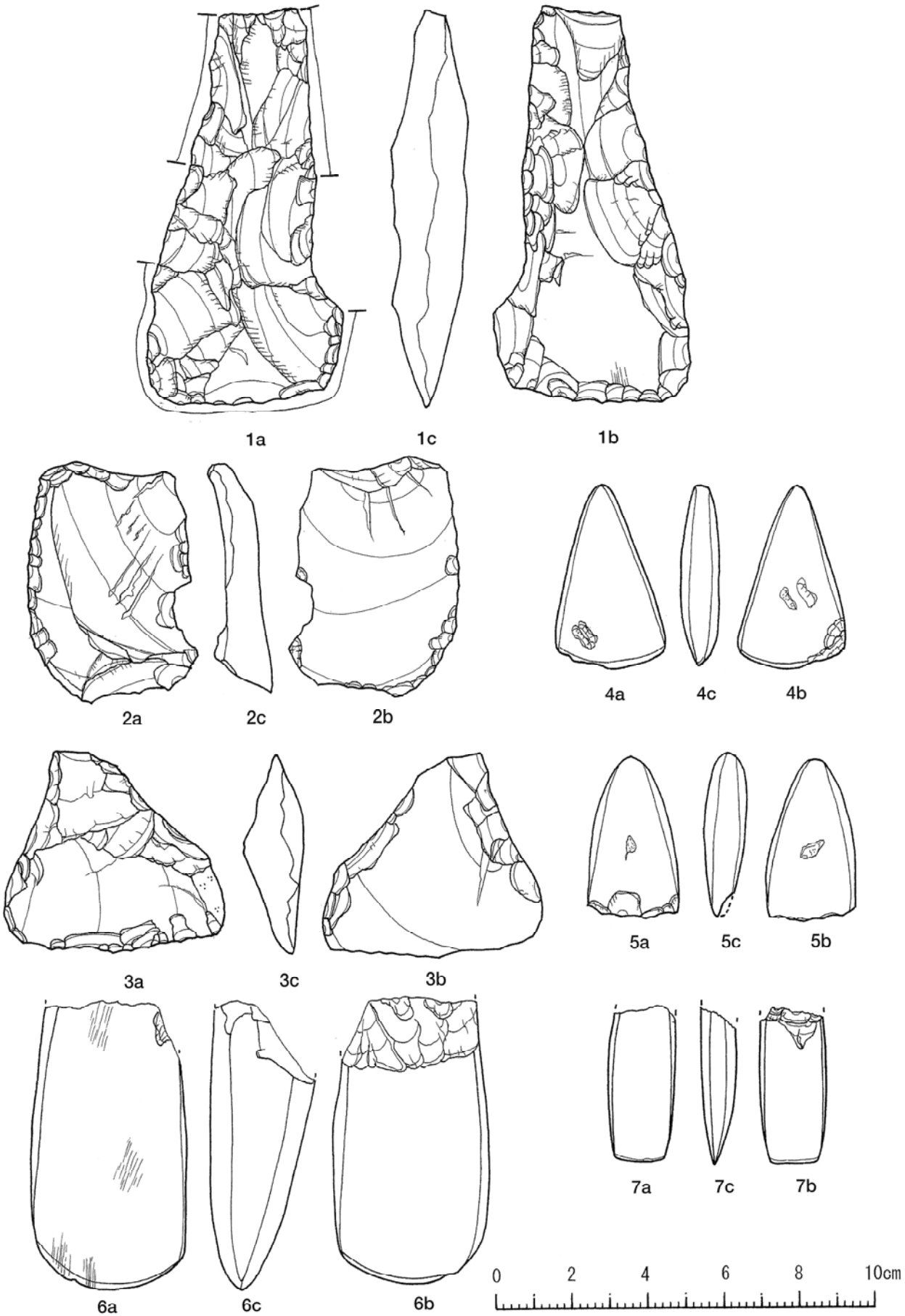
No	遺物名	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	重量（ｇ）	挿図番号	出土地区	遺物番号
1	動物型土製品	8.22	6.33	2.30	90	第16図5	HY4 P4	1
2	土　錘	4.66	3.42	1.69	30	第44図4	HY4	2
3	土　錘	3.52	2.41	2.08	20	第44図6	HY4 P4	3

第６表　野際遺跡出土石製品計測表

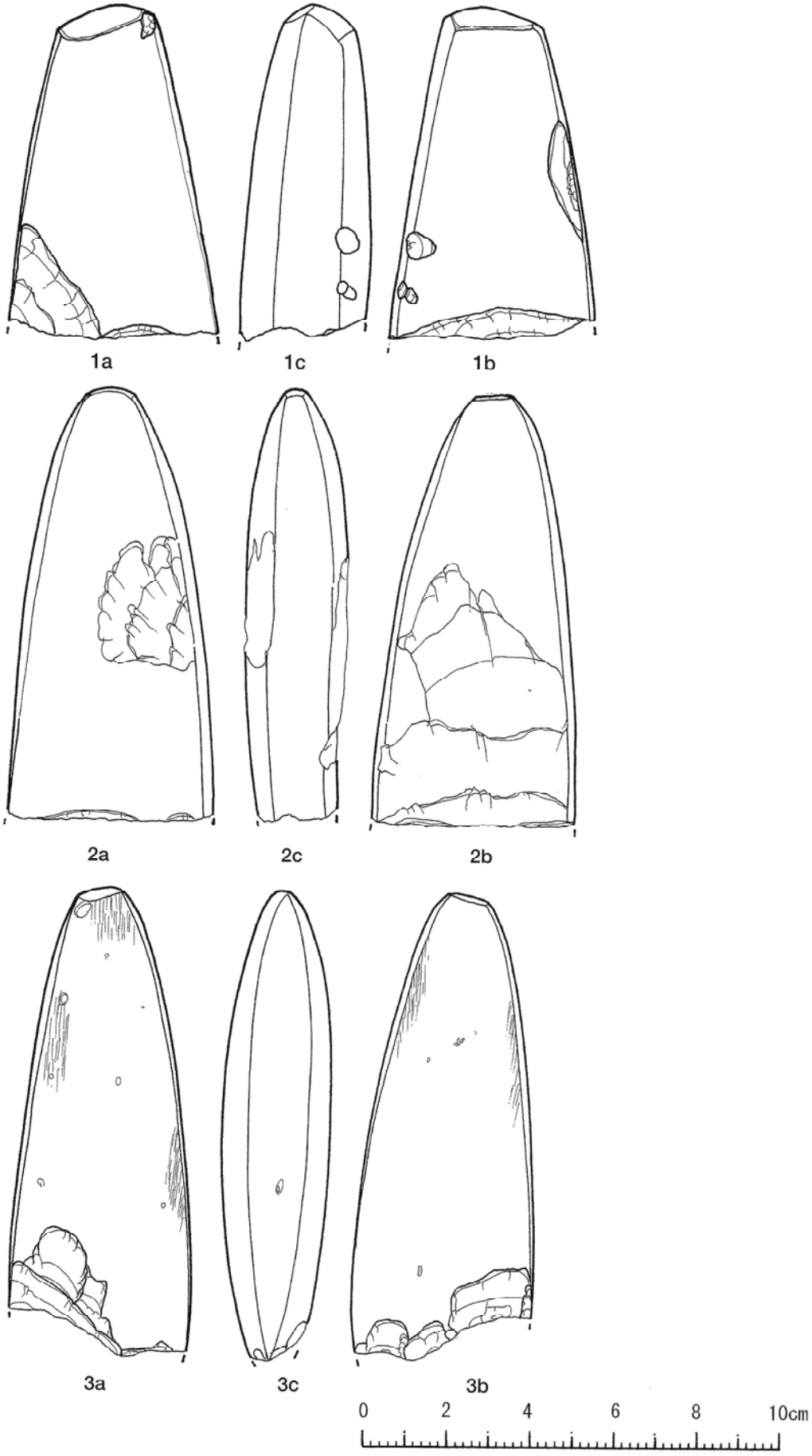
No	遺物名	石　材	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	重量（ｇ）	挿図番号	出土地区	遺物番号
1	石　錘	凝灰岩	4.27	2.98	2.03	30	第44図5	HY4 P4	6
2	石　剣	硬砂岩	5.26	1.72	1.83	15	第44図8	表採	9
3	石棒の頭部	硬砂岩	5.14	3.81	3.61	95	第44図7	HY2	7
4	円盤状石製品	安山岩	7.37	7.03	1.90	130	第45図2	66-54	10
5	円盤状石製品	安山岩	8.17	7.82	2.55	280	第45図1	DY1	12
6	円盤状石製品	安山岩	7.27	6.58	2.32	150		DY22	5
7	円盤状石製品	粗面岩	6.45	5.40	2.22	120		65-54	4
8	円盤状石製品	安山岩	6.04	5.37	1.83	85	第45図3	62-50	2
9	円盤状石製品	安山岩	4.65	4.65	1.75	58	第45図4	65-54	3
10	円盤状石製品	安山岩	5.41	5.34	1.43	60		62-50	1
11	円盤状石製品	安山岩	5.68	5.52	1.67	73		HY2 P7	16
12	円盤状石製品	安山岩	4.29	－	1.29	10		DY1	13
13	円盤状石製品	安山岩	5.62	5.44	1.32	58		HY2 P7	15
14	円盤状石製品	安山岩	6.38	6.18	1.52	90		KY1	11
15	石　棒	硬砂岩	2.98	2.83	7.20	10	第44図9	58-50	14
16	石　棒	安山岩	7.60	8.42	8.60	650	第45図5	DY16	8



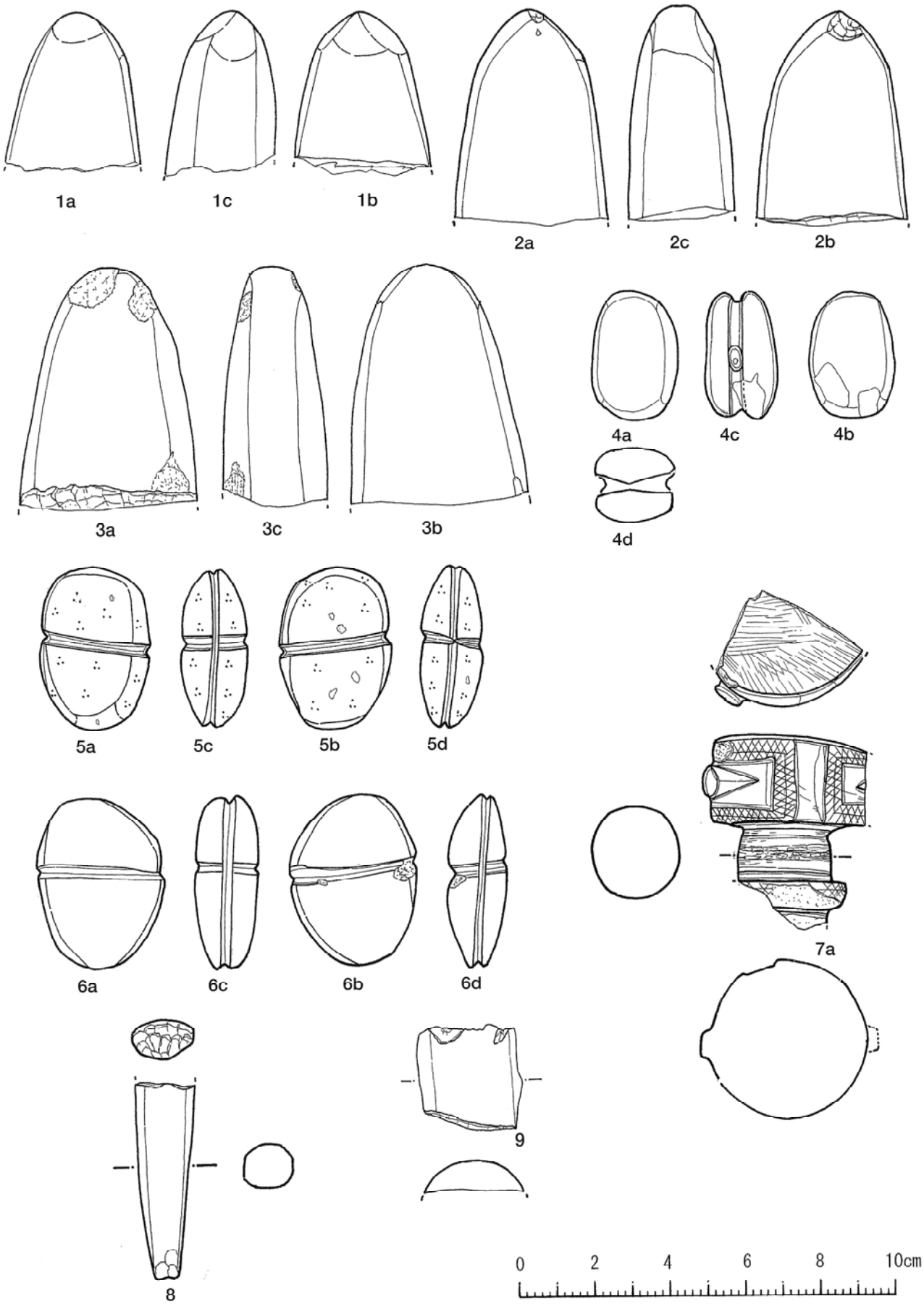
第41図　野際遺跡出土石器実測図(1)



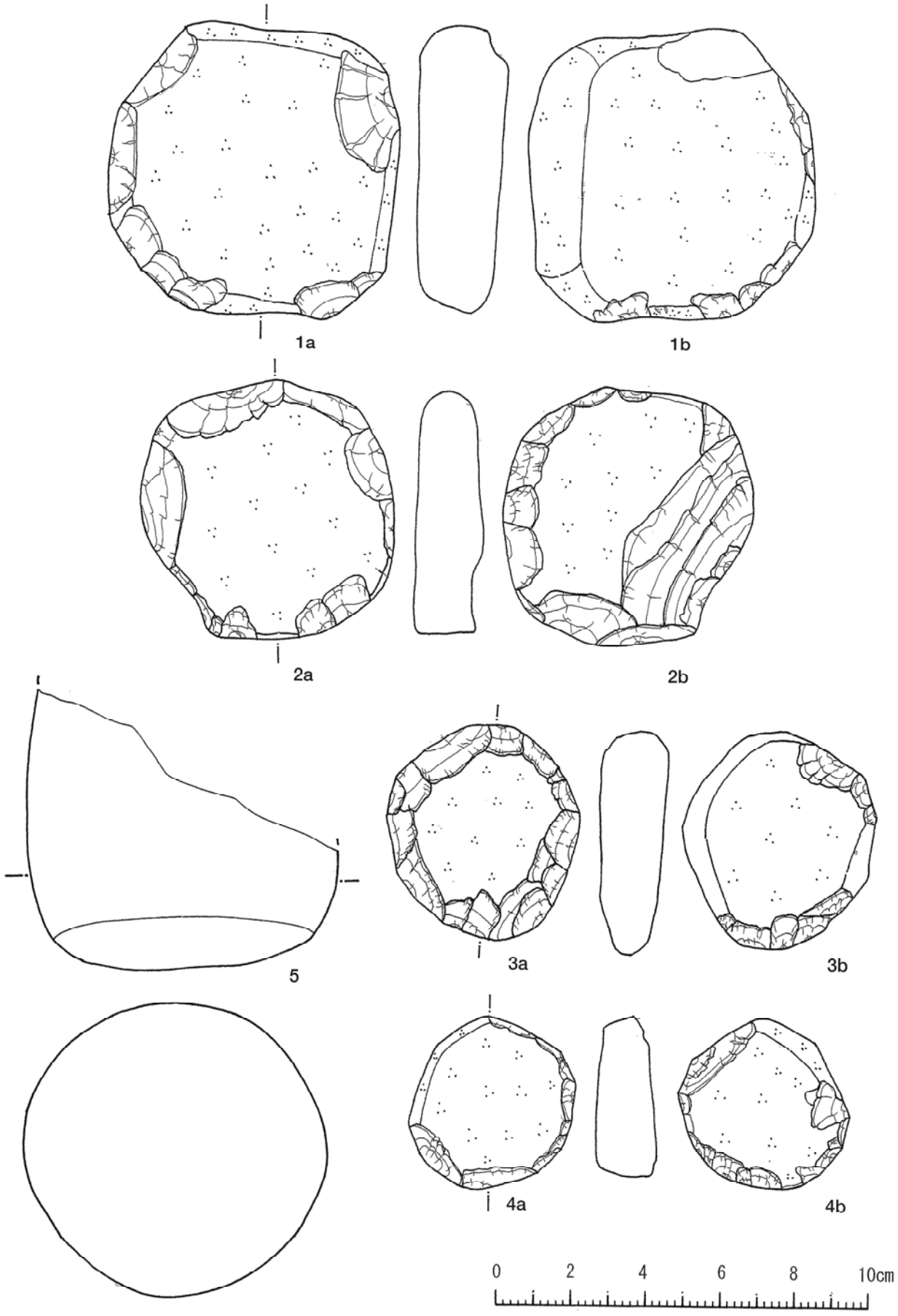
第 42 図　野際遺跡出土石器実測図 (2)



第 43 図　野際遺跡出土石器実測図 (3)



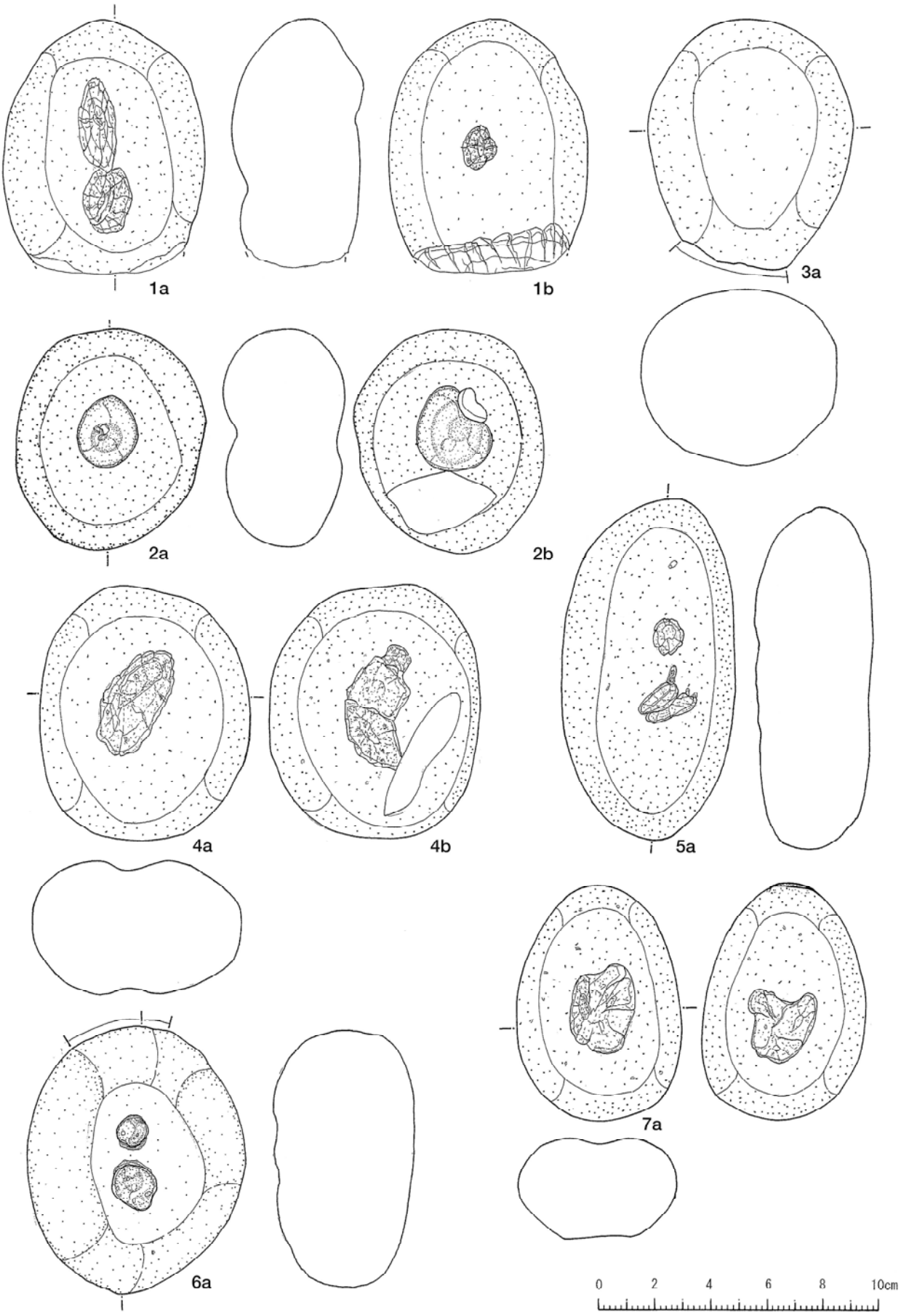
第44図　野際遺跡出土石器・土製品・石製品実測図(4)



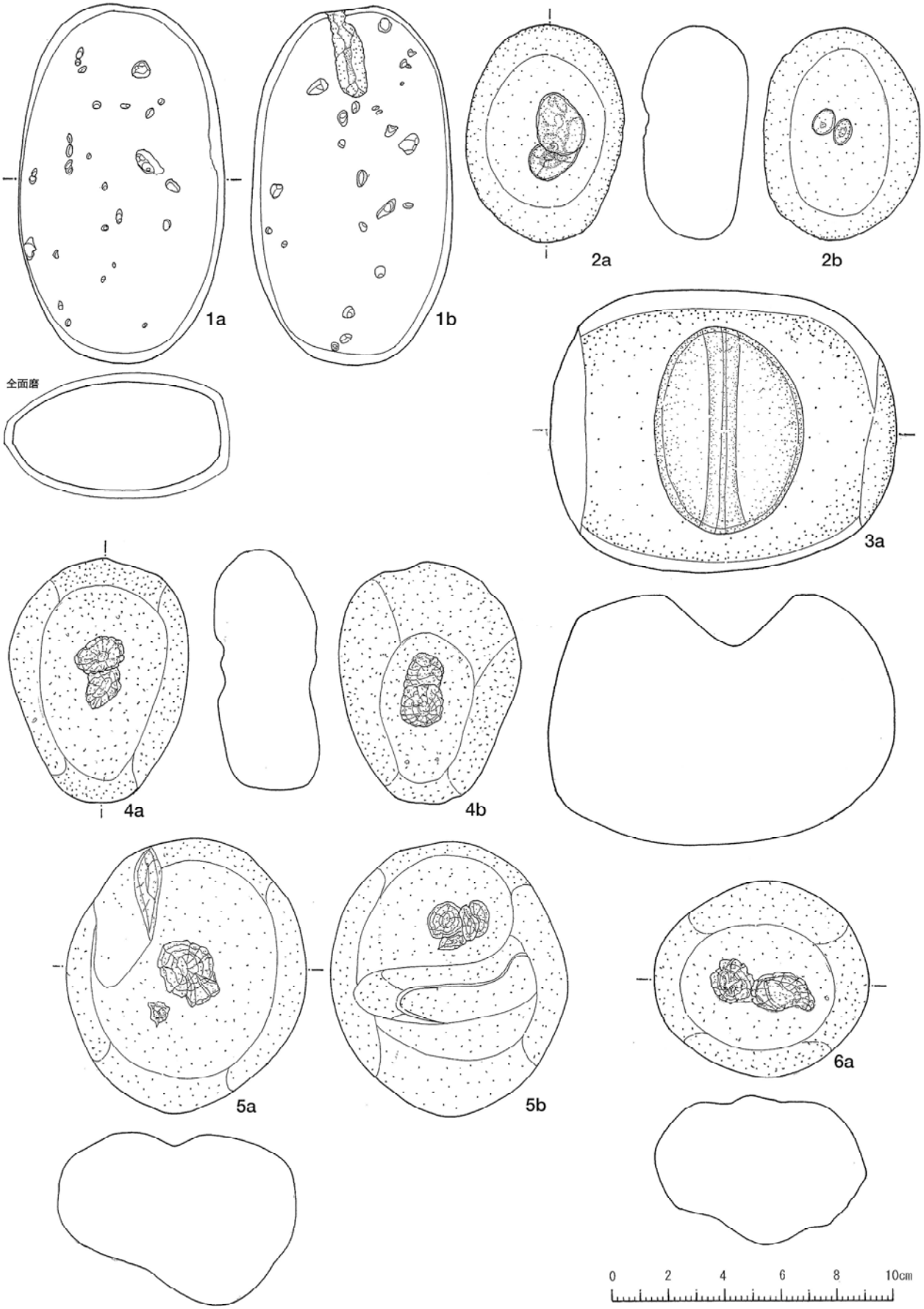
第 45 図　野際遺跡出土石製品実測図 (5)

第７表　野際遺跡出土礫器計測表

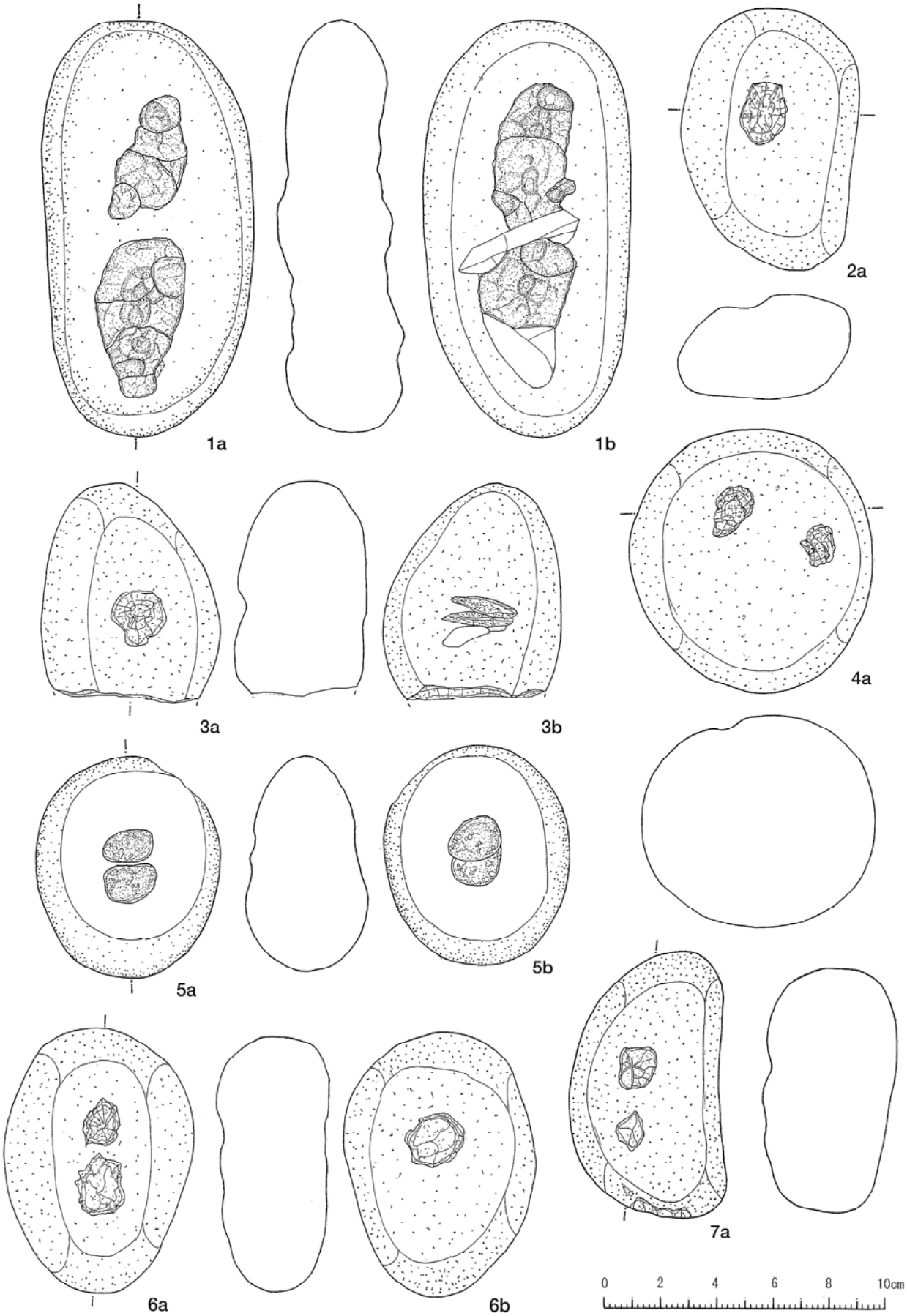
No	形　態	細類	石　材	長さ(㎜)	幅(㎜)	厚さ(㎜)	重量(ｇ)	挿図番号	出土地区	遺物番号
1	敲　石	c	安山岩	87	67	43	390	第46図 1	KY1B区	29
2	敲　石	c	砂　岩	75	65	38	300	第46図 2	HY3	42
3	敲　石	a	安山岩	86	72	62	580	第46図 3	KY1D区	27
4	敲　石	c	安山岩	88	75	46	420	第46図 4	66-54	49
5	敲　石	a	安山岩	125	61	40	470	第46図 5	DY18	51
6	敲　石	a	安山岩	92	77	45	520	第46図 6	表採	50
7	敲　石	a	安山岩	81	57	38	240	第46図 7	表採	14
8	磨　石	a	溶　岩	126	72	38	345	第47図 1	HY2	31
9	敲　石	a	安山岩	76	57	33	215	第47図 2	DY67	54
10	敲　石	f	安山岩	98	125	88	1850	第47図 3	66-54	15
11	敲　石	c	安山岩	85	62	32	275	第47図 4	46-54 2F	19
12	敲　石	c	安山岩	95	82	57	415	第47図 5	46-57 2F下	16
13	敲　石	c	安山岩	64	75	58	390	第47図 6	DY29	37
14	敲　石	d	砂　岩	147	72	38	500	第48図 1	KY1C区	18
15	敲　石	a	安山岩	93	63	42	400	第48図 2	KY1B区	28
16	敲　石	c	安山岩	78	62	39	260	第48図 3	表採	10
17	敲　石	a	安山岩	90	85	74	850	第48図 4	AZ11	58
18	敲　石	c	安山岩	78	64	40	330	第48図 5	50-54 2F	68
19	敲　石	c	安山岩	91	63	33	320	第48図 6	表採	13
20	敲　石	c	安山岩	94	52	52	420	第48図 7	58-46 2F	36
21	敲　石	d	凝灰岩	117	57	33	250	第49図 1	50-58 2F	24
22	敲　石	c	凝灰岩	82	74	41	390	第49図 2	58-46 2F	35
23	敲　石	a	安山岩	97	71	60	580	第49図 3	HY1 P5	40
24	敲　石	a	安山岩	105	86	36	495	第49図 4	表採	12
25	敲　石	c	安山岩	102	71	33	410	第49図 5	表採	8
26	敲　石	a	安山岩	91	66	47	460	第49図 6	HY1	44
27	敲　石	d	安山岩	84	83	36	350	第50図 1	表採	5
28	敲　石	d	安山岩	109	77	47	435	第50図 2	表採	11
29	磨　石	b	安山岩	150	66	61	790	第50図 3	54-46	47
30	敲　石	d	砂　岩	113	74	30	420	第50図 4	KY1D区	26
31	磨　石	a	安山岩	85	93	72	830	第50図 5	HY2	30
32	敲　石	a	安山岩	91	47	41	350	第50図 6	HY2	32
33	台　石		凝灰岩	109	130	45	760	第51図 1	KY1B区	46
34	台　石		砂　岩	250	165	40	3000	第51図 2	46-57	1



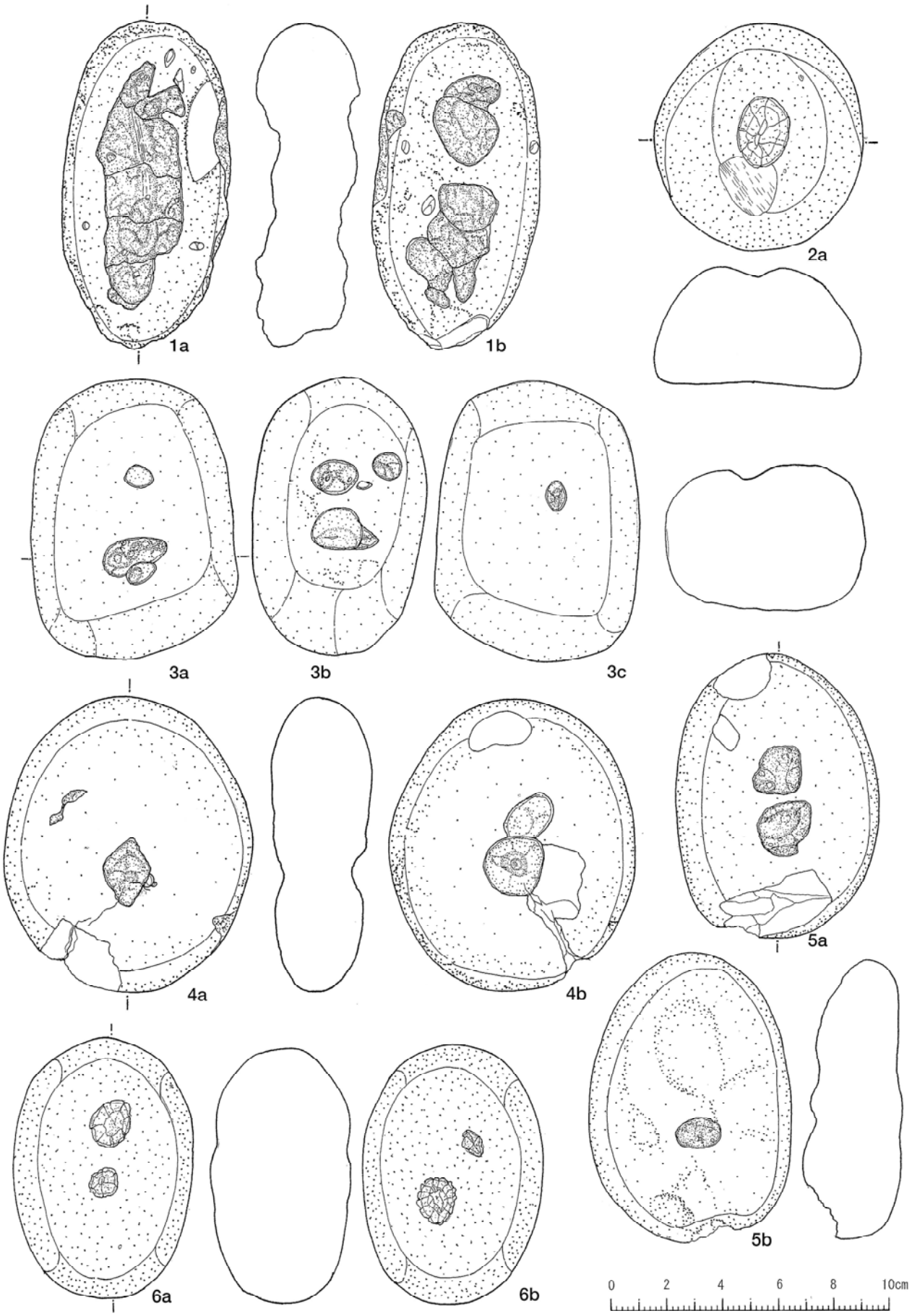
第46図　野際遺跡出土礫器実測図【1】



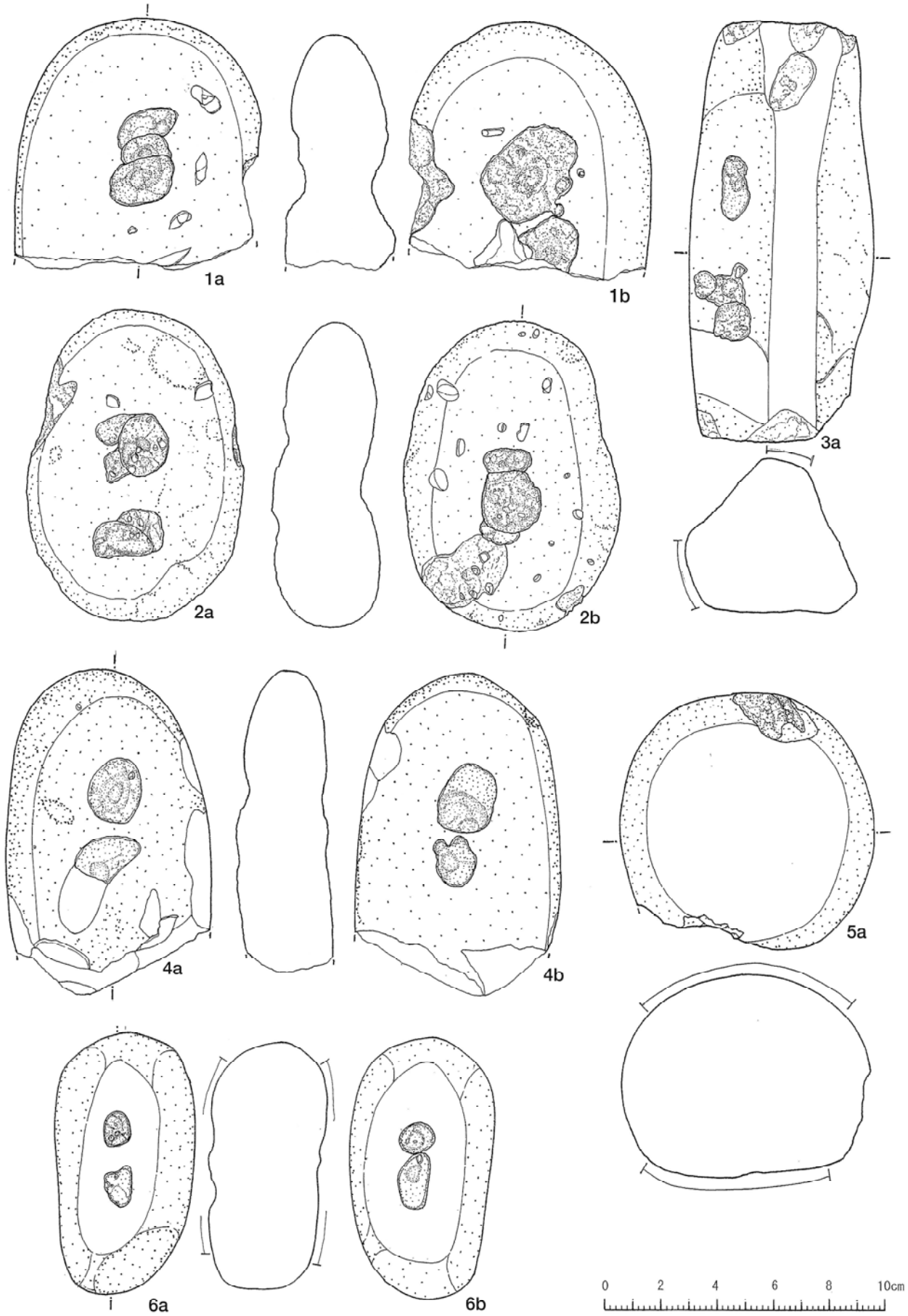
第47図　野際遺跡出土礫器実測図【2】



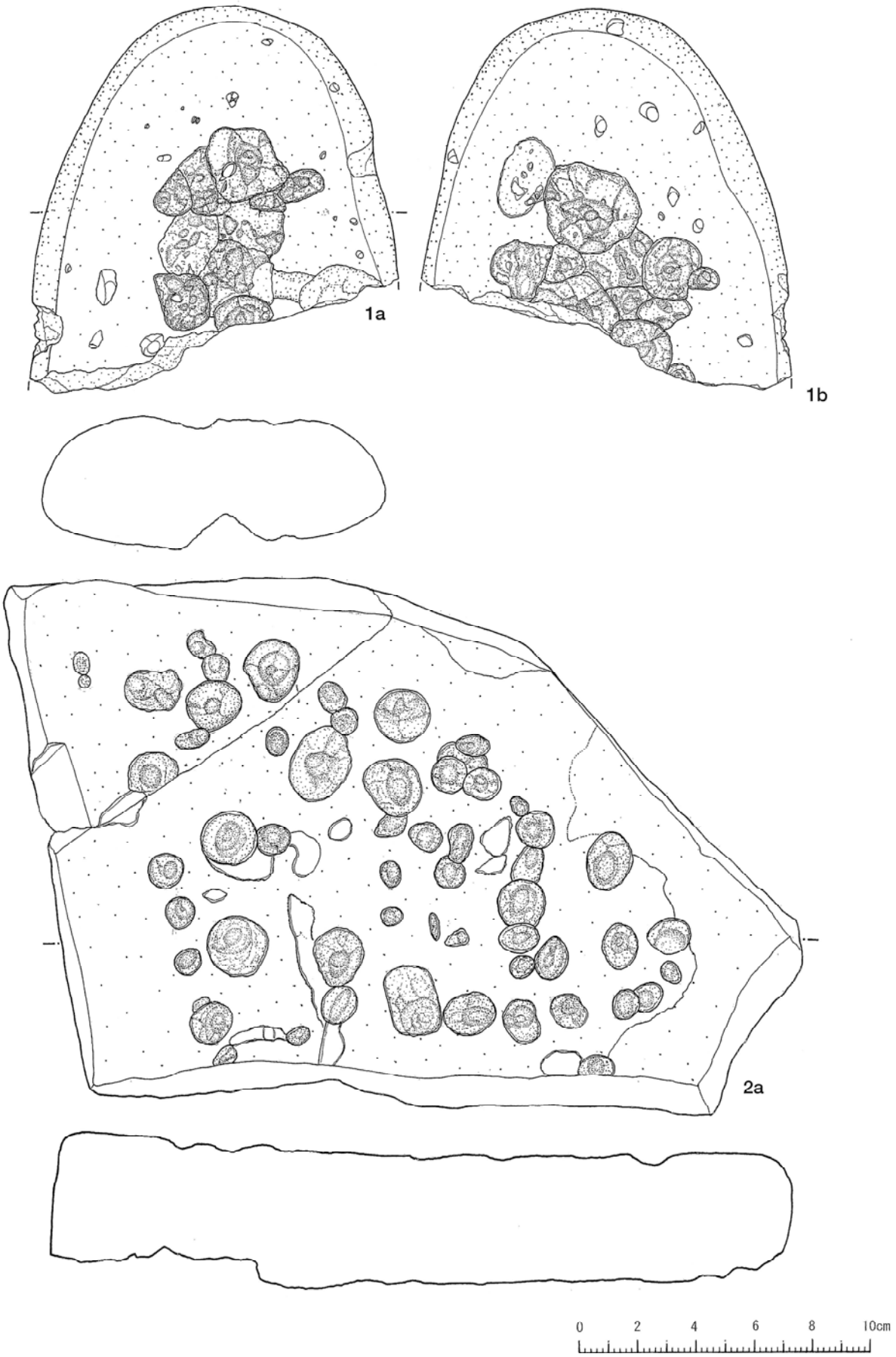
第 48 図　野際遺跡出土礫器実測図【3】



第49図　野際遺跡出土礫器実測図【4】



第 50 図　野際遺跡出土礫器実測図【5】



第５１図　野際遺跡出土礫器実測図【6】

Ⅴ　まとめ

今回の調査によって検出された遺構・遺物は、当市において空白を埋める貴重な資料となった。

第８表で示したのは米沢市の縄文土器編年表であり、今回の調査資料を加えることで、後期と晩期のつながる箇所が埋まり、完成したと言ってよい。

土器群は瘤付土器の第Ⅳ段階の特徴を持つものであり、縄文晩期の亀ヶ岡式土器の成立に重要な役割を果たした土器群として注目されてきた土器様式である。

瘤付土器の出現は、縄文後期後葉期にあたる十腰内Ⅲ式～Ⅴ式に伴うもので、瘤付様式第Ⅰ段階～第Ⅳ段階に区別されている。

野際遺跡から出土した瘤付土器は、晩期に継続している点が注目される。当市においてもまとまって検出された瘤付土器としては、今回初めてとなるものであった。

更に、瘤付土器に伴う竪穴住居跡も県内では少ない資料である。竪穴住居跡はＨＹ３、４が後期末葉、ＨＹ１、２が晩期初頭に位置づけられる。平面形状から見れば後期末葉が隅丸方形、晩期初頭が円形状を呈し、炉も方形から円形へと変容する様相が認められた。

埋設土器は調査区の北東及び南西に集中し、北東部は縄文後期、南西部は縄文晩期の土器群であった。大半が後世の削平によって、口縁部等が無くなっていた。

遺物で注目されるのは、装飾を施した石棒である。大半は意図的に破壊されたもので、僅かに頭部の装飾部分が検出された。

こうした祭祀遺物を破壊することは、縄文社会ではしばしば見られる検出例である。今回出土した石棒の装飾帯に瘤を意識した文様が描かれていることで、縄文後期末葉の遺物であることを示している。

石棒、石剣、石刀は東北地方を中心とする縄文後期から晩期にかけて検出される祭祀用の石製品であり、中国の春秋戦国時代の青銅刀に類似するものが含まれることなどから縄文時代の東北と大陸の交流を示唆する考え方もある。

最後に、野際遺跡全体について述べる。今回の調査では縄文早期～晩期までの土器が検出されていることで、大規模な複合集落の可能性がある。

地形の状況から早期・前期は遺跡の中央部から東側、中期は中央部から西側に、そして後期は河川の水辺に沿って集落を配置していたものと考えられる。更に晩期は後期の集落より僅かに高い段丘上に集落を配置していたものと推測される。

このように、野際遺跡は縄文各時期が複合する遺跡であり、縄文人にとって恵まれた環境の地域であったことを物語っている。

中世に構築されたと考えられる、方形城館跡の存在も明らかになった。南方に位置する上谷地館跡との関連が注目される。

末尾に、今回の調査に対して便宜を図っていただいた、網代建設株式会社及びご協力を賜った地元の方々に対し心から感謝申し上げます。

更に、炎天下の中、発掘調査に従事された作業員のみなさんご苦労さまでした。

第８表　米沢市の縄文土器編年表

1万年前		米沢市の代表的縄文土器	米　沢	東北南部	東北北部	関　東	中部（新潟）・北陸
	草創期				大平山元Ⅰ	後野	
				日向Ⅰ		橋立Ⅰ	
			（＋）	一ノ沢Ⅰ		花見山	小瀬ガ沢１
						西鹿田	
				火箱岩	鶴平	西谷	
8,000				一ノ沢Ⅱ	竜泉新洞	大谷寺	小瀬ガ沢２
	早期		＋	一ノ沢Ⅳ		井草Ⅰ	
			＋	一ノ沢Ⅴ		大丸　井草Ⅱ	室屋Ⅰ
			＋	尼子		夏島	室屋Ⅱ
			桑山Ⅰ	竹之内Ⅰ	日計	稲荷台	
			＋	竹之内Ⅱ		大浦山　稲荷原　花輪台	
			＋			平坂　善門寺	小瀬ガ谷３
			桑山Ⅱ	大平	白浜	三戸	卯ノ木
			桑山Ⅲ	須刈田	小船渡平	田戸下層	＋　桜峠
			桑山Ⅳ	大寺　常世	物見台	田戸上層	
			法将寺　桑山Ⅴ	明神裏Ⅲ		小母口	
			桑山Ⅵ	槻木Ⅰ	ムシリⅠ	野島	
			桑山Ⅶ	素山Ⅱ	赤御堂	鵜ケ島台	
			横山Ⅰ	上川名Ⅰ		茅山下層	
			横山Ⅱ			茅山上層	
			＋			＋	
			＋	梨木畑	早稲田Ⅴ	＋　打越Ⅰ	
			慶治清水Ｂ			神之木台　打越Ⅱ	
6,000			板谷Ⅰ	船入島下層	長七谷地	下吉井	佐波
	前期		塔之原				
			八幡原Ｂ　窪平Ⅰ	上川名Ⅱ	尾鮫	花積下層	
			松原　窪平Ⅱ	桂島	表館	関山Ⅰ（二ツ木）	極楽寺　布目
			一ノ坂		深郷他	関山Ⅱ	
			板谷Ⅱ	大木１	円筒下層a	黒浜Ⅰ	
			板谷Ⅲ	大木２a	円筒下層b1	黒浜Ⅱ	朝日Ｃ　刈羽
			笊籬Ｂ	大木２b		黒浜Ⅲ	
			＋	大木３	円筒下層b2	諸磯a 浮島Ⅰ	福浦下層
			八幡堂	大木４	円筒下層c	諸磯b 浮島Ⅱ	
			八幡原ＡⅤ	大木５	円筒下層d1	諸磯c 浮島Ⅲ	鍋屋町Ⅰ　蜆ガ森
			八幡原ＡⅣ	大木６古	円筒下層d2	十三菩提　興津	鍋屋町Ⅱ　朝日下層
5,500			八幡原ＡⅢ	大木６新			
	中期		台ノ上Ⅰ	糠塚		五領ケ谷Ⅰ　下小野	上野　新保
			台ノ上Ⅱ　竹井境ＡⅠ	大木７a	円筒上層a	五領ケ谷Ⅱ　阿玉台Ⅰ	新崎
			成島Ⅰ　台ノ上Ⅲ			勝坂Ⅰ　阿玉台Ⅱ	
			成島Ⅱ　台ノ上Ⅳ	大木７b	円筒上層b	勝坂Ⅱ　阿玉台Ⅲ	長者原　上山田
			成島Ⅲ　台ノ上Ⅴ	大木８a	円筒上層c～	勝坂Ⅲ　阿玉台Ⅳ　加曾利Ｂ	馬高１　古府
			台ノ上Ⅵ	大木８b	榎林Ⅰ	加曾利ＥⅡ	馬高２　串田新
			台ノ上Ⅶ	大木９a	榎林Ⅱ	加曾利ＥⅢ	馬高３
			窪Ⅰ	大木９b	中の平Ⅲ		馬高４
			大清水　窪Ⅱ　花沢Ａ	大木10a		加曾利ＥⅣ	
			横壇Ａ　八幡原Ｂ	大木10b		加曾利ＥⅤ	
4,000			竹井境ＡⅡ	大木10c			
	後期		横山Ⅲ　大樽Ⅰ	網取Ⅰ	門前	称名寺	
			竹井境ＡⅢ　大樽Ⅱ	網取Ⅱ	袖窪	堀之内Ⅰ	三十稲葉
			竹井境ＡⅣ	南境	十腰内Ⅰ	堀之内Ⅱ	
			竹井境ＡⅤ		十腰内Ⅱ	加曾利ＢⅠ	三仏生
			佐沢Ⅰ	宝ケ峰	十腰内Ⅲ	加曾利ＢⅡ	
			佐沢Ⅱ			加曾利ＢⅢ	
			佐沢Ⅲ	西ノ浜	十腰内Ⅳ	曾谷	
			上ノ町			安行Ⅰ	
3,000			野際	金剛寺	十腰内Ⅴ	安行Ⅱ	上山
	晩期		普門院　野際	大洞Ｂ1・Ｂ2	大洞Ｂ1・Ｂ2	安行Ⅲa	御経塚
			清水北Ｃ	大洞ＢＣ	大洞ＢＣ	安行Ⅲb　姥山	石倉　中屋
			丹南Ⅰ	大洞Ｃ1	大洞Ｃ1	安行Ⅲc　前浦Ⅰ	
			丹南Ⅱ	大洞Ｃ2	大洞Ｃ2	安行Ⅲd　前浦Ⅱ	朝日Ⅱ　下野
			杢代Ⅰ	大洞Ａ	大洞Ａ	杉田Ⅱ　千網	鳥屋
			杢代Ⅱ	大洞Ａ'	大洞Ａ'	荒海	
2,000				福浦島下層	砂沢		
		弥　生　時　代					

参　考　文　献

1969　安孫子　昭二　　東北地方における縄文後期後半の土器様式
～所謂「コブ付土器」の編年～
石器時代第９号

1975　米沢市教育委員会　　米沢市埋蔵文化財調査報告書　第１～３集
米沢市八幡原中核工業団地造成予定地内の遺跡群

1984　米沢市教育委員会　　米沢市埋蔵文化財調査報告書　第 11 集
左沢遺跡

1995　米沢市教育委員会　　米沢市埋蔵文化財調査報告書　第 47 集
遺跡詳細分布調査報告書　第８集
第８節　上谷地Ｂ遺跡

1998　米沢市教育委員会　　米沢市埋蔵文化財調査報告書　第 61 集
遺跡詳細分布調査報告書　第 11 集　杢代遺跡の発掘調査

1999　米沢市教育委員会　　米沢市埋蔵文化財調査報告書　第 63 集
上谷地Ｄ遺跡発掘調査報告書

報 告 書 抄 録

ふりがな	のぎわ　いせき
書名	野　際　遺　跡
副書名	
巻次	
シリーズ名	米沢市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第90集
編著者名	菊地政信
編集機関	米沢市教育委員会
所在地	〒992-0012 山形県米沢市金池三丁目1－55号 TEL（0238）22-5111
発行年月日	西暦2006年3月31日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
野際（のぎわ）	山形県（やまがたけん）米沢市（よねざわし）大字川井（おおあざかわい）字上谷地（あざかみやち）315番地	6202	米沢市遺跡番号A-78	37度54分56秒	140度9分35秒	20050606～20050715	1,470	宅地造成に伴う発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
野　際	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡 土壙群 墓壙群	縄文土器 瘤付土器	縄文時代後期末葉から晩期初頭に併行する竪穴住居跡4棟が確認された。

写　真　図　版

▲ 調査区遠景（南西から）水田が河川跡

▲ 調査区全景（東方から）

▲ HY2 プラン確認状況（北東から）

▲ HY2 近景（西南から）

▲ DY8 半裁状況（南方から）

▲ HY2 セクション状況（西方から）

▲ 調査風景（北東から）

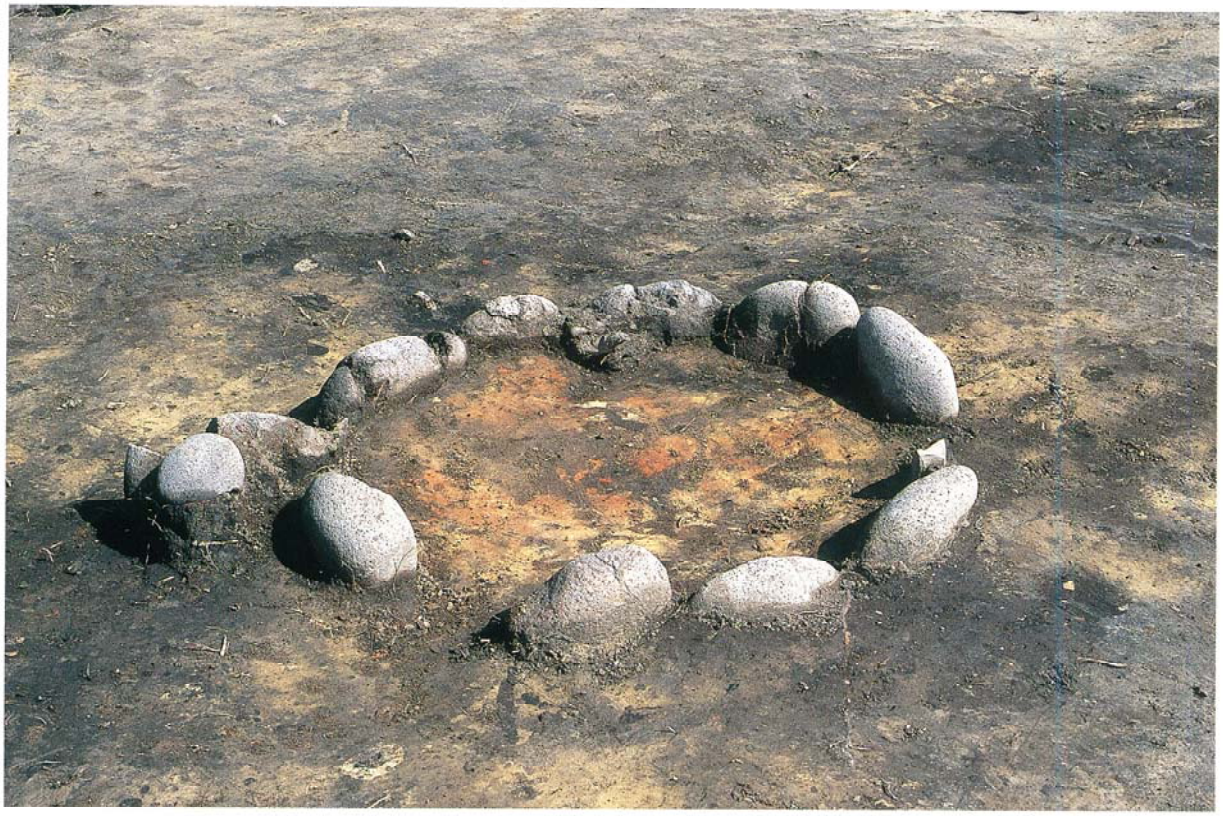
▲ HY1、4全景（北東から）

▲ HY1 石囲炉確認状況（東方から）

▲ HY2 石囲炉近景（南方から）

▲ MY10、13 出土状況（南方から）

▲ HY2 石囲炉半裁状況（東南から）



▲ HY2 石囲炉近景（南方から）

▲ HY2 床面石棒頭部出土状況（南方から）

▲ HY3 完掘状況（南西から）

▲ HY3 石囲炉（東南から）

▲ 北西部包含層掘り下げ状況（東方から）

▲ HY3 石囲炉確認状況（東方から）

▲ DY42 半裁状況（南方から）

▲ DY60 遺物出土状況（南東から）

▲ DY10 完掘状況（南方から）

▲ HY2、MY16 出土状況（南方から）

▲ KY1 北方部プラン確認状況（東方から）

▲ KY1 東方部掘り下げ状況（南方から）

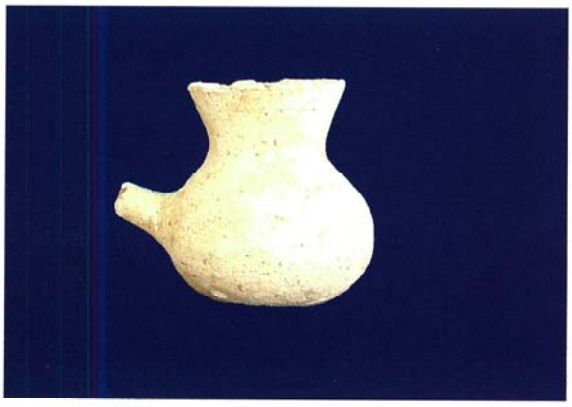
第十三図版　野際遺跡出土土製品・石製品

▲ 動物型土製品

▲ 石棒頭部の装飾

▲ 土錘

第十四図版　野際遺跡出土復元土器（一）

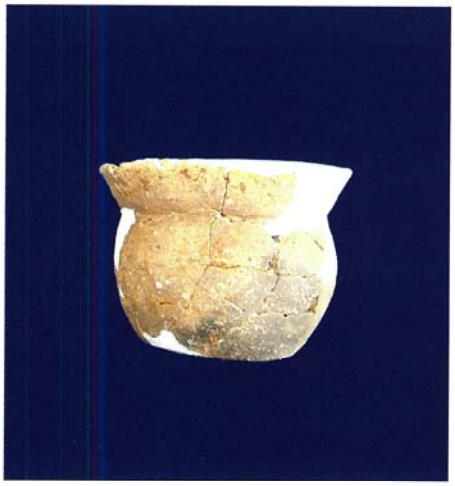


▲1

▲2

▲3

▲4



▲5

▲6

▲7

▲8

▲9

第十五図版　野際遺跡出土復元土器（二）

▲1

▲2

▲3

▲4

▲5

▲6

▲7

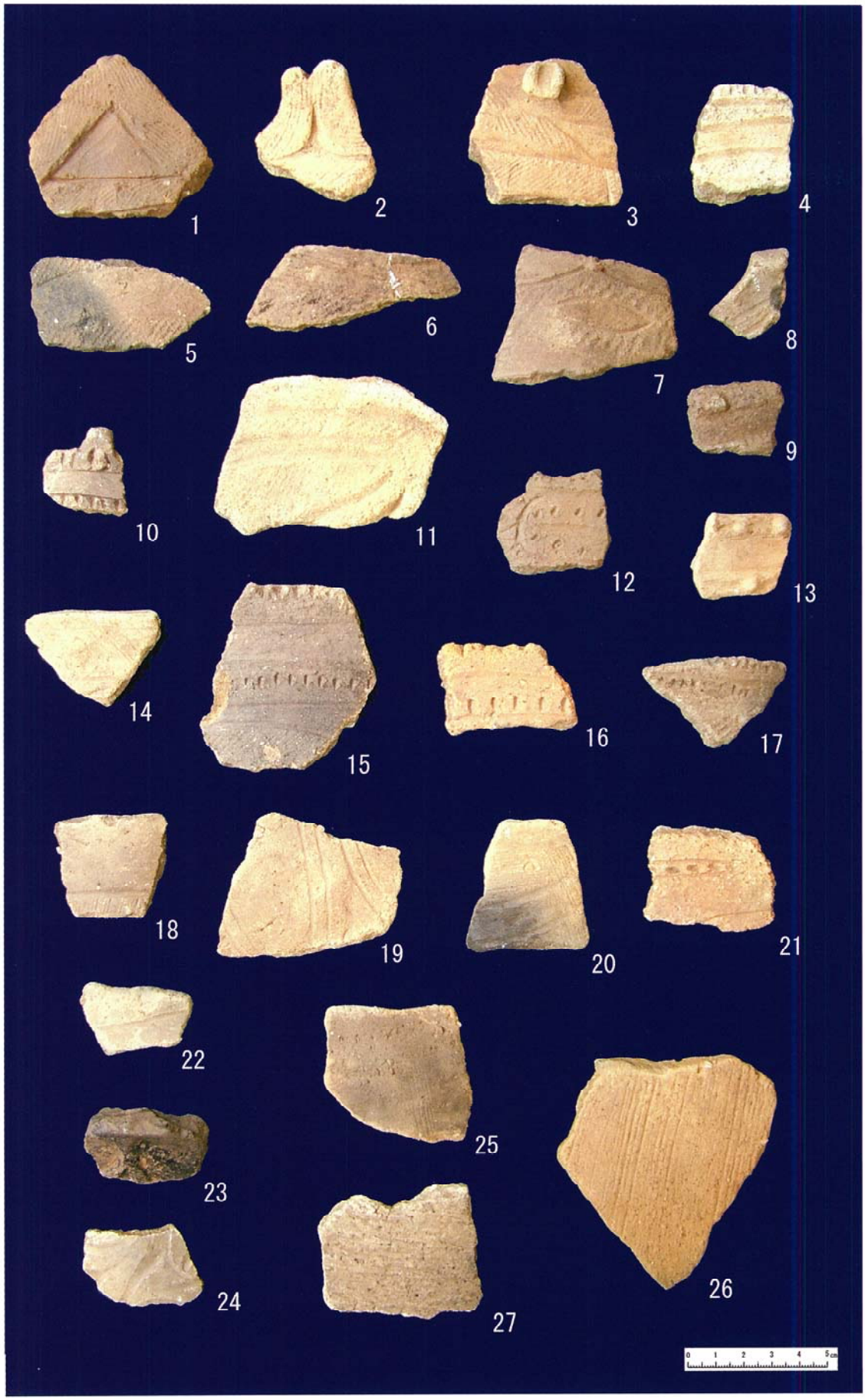
▲8

第十六図版　野際遺跡出土復元土器（三）

▲1

▲2

▲3

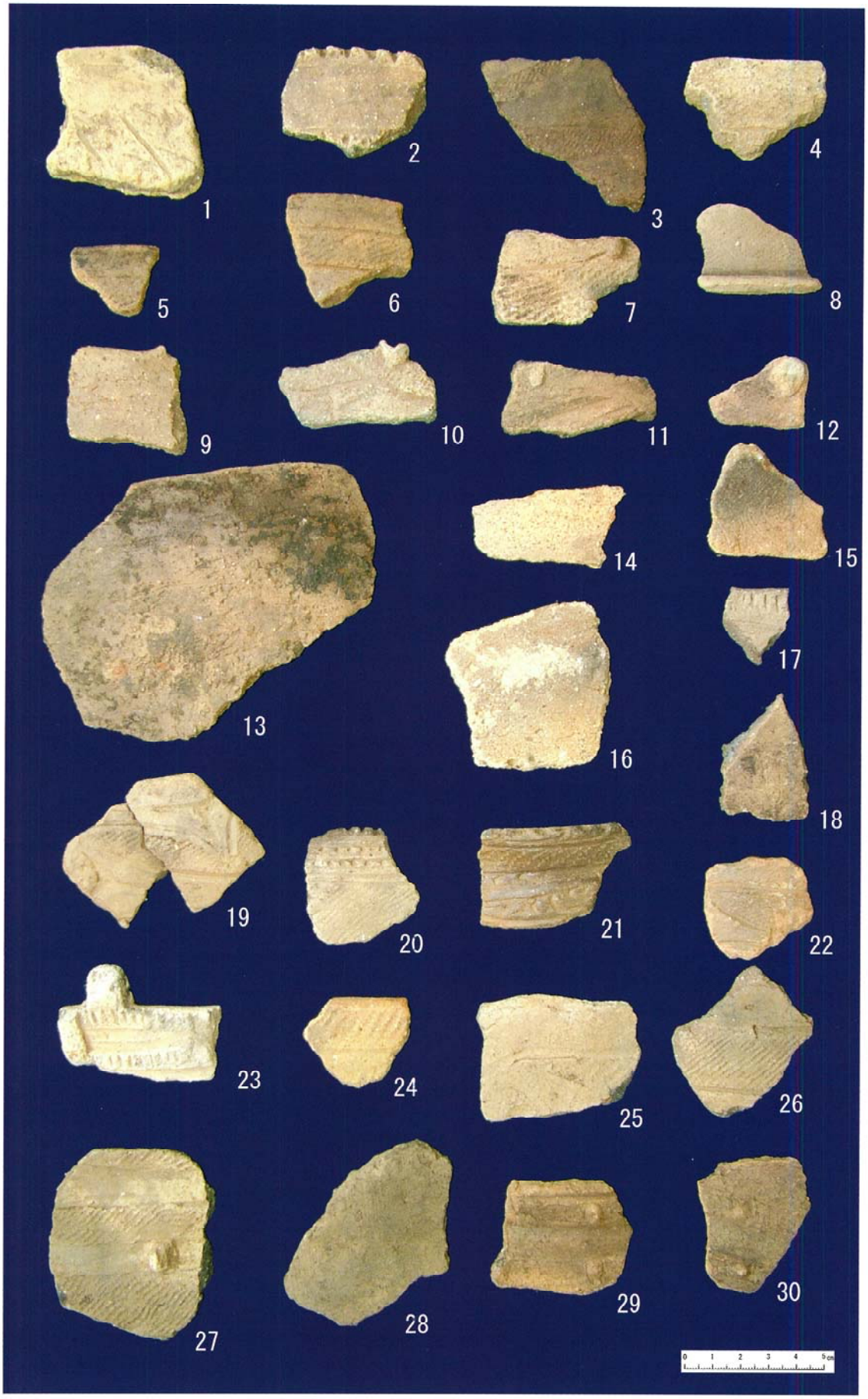


第十七図版　野際遺跡出土土器（一）

第十八図版　野際遺跡出土土器（二）

第十九図版　野際遺跡出土土器（三）

第二十図版　野際遺跡出土土器（四）

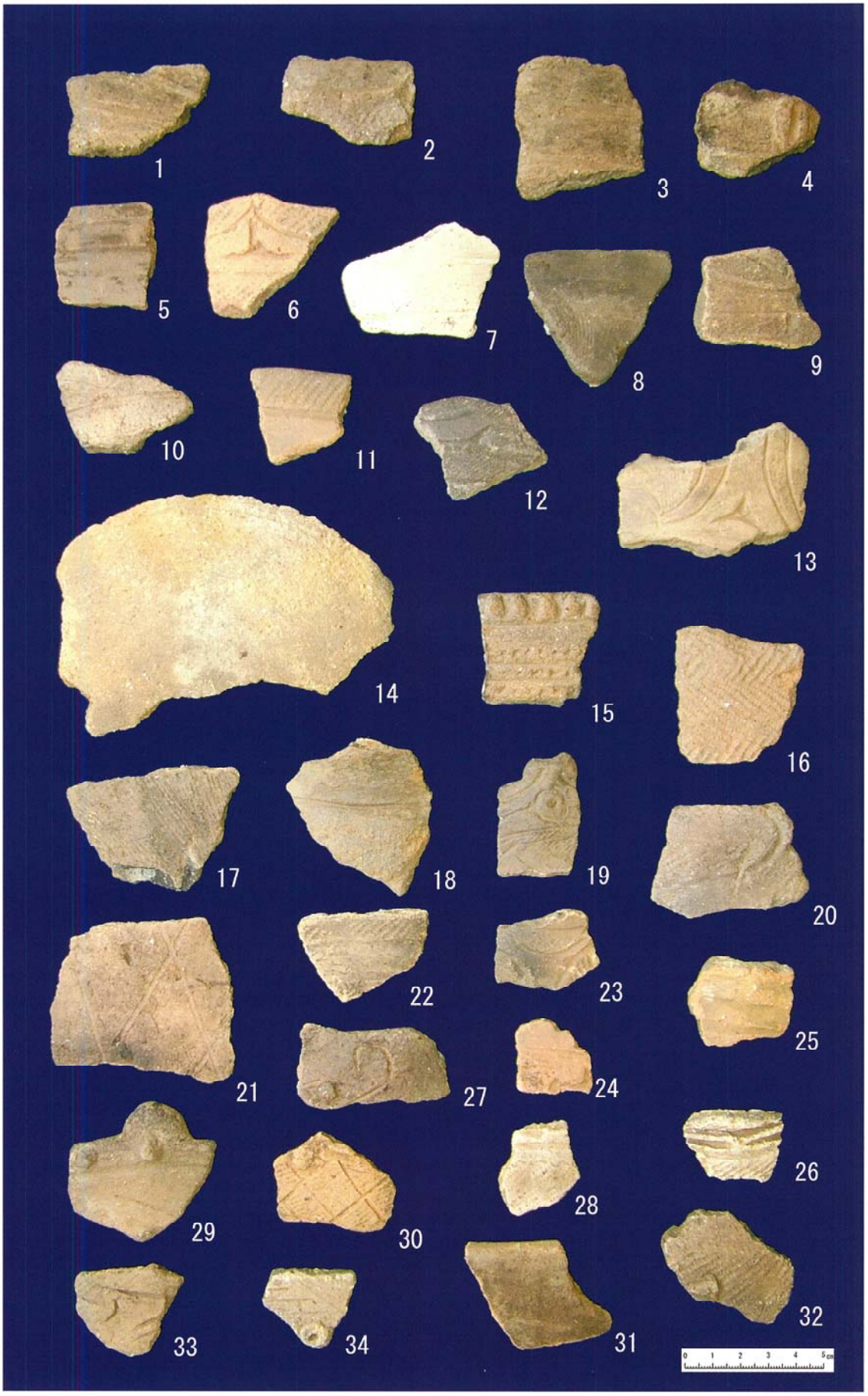


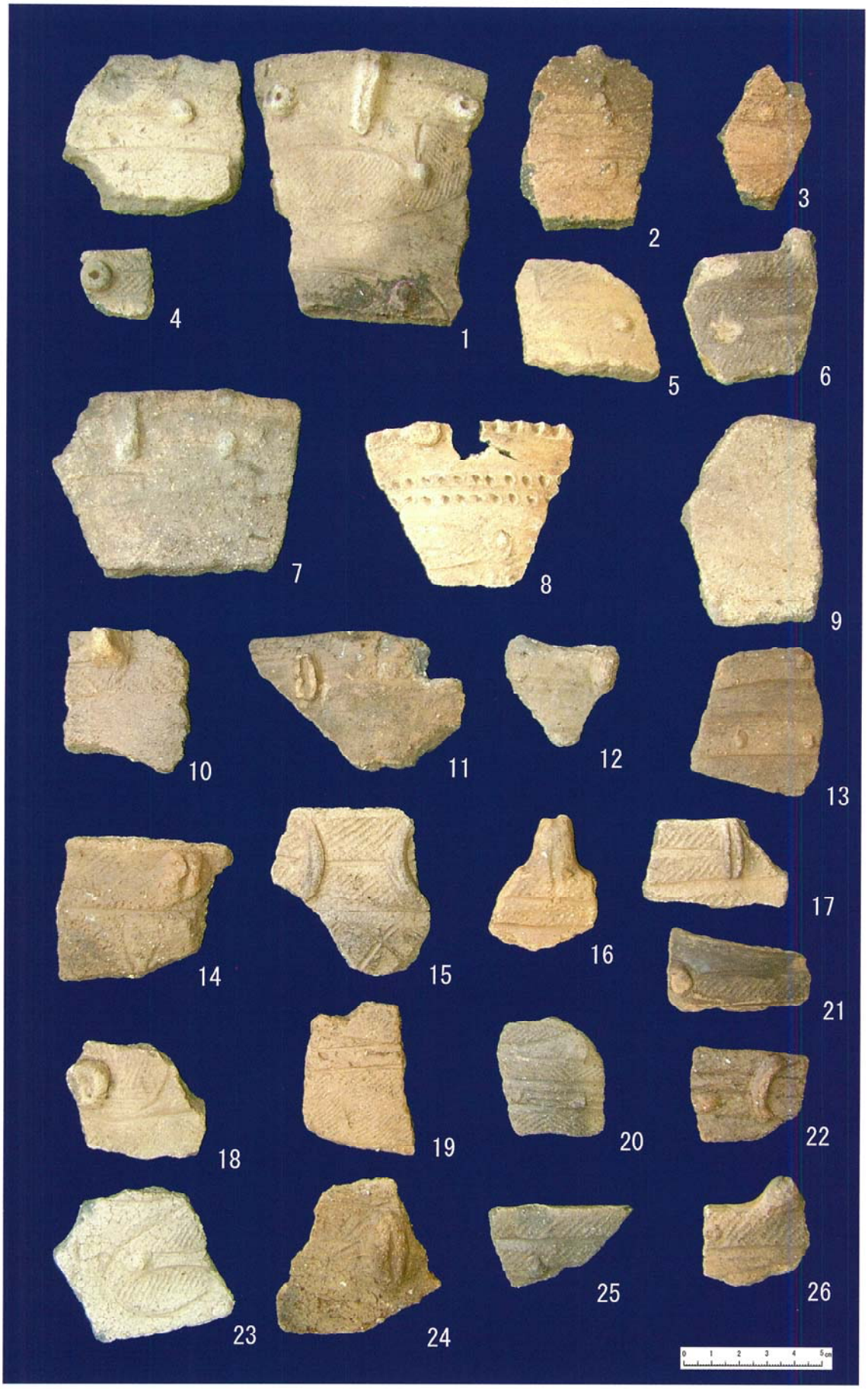
第二十一図版　野際遺跡出土土器（五）

第二十二図版　野際遺跡出土土器（六）

第二十三図版　野際遺跡出土土器（七）

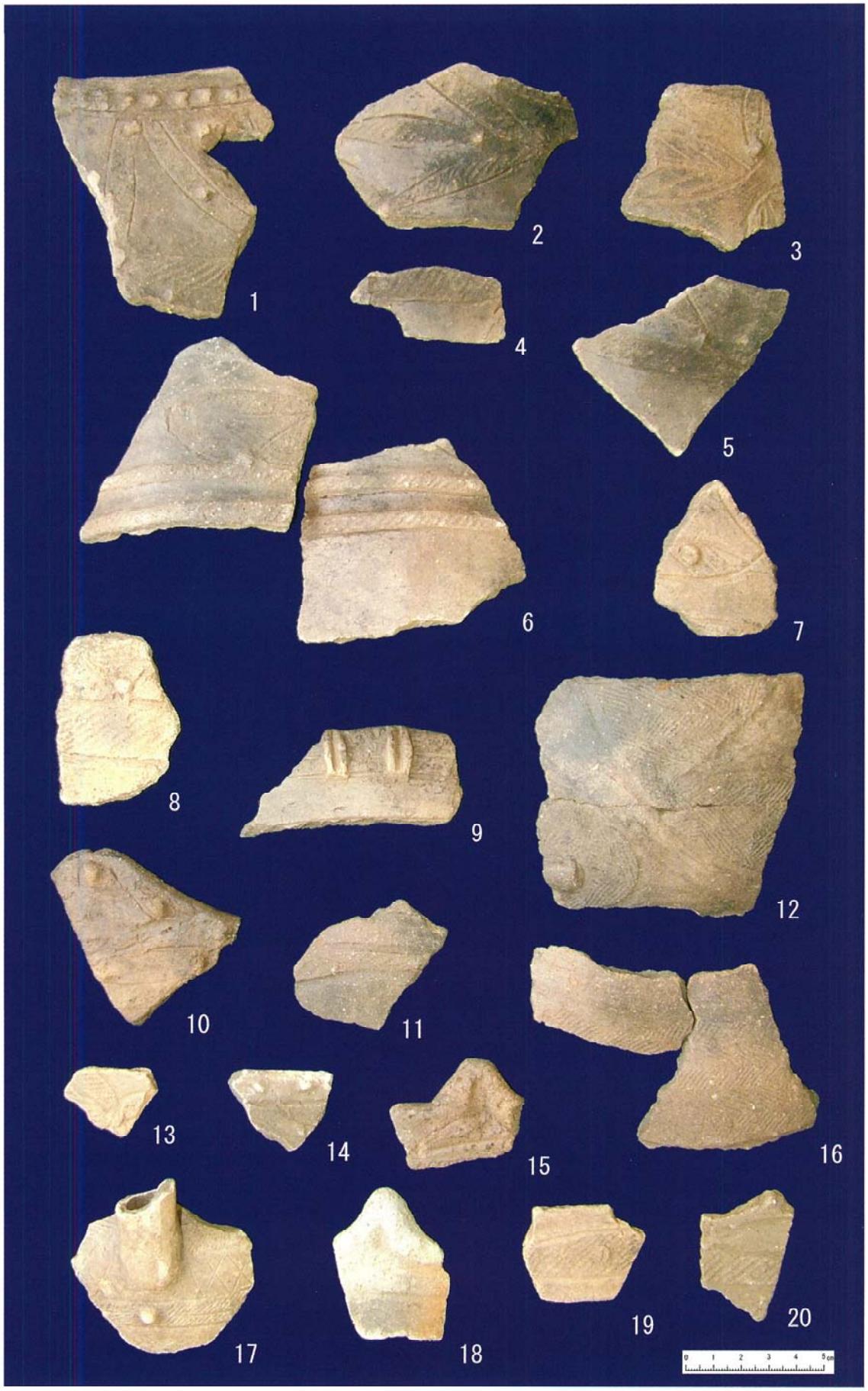
第二十四図版　野際遺跡出土土器（八）





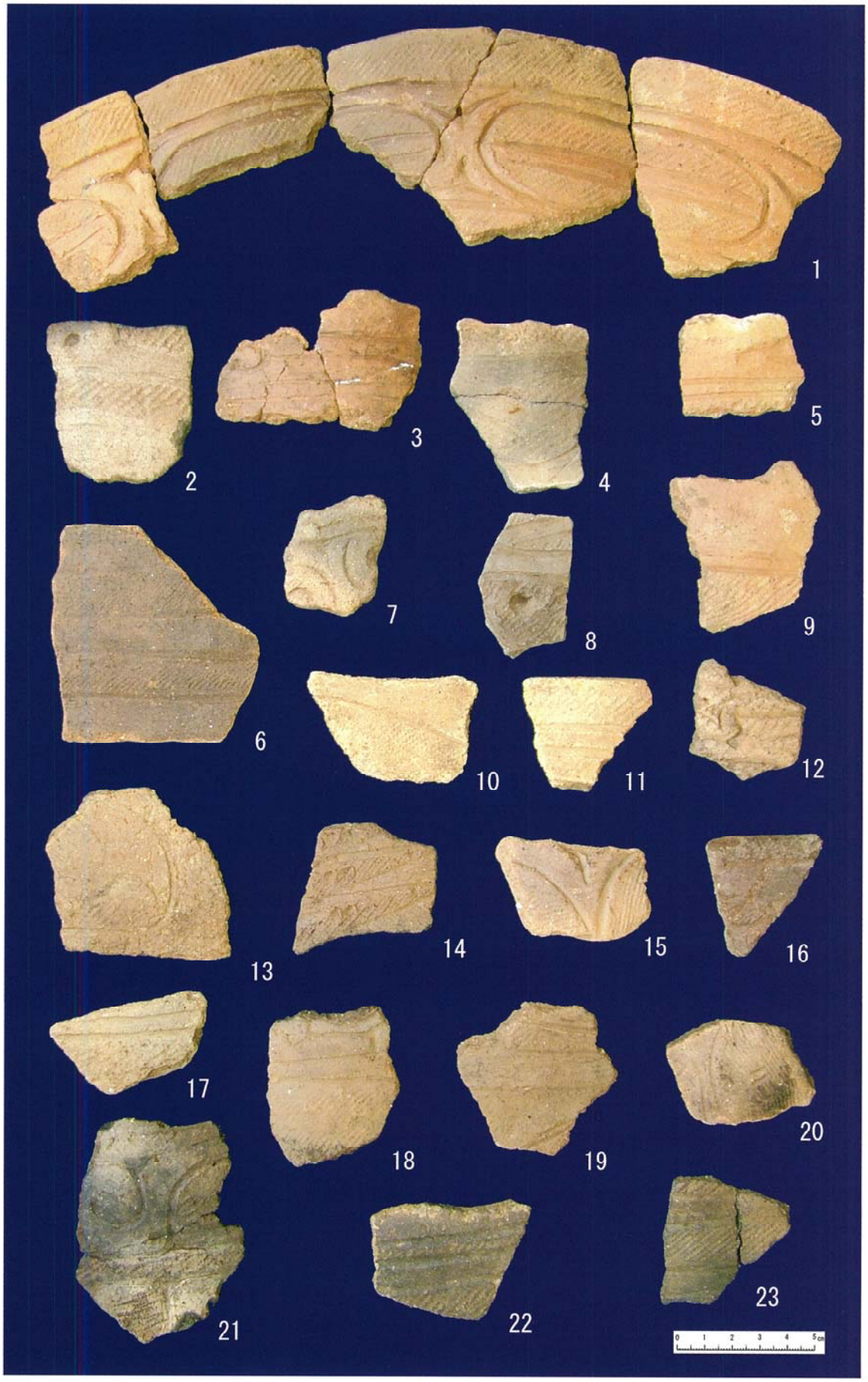
第二十五図版　野際遺跡出土土器（九）

第二十六図版　野際遺跡出土土器（十）



第二十七図版　野際遺跡出土土器（十一）

第二十八図版　野際遺跡出土土器（十二）

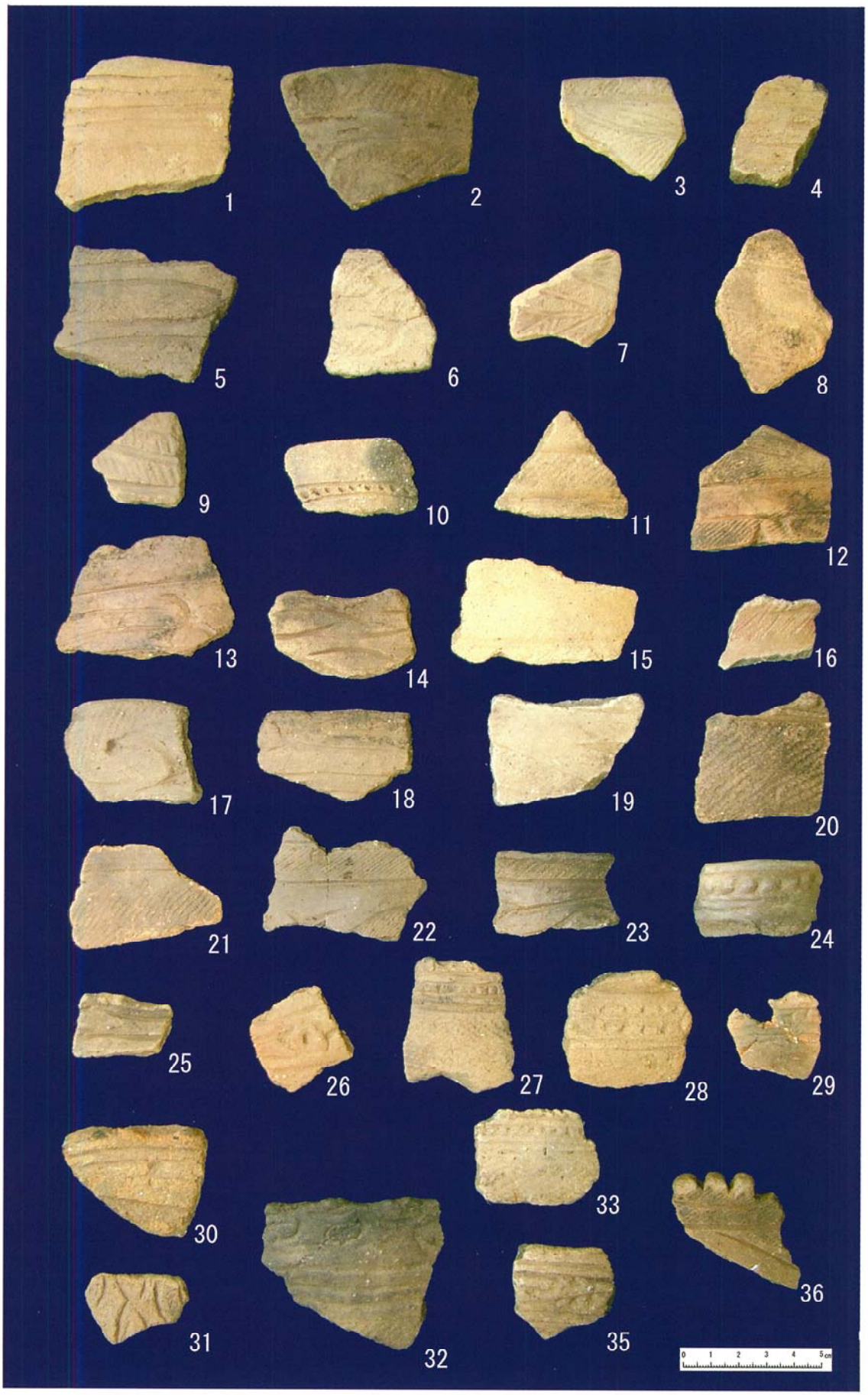


第二十九図版　野際遺跡出土土器（十三）

第三十図版　野際遺跡出土土器（十四）

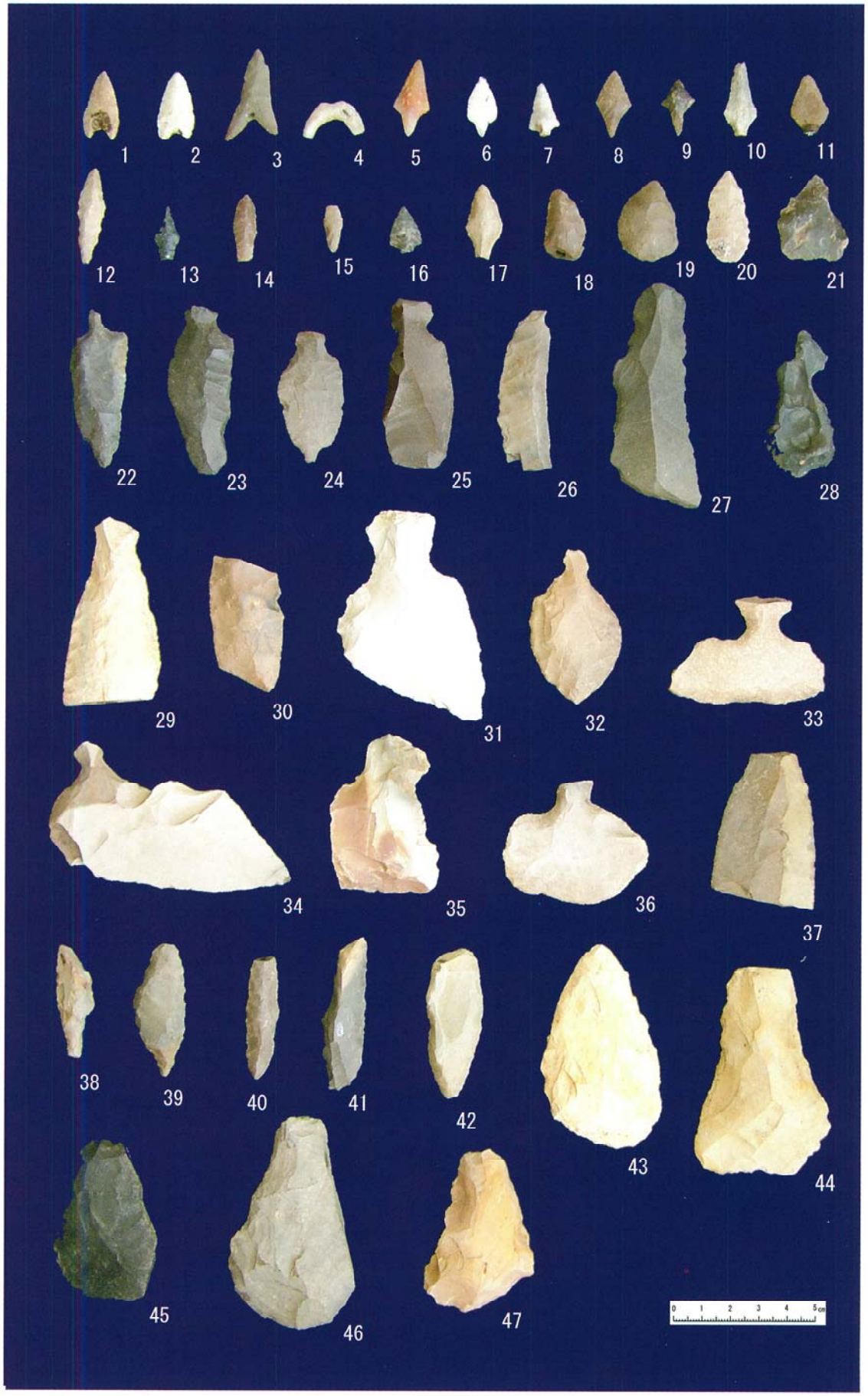
第三十一図版　野際遺跡出土土器（十五）

第三十二図版　野際遺跡出土土器（十六）



第三十三図版　野際遺跡出土土器（十七）

第三十四図版　野際遺跡出土石器（一）



第三十五図版　野際遺跡出土石器（二）

第三十六図版　野際遺跡出土石器（三）

米沢市埋蔵文化財調査報告書第 90 集

野際遺跡

発掘調査報告書

平成 18 年 3 月 20 日　印刷
平成 18 年 3 月 31 日　発行

発　行　　米沢市教育委員会
米沢市金池三丁目 1 – 55
ＴＥＬ（0238）22 – 5111

印　刷　　㈱青葉堂印刷
米沢市下花沢 3 丁目 8 – 50
ＴＥＬ（0238）21 – 2366